夕刊 滿洲日報 三月廿九日

世界の指導精神に鑑み 海軍の主張を多少犠牲

日米妥協交渉の經過をも尊重 回訓案裁斷の基準

【東京廿九日發電】回訓案に對し濱口首相が閣內硬軟兩派及び各方面の進言又は意見を斟酌し裁斷基準とせるところのものは現在世界の指導精神となつてゐるものは世界の平和を確保し人類の不安を除くこと及び國民負擔を輕減し國民生活を安定せしむることに在り、之れは日本政府が軍縮問題に對し大主眼として絕えず採つてゐる根本精神であつて今回の回訓についても此大方針を以て貫かねばならぬ、そのためには政治的見解を斟酌してその上所謂日米妥協案に到達した經過を重んじ且つ國防上の最少必要限度の要求主張を貫徹すると云ふ立前であつて此根本方針確定したる以上更にこれ以上國內における意見の相違即ち海軍側の意見も多少犧牲とするも已むないとしてゐる

なり、國家の信用上宜しくない
一、軍縮は各國の要望にして今日本の強硬意見に依り之を決裂せしむるは將來國交上の障害を來すであらう

軍部の大巡案尊重

米當局の意嚮を確かめ

【東京二十九日發電】若槻全權への回訓に對する海軍側の強硬態度を緩和すべく濱口首相は屢々幣原外相と協議を重ねた結果、外相も大型巡洋艦については海軍省案を考慮に入れアメリカ、十八萬噸に對し十二萬噸保有の權利を主張すべくアメリカが一九三三年より五年まで一隻づゝ三萬噸を建造するに對して、日本はアメリカ提案の保留案即ち加古、古鷹級四隻の代換を各一萬噸となす案に海軍側の意向を按配し、一九三三年アメリカが十六隻目を建造する時日本は一萬噸巡洋艦を一隻建造し加古、古鷹級四隻の代換として一萬噸三隻を建造の權利を保有する案を立つること〻なつた、然し今回の回訓案は會議の成否を決すべき重大案件たるを以て來る一日回訓決定前アメリカの態度を知るため右に對する米政府の意嚮を今一應確むるやう全權に訓令した模樣である

請訓を重んじて回訓案を作成せん

濱口首相決意の理由

【東京二十九日發電】若槻全權への回訓は目下濱口首相の下にて考慮中であるが、大體において若槻全權の請訓を重んじて回訓案を作成し四月一日の閣議に附議する模樣である、濱口首相が大體若槻案を重んずるに至つた理由は左の如くである

一、アメリカの妥協案に對し若槻全權の同意如何が問題となれるもアメリカ妥協案を本國政府へ報告し請訓の態度に出でたる以上外交慣例上若槻全權が同意した結果と解すべきであり、之を破壞する如き態度に出るは良くないとの外務側の意向

一、既に若槻氏を主席に更に專門家全權として財部海相を參列せしめてゐる以上之等が承認したものを本國政府が彼れ是れ云ふは全權の信任を無視すること〻

首相の方針決定

鐵、外兩相の意見聽取

【東京二十九日發電】回訓案內容に關する海軍側の強硬態度に對し閣內には硬軟兩端あるが首相の意中においては裁斷についての根本方針が既に確立したと見るべくそれは二十八日の閣議において四月一日の閣議に回訓案を上程すべき見込みが立つた點から見て明らかである、即ち濱口首相が二十七日幣原外相、岡田軍事參議官及び加藤軍令部長との會見を最後として一定方針に基く裁斷を決意したがその方針が漏洩しては內外に重大の影響を及ぼすべきを考慮して廿八日の閣議においては之に觸れず閣議散會後幣原外相の居殘りを求めてその方針を披瀝し二十七日岡田、加藤兩海軍巨頭との會見で明白となつた海軍側の決定的意向を考慮に入れ外務省側の立案に關する重要協議を遂げ更に江木鐵相と會見しその政治的判斷を聽取すると共に裁斷方針に關し諒解を求めた模樣である、從つて幣原外相は首相との協議の結果に基き自己の腹案を基礎として海軍側と充分なる折衝を行ひつゝ具體案を作製し首相は兩三日中に之に對する裁斷を下し一日の閣議に回訓案を上程承認を經て直ちに若槻全權に發送することゝなつて居る

英米全權協議

【ロンドン二十八日發電】アメリカ全權スチムソン及びギブソン兩氏は二十八日朝ダウニング街の英首相官邸にマクドナルド全權を訪問し一時間餘り協議するところあつたが、ギブソン全權はその際クラリッヂ、ホテルにおいて二十七日夜グランヂイタリー全權と試みた談合につき報告したものと信ぜられる

回訓案に關する重臣會議召集論

時日無く實現は疑問

【東京二十九日發電】若槻全權に對する回訓問題は益々重大性を加へつゝあるに鑑み最近貴院の一部及び政界有力筋において斯くの如き國家の安危にも關する重大外交問題の發生に當つては國家の重臣を召集し政府はその意見を聞き國家百年の大計を確立すべしとの所謂重臣會議召集論が擡頭するに至つた、然し回訓は至急發送を要する關係上その實現は疑問であるが濱口首相はその前後において園公山本、東鄉兩大勳位等に對し回訓作成の經過及び軍縮方針、萬一決裂の場合に處する態度等につき充分なる諒解を求めるものと見られてゐる

支那、法權撤廢案を我代理公使に手交

日本の意思表示を待ち交涉開始

外交部長王正廷氏談

【南京二十八日發電】王正廷氏は領事裁判權撤廢問題に關する日支交涉の進展狀態につき本日左の如く語つた

支那側の領事裁判權撤廢に關する草案は二十六日重光代理公使に手交したが、重光代理公使は直ちに之を東京に送附し請訓すると答へた、今日迄に既に五回意見を交換したが今後は日本の支那案に對する意思表示を待つて交涉を進める積りである

支那側草案內容

實質は漸進的廢棄

【上海二十八日發電】領事裁判權撤廢に關する支那側草案の要點につき確聞するに日本及び列國の主張たる漸進的廢棄方法を採ることは既報の如くでその大要は左の如くであると、支那側の原則的要求は

一、日支兩締約國人民は所在締約國の領土內に在つては所在國の法律及び裁判所の管轄を受くべし

二、兩締約國人民は所在締約國領內に在りて居住營業及び土地權等の事に關し悉く所在國法律及び章程の適用を受く、但し之等の事情に關し一方の締約國人民の所在國領土內に在りて受くる待遇は第三國人民の受くるところより些かも相違あるを得ず

三、間島に在る朝鮮人民は支那の法權に服從し支那の地方官廳管轄の裁判に歸すべし

即ち表面にはなは則時撤廢を強調してゐる、而して王外交部長は重光代理公使に撤廢の具體案を近く提示するを約した由でその具體案とは多分外交部と英、米間に交涉中なる漸進的撤廢案と見られ交涉が實質的問題に觸れるのはそれ以後となる譯である

相對的互惠待遇

日支關稅協約に關し

王外交部長對內聲明

【南京二十八日發電】日支關稅協定中に互惠稅を認めた事に對し支那實業團體は相當强硬であるが王外交部長は本日左の如き對內聲明書を發表した

日支關稅協定に依り支那は完全なる關稅自主權を得る譯である互惠待遇は世界各國ともその例あり殊に今回の協定は互惠品目を完全に製造品に限り原料品は除外した且つ一定期間內は協定稅率を增加せぬ事を規定し互惠待遇は飽くまで相對的である尙ほ外債整理に關しては支那は速かに外債整理に關する方法を確立すべしとの一項あるも右は合法的手續に依る債權のみを含み且つ昨年の矢田總領事、宋子文の協定で支那は每年五百萬弗を關稅收入から別に保管しこれを內外債整理に充當する事になつたが以上二項以外には何等特別の規定はない

兵力は伯仲

互に切崩しに努む 決定權を握る奉派

反蔣運動の成否

▼…言論戰で閻氏を叩きつけ、馮派を巧に利用し、東北省の操縱に成功して、閻氏をして下野外遊の外無き迄に漕ぎつけた蔣介石氏は最後において䑓を取り損ね、閻馮間に戰端を開かしめんとして失敗し、共同の敵は蔣だと遂かに閻馮二氏を握手に導き局面は再轉し戰爭へと行進するに至つた。

▼…閻氏が反蔣態度を明らかにした際、蔣派は閻氏を孤立せしめんと手取早く馮派、東北省、河南方面の雜軍に聯絡を取り馮派に山西を與へ鹿鍾麟氏を西北邊防軍司令長官たらしむべしと豫約し、韓復榘氏に河北省を、石友三氏に察哈爾を與ふる條件で彼等を味方に引入れた。

▼…然るに閻氏が愈々兜を脫いだと見るや、馮派の膨脹を恐れて山西側に對し、閻氏下野外遊後必らず舊地盤を確保するか、閻氏は外遊に先だち、西北軍を仕末して、功を以て罪を補ひ、後顧の憂ひ無からしめては如何と相談を持掛けた、この事を聞知した馮派は大いに驚き局面は轉換して遂に閻、馮二氏の提携が出來上つた、それが去る十五日の反蔣通電となつて具體化したのである。

▼…現在兩軍の對時狀態如何、馮軍は潼關附近に主力を集中し、先鋒は洛陽方面に進出して居るが、まだ積極的活動開始した模樣はない、又山西軍は河北省滄州（平浦線）順德（平漢線）の線を第一線として、頻りに戰備を整へつゝあるも、これ亦最短期間內に、猛進開始の徵候は見えぬ。

▼…中央軍は徐州を中心として集結し、一部分は濟南附近迄進出して居るが、北と西とに敵が控へて居る關係から、敢て攻勢を取らうとせぬ。十日頃蔣介石氏が徐州に赴くとの情報に接した時、例に依り電光石火の進軍で敵の虛を衝き、一擧に勝を制せんとする方策だと想像したが、蔣氏徐州行の噂は霧の如くに消え失せ、蔣氏は江蘇浙江の駐屯軍檢閱に出掛けて、南京の空氣は案外平靜なものがある。

▼…これに關し消息通の語る所に依れば、今直ちに攻勢を取る事は、軍事上不利である、故に暫く滿を持して、敵の內訌誘致に努むると共に「萬已むを得ざるに至つて始めて武力に訴へる」との、平素の豫言に副はんが爲め當分守勢を取り軍事上政治上有利な地步の展開を待つものであると。

▼…中央か聯盟の切崩しに成功するか否かは疑問であるのみならず、閻氏側でも雜軍引ツ張りに暗中飛躍し、現に孫殿英氏は既に山西の味方となり、歸德方面にて中央軍と對峙してをり、石友三軍も元の巢に歸り、馮派のものとなつたと傳へられて居る、雜軍の抱込みは金力と將來の地盤とに依つて、決する問題である、勿論軍費の補助を受け、好い地盤を豫約されても、勝目の無い方に附く者は無い、然し現狀では何れが勝つかの豫斷は容易でない。

▼…軍事專門家の見る所では、單に兵力の點から云へば、五分五分の相撲である、但し閻、馮兩派の提携程度、双方の作戰、東北省その他の態度、軍費などの問題があるから、今の所何とも判斷し兼ねると。

▼…南京では戰へば必らず勝つた蔣介石氏に對する信賴と閻、馮二氏の提携が、そんなに堅いものではない、東北省は積極的に中央を助けない迄も閻、馮派に味方する事は無いとの觀測から一般に樂觀して居る。（南京特信三、二二）

仙石總裁多獅島へ

けさ七時安東江岸を出發

江上の麗かな春光を賞でつゝ 大汽加茂丸に便乘し

【安東特電二十九日發】昭和製鋼所の候補地として有力視されてゐる新義州及び多獅島方面視察の爲め安東ホテルに一泊した仙石總裁は、二十九日**午前五時**起床、同五時半朝餐を終へ、六時五十分隨員一同と共に自動車で江岸棧橋に到り、大連汽船所屬船加茂丸に投じたが天氣晴朗前日に打つて變つた絕好の視察日和で加茂丸の甲板に立つた總裁は蘇へつた春の濁流を透して淸々しい朝の安義の風光を眺望しながら、「良い處だノウ」といかにも氣に入つた樣子であつた、船中には石川平北知事の心盡しで晝食の辨當を初めビール、サイダー、その他澤山の御馳走が積み込まれてゐたが同七時港岸を離れ龍丸を先頭に**濁流を切**つて下向、鐵橋下に姿を消した、江岸には早朝にも拘らず高山警察署長をはじめ安東市民多數の見送りがあつた、尙一行は午後三時半陸路自動車で歸安、同四時十五分發列車で五龍背溫泉に赴く豫定である

大連は特殊の港 その使命は重大

紳士的で且つ感じのよい

岡本新海務局長着任

新たに關東廳海務局長に補された前遞信省海事部橫濱出張所長岡本誠氏は前航において橫濱に向つた前局長生野團六氏との間に門司で事務の引繼を了し廿九日入港はるびん丸で夫人同伴來任した、前日の風も名殘りなく晴た大連港を望み乍ら感慨深げに局員を代表した藤城海事、江原港務、木村檢疫三課長の出迎へを受けサロンに入つてたがお役人とも思へぬ碎けたゼントルマンシップ、最初の印象がすつかり人を引つけてしまふ、そして大要次の如き新任挨拶をなした

このはるびん丸は確か私が川崎に居た當時造つたものでそれで赴任して來たのも緣といへる、橫濱には丁度三年程居つた、あちらも隨分忙しいが又こちらも忙な事と思つてゐる、自分は大連は初めてだが南支には領事館附檢査官として上海に五年程居つた、

特殊の港 だけに多

大體この大連港には植民地にあつて特殊の空氣を吸つた者を赴任さすのが一つの條件になつてゐる樣だ、生野氏は昔からの友人で以前新嘉坡に彼がゆく時なぞ自分の所に宿つたものだつた今度も門司で會つたが事務の引繼のついでにゴルフ會員の方も引繼いで居いたよ、赴任に際しこれと云つて

海事行政 の抱負なんてものはのべたくないが大連港は特殊な港でしかも滿鐵を控へてゐるのだからその邊の呼吸もよく工夫する必要があるだらう

多獅島築港完成急務

平北知事力說

【安東特電二十九日發】仙石總裁を良策まで出迎へた石川平北知事は車中で語る

多獅島築港は目下朝鮮總督府で工事を進めてゐるが現在のところ僅かに五十萬圓餘の豫算であるため極めて小規模のものである、五十萬噸呑吐の港灣施設をなすにはどうしても五百萬圓の工費を投ぜねばなるまい、鴨綠江の流域はその流れが最も變化せしむるが北岸が侵蝕されて岸に陸地を造つてゐる狀態である、多獅島はこの點に何等影響を受けてない北鮮唯一の不凍港であるため鴨綠江を中心とした朝鮮及び滿洲に特に多獅島港は惠まれることにならうといふ

はるびん丸のお客樣（廿九日入港）

（上右）倉田旅順重砲隊少佐（上左）新任關東軍獸醫部長田崎武八郎氏（下右）新任關東廳海務局長岡本誠氏（下左）京都帝大教授武居高四郎氏

滿鐵各學校職員異動

來月三日頃發表

滿鐵學務課では新學年度に入ると共に各地小、中等學校の學級數の自然增加並に病氣退職者の補充のため小學校教員約八十名、中學、商業、高女等約廿名程度の異動を行ふこと〻なり既にその銓衡を終へて書類は廿八日關東廳に廻附したが來月三日頃發表の筈

田崎獸醫部長着任

二等獸醫正田崎武八郎氏は今回の陸軍定期異動で關東軍軍醫部長に榮轉する事になつたが廿九日入港のはるびん丸で家族同伴來連した船中言葉少なに「よろしく賴む」と挨拶するところあつた

愛蘭內閣倒る

【ダブリン二十八日發電】アイルランド自由國コスグレーヴ內閣は今朝總辭職を決行した、後繼內閣は共和黨に行くはずで同黨幹部は黨首デ・ヴアレラ氏を擁立すると言明してゐる

滿鐵創業記念式

滿鐵營業開始記念式並びに社員表彰式は四月一日午前九時半より左記順序により本社會議室において擧行せらるること〻なつたが在連社員は殆ど全部參集の筈

（一）文書課長開會を宣す（二）滿鐵の歌合唱（三）總裁式辭（四）人事課長社員表彰に付報告（五）總裁表彰狀授與（六）總裁發聲萬歲三唱（學杯）（七）文書課長閉會を宣す

人事

▲岡本誠氏（關東廳海務局長）廿九日入港はるびん丸にて來連
▲武居高四郎氏（京大教授）同上
▲穗積哲三氏（滿鐵涉外課員）同上
▲田崎武八郎氏（關東軍獸醫部長）同上
▲倉田耕三氏（旅順重砲兵砲兵少佐）同上
▲滿鐵教習生五十九名 菅井直三郎氏に引率され同上
▲東北大學上海見學團 二十九日出帆大連丸にて上海へ
▲秩父固太郎氏 同上
▲根岸保吉氏（商工省商工技師）二十九日朝來連
▲桑原一郎氏（大邱府尹）同上
▲五弓安二郎（陸軍大學校教授）廿九日入港の奉天丸で來連明日天津に向ふはず
▲小林仁氏（海軍少佐）艦隊入港打合せのため二十九日入港奉天丸で上海から來連

大觀小觀

世界平和と國民負擔の輕減と而して國防の責任、濱口內閣の慎重考慮を要求す。

◇

兩者を犧牲にすることなく善處し得れば幸ひなり。

◇

日支關稅協定に對する支那側諸團體の反對、一ト文句なかるべからざる支那のこと、だが併し、自らを反省することは時務の要諦ならずや。

◇

西北と山西と、而して南京と東北との相互連絡對峙を傳ふ。

◇

南京が東北を抱き込まんと努力するは察するに難からず、だが東北が、關內に兵を動かすなどは愚の骨頂。

◇

春寒料峭の氣なきにあらざるも春は春。これからは野に山に。而して健康第一。

天氣豫報

卅日（西の風）晴後曇

各地の溫度

地名	十一時	昨日最低
大連	七、〇	〇、五
旅順	五、七	零下〇、五
營口	五、〇	同一、九
鞍山	一、八	同一、八
奉天	零下〇、四	同二、二
開原	同〇、九	同三、四
長春	同〇、四	同四、一

金屬マグネシユウムの製法試驗に成功
強く輕く航空機等に用途は廣い 滿鐵中央試驗所で

中央試驗所においては爾來滿洲に多く產するマグネサイトをもつて金屬マグネシユウムの製法を種々考究中であつたが、この程試驗的には全く成功し今後工業的製產において經濟的價値があるか否やについて目下研究中である、元來この金屬マグネシウムの比重はアルミニユウムの半分位の輕さで輕金屬の王といはれ、またアルミニウム二十パーセントの合金はアルミニウム同樣に強く航空機その他に重要なる用途を有するものである、而してこの製法には二法あつてドイツにおいては鹽化マグネシウムの方法にて工業的に製造してゐるが、中央試驗所で今回研究完成したのは酸化マグネシウムの方法であると

官有土地貸下げに奇怪なカラクリ
黒礁屯の地面を坪三錢で貸下 贈收賄の不正行爲

奉天松島町吉川組吉川康氏にかゝる土地疑獄事件として司法當局から濃厚な疑惑をかけられてゐた星ケ浦黒礁屯十九番地の二官有土地一萬二百三十坪の貸下げ問題に絡み奇怪極まる裏面のカラクリが暴露し

事件は 益々擴大せんとしてゐる、即ち該官有土地は昭和三年末、當時奉天警察署長警視末光源藏氏が貸下を受けんと種々運動を試みたが、容易に許可ならなかつたので、當時吉川組奉天支配人宇土正司氏と談合の結果、吉川康氏が内地歸省中、無斷で吉川氏の名義を使用し、改めて大連民政署土地係に貸下出願を行つた、而して吉川氏は歸連後、宇土支配人からこの顛末を聞き氏は大いに驚き

無斷で 名義を使用したを怒つて宇土支配人を馘首して終つた、しかし末光署長は懇意の仲で末光氏から 折角出願―許可になりそうだから願書の取消しはせぬやうに……との懇請があつたので、吉川氏はそのまゝ放任して置いたところ、昨年中に貸下許可の指令に接したものであるといふ、而して該土地の貸下運動を政友會代議士中山貞雄、大阪辯護士本田爾行兩氏も

暗々裡 に行つてゐたが、吉川組に許可あつてのち大連民政署某氏の慫慂で中山、本田兩氏は吉川氏に對し共同經營を申込んだと傳へられ、その際吉川氏は該土地の利用に就き何等の計畫がないといふので渡りに舟と本田辯護士に委任經營をなさしむることに交渉成り、委任狀すら渡してあると云はれてゐる、然るに突如該土地は一坪三錢の廉價で貸下を受け、しかも裏面に贈收賄行爲が潜在してゐると聞き吉川氏は大いに驚き二十九日午後一時大連署高等係に

出頭し 中島分署主任に面會を求め詳細の申立をなした模樣である

元奉天署長らに疑惑の眼
けふ吉川氏の申立で 俄然、活動開始さる

吉川康氏から奇怪な裏面の事情を逐一聽取した中島分署主任は、直ちに池内檢察官に報告し俄然新たなる活動を開始したが、吉川氏の申立が事實とせば事件は極めて奇怪なるものとなり、元奉天警察署長末光源藏氏は勿論その他關係名士の

身邊に 疑惑が深められてゐるが、吉川氏は記者に左の如く語つた

黒礁屯の官有土地貸下運動は私の不在中名義を無斷で使用し行はれたもので私の全く關知せぬところです、あとでこの話を聞いて不都合だと思ひ直ちに宇土支配人を馘首し元奉天警察署長の末光氏にも面會し、不都合をなじると末光氏は折角運動しかゝつたことであるから暫く默まつてゐて呉れと賴まれ

放任し てゐると、その後大連民政署から二回ほど呼び出され、藤井財務課長と志賀土地係主任の兩氏が私に對し「あの土地は早く許可することになつてゐるから君は不服かも知れぬが、この際默つてゐて呉れ」との話でした、それから暫くして許可があつた譯です、それから共に貸下出願をしてゐた本田辯護士及び中山代議士から共同經營を申込まれたが、元來私はその土地に何等希望も計畫も持つてをらぬので本田氏に一切委任したやうな譯です、從つてこの間不正行爲があるとかないとかいふ噂をされただけでも大いに迷惑を感じてゐます

上原外野手けふ來連
實業團に加はつた新勢力

野球シーズン來でフアンの神經を鋭敏にしてゐる折から、二十九日入港のはるびん丸で新編入選手のトツプを切つて實業團加入の上原選手が宮崎監督、安藤主將、中島、岩瀨、木下等の諸選手に迎へられて着連した、同選手は廣陵中學の黃金時代の中堅手で、同校卒業後大分高商に入り主將となり大分高商を今日あらしめた選手で、實業團入りと同時に外野手として活躍するはずである、なほ一日着連のはずであつた源川選手は全國中等學校選拔野球大會審判員に推薦されたので四月中旬着連のはず

松林見學團 一行頗る元氣

【片瀨二十八日發電】松林小學校母國見學團一行は出發以來既に旅程の半分以上を過ぎ連日休みなしの各地見學にも拘らず些の疲れも見せず、午前八時宿所たる湯本和泉館を出で電車及び自動車を利用して雨中趣きある箱根の景を賞でつゝ蘆ノ湖畔に出で再び自動車にて引返して下山午後七時意氣揚々と江之島惠比壽館に到着した

出迎人の言傳を取次いでくれる
定期船入港に際して

かねて水上署、埠頭、商船等の協議の結果、定期船の發着の際は公用を帶びざる以外のものは絕對に船内に入れざることになりこれが實施中であるが、例へば内地から初めてくる者でしかも顏の知らない者を尋ねたりする場合とか、特別にものを賴んだりする場合等頗る困るといふ聲が最近各方面で傳へられてゐるので、旅客に對し特に關係深き大阪商船およびツーリユーローでは入港船の場合豫じめ前日くらゐまでに屆出た向に對しては、ビユーロー係員又は商船の係員が沖に行つたついでに言傳をすることとなつた

春に乘る女 けふ星ケ浦で

欲しい市民の熱意
グレート大連の都計で招聘された 武居博士けふ又來連

グレート大連への目標を目指して大連における都市計畫は着々進捗を見てゐるが、これが計畫の顧問として關東廳より招聘を受けた京都大學教授武居高四郎博士は、廿九日入港はるびん丸で關東廳との打合せのため來連した

この二月 にも一寸來ましたが元來都市計畫なるものはそう簡單に運ぶものではなく、土地の事情や地理的關係でいろ／＼工夫が要るものである、要するに如何に住み易いそして合理的な都會生活が出來るか、如何に整備された都會としての樣式を備へるかといふことに何れもが苦心するところだ、單に專門家のみが躍起となるのみならず一般市民もこの點に對し熱意のあるところを示して欲しいものだ、自分の仕事は調査された種々の事に對し是非の判斷を加へるのだが

殊に大連 といふ土地が内地なぞと違つてゐるから非常にむづかしい、今度は十日間位ゐるが、聞くところによると大連の技術協會あたりでは大變熱心にこの問題について研究してゐるそうだが、更に新聞雜誌等によつてもつと具體的な研究を發表して一般市民の輿論を喚起して欲しいものだ

キネマ座談會 本社主催
兒童の娛樂映畫は明るく朗かな物
映寫時間は二時間乃至二時間半 教育映畫に就いて(一)

工藤 ではこれから教育映畫についての御意見を伺ひます、獎學會は大體どう云ふ方針で映畫の選定をなさいますか

櫻井 此方では映畫の選定にあまり頭を使ひません。能登さんにお願ひして、滿鐵のお流れをいたゞくのです。現在は年五回になつて居ますが、滿鐵が沿線の學校へ持廻られる一組をそのまゝお借りするのです。唯、時季によつて、つまり試驗期、休暇期、或ひは學期末等で滿鐵の都合等も惡いときは此方で仕立てる事もあります。又もう一つの場合は、例へば「ツエ伯號映畫」や「死の北極探險」等の如く子供の爲になるものは役員相談の上臨時に見せる事もあります。

能登 社會課としては色々意見もありますが、私としては、先づ子供の生活になるだけ近いもので、明るいもの……現在ではありませんが、まあなるたけ子供の生活に近く明るい劇物に漫畫や、教材的で一般常識に必要なものを加へ、二時間か、二時間半位見せるのが最もよいだらうと思ひます

工藤 映畫公開の方法は?

能登 大連では獎學會がやるので私の方は關係がない。沿線では學校の講堂や公開堂を利用して夜もやるが主に晝間上映する事にして居る。沿線では中間驛から出て來る子供も多いのですから、なるたけ晝間出來る設備を

櫻井 學校にしてもらつて居る私の方も晝です。又市中の常設館の映畫で、子供本位であり、料金も安く、尙、保護者もともに見に行く事の出來る映畫たとへば「乃木大將傳」とか「高山彥九郎」等と云つたものは相談の上許す事もある

工藤 一般常設館への出入に關しての御意見は?

櫻井 此頃はあまり嚴重でない樣ですが、私としてはあまり好ましくない

青山 私の考へは反對です、なるだけ自由に子供が映畫を見るやうにしたい。適當な指導をすれば惡い影響を受けるよりも、知識を得る點が多いと思ふ

櫻井 しかし常設館は大人本位であるからなるだけ接したくない勿論最近盛に叫ばれて居る映畫教育論による映畫もある事であるから相當考へては居る

工藤 其の他に何か御意見は……青山さん、いかがです

青山 私は今の狀態では映畫教育と云ふ事はあまり考へられぬと思ひます。唯常設館に行かぬ代りに學校で活動を見る位の考へしか子供は持つて居ないと思ひます

能登 私もそう思ひますね、だから今後は映畫教育と娛樂との二つに分け、映畫教育は學校にお願ひして、兒童の娛樂を私の方で考へると云ふ事にして、學校側は映畫教育と云ふ事を更に深く考へていたゞきたいと思ひますね

櫻井 しかしそれには苦い經驗を持つて居るんですよ、子供は獎學會の映畫を面白がらないので

能登 しかし其の考へはちがつて居ると思ひますな、映畫教育も一種の教授であつて娛樂ではないのですから

長谷部 大阪ではすでに映畫教育を實行して居る樣にあちらの新聞に出て居ましたが

櫻井 それにはどうしても授業と教材の一致と云ふ事を考へねばならんのですが、これがなかなか困難でしてね

能登 結局獎學會が商賣違ひの事をやるからうまく行かんといふ結論になるんですな

時日	廿二日午後六時
場所	滿鐵社員俱樂部

出席者(順序不同)

大連署保安係主任	原田 貞一
映畫檢閱官	内田 愛吉
消防署長	今井 民造
大連二中校長	丸山 英一
朝日小學校長	櫻井勘四郎
滿鐵社會課	能登 博
滿鐵社會課	花井 隆一
滿鐵情報課	芥川 光藏
滿鐵社員俱樂部	眞殿 星麿
帝國館主	南 信二
大日活館主	長 次郎吉
常盤座主	小泉 友男
演藝館主	小田 英澄
貴館代表者	姬路絃二郎
滿洲日報記者	青山 捨夫
同	長谷部貫一
同	工藤 與吉

拾つた河豚で ふたり中毒死

市内日新街廿一番地靴修理工臧住信(三一)は廿八日午後八時ごろ晝間母國張氏(六七)が市内惠比須町附近塵箱より拾つて來た河豚を料理して同居人煙草行商人孫珍齋(三五)と共に支那燒酎の肴に喰つたが食後約二時間を經て兩人苦悶し出し直ちに博愛病院に收容したが遂に絕命した

クレーンで即死

廿八日午後一時ごろ沙河口霞町滿鐵大連工場準備室前三十噸クレーンを職工王壽良(四九)が運轉中、クレーン臺の網を取除かんとして、同工場組立工劉政高(三七)がクレーン臺に上り、運轉中のクレーンに挾まれ即死した

新舊市長歡送迎會

大連市區長五十三名發起の石本、田中新舊市長の歡送迎晩餐會は二十八日午後六時からヤマトホテルに開かれ主客の挨拶あつて後、石本前市長は製鋼所期成同盟會代表として上京した經過の報告をなし盛會裡に散會した

内海安吉氏送別會

大連市會議員内海安吉氏は今回東京に引揚ぐることゝなり三十一日發のばいかる丸にて離連するが、田中市長ほか各關係團體の代表者は三十日午後六時より扶桑仙館にて同氏のため盛大なる送別會を催

ず、希望者は同日正午までに市役所(電話四〇〇四番)滿蒙研究會(電話八八〇四番)へ申込れたいと

日支聯絡電話料

當地遞信局では銀の下落の現狀に鑑み支那側の協議の結果、四月分の日支聯絡電話料金を値下げする事に決定したが、三月分に比較し一通話時の通話料が天津洮南へ五錢北平へ十錢方何れも低廉になつた譯である

グリル增築

大連ヤマトホテルのグリル增築は漸く竣工すべく四月一日から新食堂で營業を開始すると

日曜の催物

◀野球戰 南滿電氣對沙河口工場 午前十時から沙河口グラウンド
◀救世軍 大連小隊、午前十時から「克己の生活」酒井參軍、午後八時から「救を求むる熱心」長井大尉、沙河口小隊午前十時から「ヤコブの爭」中島少尉午後八時から「神を識るまで」佐々木大尉
◀西廣場日本基督教會 午前十時から「聖書の權威」白井牧師、午後七時から「世相と神の道」山田彌十郎
◀日本メソヂスト教會 午前八時半から日曜學校、午前十時から「德に知識を加へ」岡安牧師午後七時から「立て丈夫の如く」同師
◀敷島町組合教會 午前十時から「五つのパンと二つの魚」礒部牧師、午後七時から「神は力なり」稻葉好延
◀本願寺關東別院 午後二時から「罪と罰」嵯峨布牧師「隨想」津村輪番

日曜を除いて毎日一往復
福岡―大連間の空輸 遞信局準備を急ぐ

日本航空輸送會社の福岡、大連間の在來コースは日曜を除き隔日運航で一週三往復であつたが、來る四月一日からは日曜を除き毎日一往復で一週六往復に增加する事になつた、從つてそのダイヤグラムも變更の必要を生じ既に二十七日遞信大臣の許可を得たので當地遞信局でも取急ぎ準備中である、その結果蔚山泊りを廢止する事になり東京―京城間千五百粁を八時間十分で飛翔し、京城―大連間六百粁を三時間二十分で快翔しその間着陸その他の所要時間を計算しても大連を午後零時三十分に出發すれば翌日の午前中には福岡に夕刻には東京に到着する事になり逆に東京から乘つても一日半で六連に到着出來る事になつた、これによつて郵便物も一日に東京より出したものは三日の午後早く大連の受信人に配達され、また一日正午までに大連郵便局に差出したものは二日中に九州、中國地方に、また同夜若くは三日朝早く東京の受信人に配達される事になつた

艶色生膽秘譚 (66)

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

三巴(二)

宙をとぶ鷄籠二つ。
後を追ふ鷄籠一つ。
更けまどろむだ行途の空に、紅から色を染めなしたは大江戸の花
「火事のやうだな」
左近である。
「火事か、フン、地震雷火事親父と」
三藏は醉いが廻つてうつら／＼としてゐた。
「鷄籠屋！」
右近は前をゆく二つの鷄籠から眼をはなたずに聲をかけた。
「へい！」
「物騒がしいな、火事か」
「へい！」
「前の鷄籠を見失ふなよ、よいか」
「へい！」
半鐘の音は近かつた。
道を走る人の足音がいよ／＼殖えてゆく。
「よく先の鷄籠を見てまいれよ、この雑踏では、鷄籠をすてるか、それとも側道へ外れるか」
右近はのびあがりぎみに腰をたてゝゐる。火事場は直ぐ間近に迫つた。
二つの鷄籠が二度三度人波にかくれたと思つたが、また揺れてゆく提灯が、まつかに反映した空の下を……
「あッ、旦那様、あれでございませうかねえ」
「な、なんだ？」
ピタリと止つた鷄籠。
垂れをあげて右近はきく。
と、先棒が指すは左右の二筋、共に鷄籠が二つ……
「どこだ？」
「札の辻で」
「火事は？おゝあれか」
辻を芝口の方が約半町、稲荷側の町家が燃えてゐるらしく、正に焼けおちんとしてゐる棟が、火柱揺らめかせて火の粉を金砂子のごとく吹き散らしてゐる。
「ウーム、しまつた、貴様どつちだと思ふ？」
「あッじやア稲荷にこつちだと思ふんで」
鷄籠屋の指したは左り、赤羽橋めがけてゆく鷄籠二つ。
「よし、ではそつちをつけろ」
垂れをパッタリおとすと、ユラリ舞ひあがつた鷄籠、またしても宙をとぶ、が、穏かならぬは右近が胸中
「もしや見間違ふてゐたら――ウム、いつそ思ひきつて」
キッと唇をかむだ。
「おい、あの鷄籠を追ひぬけ」
「へい……」
言下に起る鷄聲、息杖ふつて一散走り、瞬く間に追ひぬいた。
赤羽橋をわたると小ぐらい森がふか／＼と夜空にそびえたつてゐる。
「よし、賃銀をとらすぞ、酒代ともぢや」
右近はその暗がりにまぎれこんで、ぢつと樹を渡りくる二つの鷄籠を待つた。
一瞬、一瞬、近づいて來る足音、ヒタ／＼と大地に鳴れば、ブツリ鯉口きつた大刀の鞘に右手をかけた右近、ツツーと道の中央へ進み出るや、
「えいッ！」
いきなり先棒の提灯きつておとす。
「ワアッ！」
けたたましい喚き聲
鷄籠はそのまゝこけつ轉びつ鷄籠屋は逃げだす。
「見上、お出逢ひなされ、俺ぢや右近ぢや！」
抜身を提げたまま油斷のない聲をかけた。
と、鷄籠の中からは、左近と思ひきや、仇な女の聲で、しかも、
「おおお前様は血卍の左近様！」
「えゝ？」
右近は呆然となつた。

陽春四月の映畫戰
興味をそゝる第一週の番組

陽春の四月を前にした昨今の大連映畫街はいさゝか沈滞の氣味にあるが、この反面には花に魁けて妍を競ふ四月の映畫陣に備へ各館それ／＼に陣容を整へ漸く四月第一週の豫告戰に入つた、流石に四月の聲に各館ともに趣向をこらし番組編成にそれ／＼の特徴を發揮し華々しい映畫戰が豫想される。正月の「母」以來、飛躍を試みなかつた帝國館では目下内地大都市に於て再び記錄的興行成績をあげ大好評を博してゐる蒲田撮影所十五周年記念特作品「進軍」を四月五日より上映するらしく上阪した南館主が交渉中で愈々決定すれば大々的宣傳を開始すべく大連に於ける興行成績も亦大いに注目されてゐる、この松竹映畫に對して日活作品は現代劇特作品「火刑」が矢張り四月五日初日で大日活に上映されると共に、發聲映畫の第一聲をあげる大日活にてはパラマウント發聲映畫「巨人」を同時に上映し二大作品をならべた優秀番組を以て一擧に凱歌を奏せんとしてゐる、この二館に對して演藝館にては奇襲戰に出で、漫談の創始者である大辻司郎を東京より招き神武天皇祭より映畫解説と漫談を以て氣勢をあげるべく着々と準備を進めてゐる、また大櫻座レヴュウ團を招聘上演して近代的映畫興行の尖端を行かんとしてゐる常盤座にては四月三日の祭日より上映するマキノ現代劇特作品「繪日傘」第一篇舞の袖のプロローグとして大櫻座レヴュウ團を活用して大連映畫界最初の映畫プロローグを試みるべく計畫中である

協和會館の映寫室擴張
近く着手する

協和會館の一部改造増築は既報の如く解氷期と共に愈々近く着工の豫定であるが、その設計のうち最も注目されてゐるのは映寫室の改造である。即ち現在の映寫室を十七坪に擴張し地下室をモーター室として從來の如くホールを通らずモーター室より映寫室に通ずる階段を設け試寫室を兼用することになつてゐる。映寫設備は現在の映寫機シンプレックス二臺を三臺となしその外に幻燈一臺を新設し映寫窓を四個となし萬一の故障に備へる豫定である

常盤座の樂劇
第二回公演

昨二十八日より公演中の常盤座の大櫻座樂劇部女生出演の第二回レヴュウは野間正規氏の演出効果で「青空」「昭和四人女」「なわとび」「降りて行く」「人間」「浪花小唄」「オリエンタル」のダンスと寸劇と獨唱で寸劇「人間」は常盤座文藝部同人の原作演出効果による一幕三景である、尚常盤座にては引續て計畫中の樂劇團を編成する事となり女生募集中である

喋話

大日活の白藤愛光と大月研司の漫談は豫告の「脱線放送」を變更して▲「友愛結婚」で昨日からお目見得してゐるが、觀客席からサクラが飛び出したりして大騒ぎ▲この方が餘ッ程漫談の脱線放送だと噂とり／＼▲一方常盤座でもこれに對抗した譯でもあるまいが、レヴュウ第二回公演のなかに▲寸劇一幕三景を入れて里見凌洋長谷川櫻邦土生青兒の解説部員が出演▲亞流子が抜けて喜多流一郎も顔を見せず、だから題して「人間」といふ▲無料解放、但し場内整理料金十錢頂きますの所謂無料興行は今後罷りならぬと當局からお達示▲それだから言はぬことはないと浪速館の早川二郎さんが鼻を高くする。

ラヂオ
大連 JQAK

四月卅日自午後六時二十三分(内地中繼)
▲琵琶「旅順の開城」高峰筑風
▲掛合噺「道中鈴ケ森」笑福亭鶴藏、橘ノ一圓
▲一中節宮薗節、掛合「根引の門松」一中節(淨瑠璃宮古一梅三味線宮古一伊奈)宮薗節(淨瑠璃宮薗千廣、三味線宮薗千梅)
▲ヴアイオリンと管絃樂(一)狂想曲ニ長調作品六一ベートーベン作第一樂章アングロマノントロッポ(二)ラルゲットグロ、獨奏ニコライシフエルブラットAKオーケストラ、指揮近衛秀麿

謹告

從來大連市における大阪朝日新聞並に大阪毎日新聞の販賣に關し販賣店相互間不合理なる競爭を生じその結果購讀料迄區々に分れ御愛讀者に御迷惑かけ延ひては各販賣店經營に支障を來す惧れもありますので協議の上四月一日より豫てチラシにて御通知申上げました通り協定賣價(一圓十五錢)を以つて御用命に應ずる事になりました。右不惡御了承願ます

三月二十八日

大阪朝日新聞社販賣部
大阪毎日新聞社販賣部

御愛讀者各位

滿洲日報

活版・石版 印刷請負
滿日社印刷所

赤玉ポートワイン
美味・滋養 葡萄酒
妊娠中に度々起る榮養障害は赤玉を常用すれば癒ります 其效めは安產のお守よりも確かです
殊に產後の貧血には醫師が認めるところです 母子健在！となる迄は滅多に赤玉手離しますな

社説 公設市場の改善を期せ

大連市中の公設市場なるものが關東廳から大連市に移管されてから早くも五年の歳月を經過したがその間、大連市の當事者からは何らの刷新も改善も加へられず依然舊態を暴露しつゝあるは大連市のためにも二十五萬市民のためにもはたまた公設市場そのもののためにも誠に遺憾千萬の至りである。そもそもこの公設市場なるものは市民相互が共同の利益のために納付した戸別割の負擔を以て直接に大連市が監督し經營しつゝあるもので換言すれば市民の臺所の延長ともいふべきであらう。その管理如何は直ちに二十五萬市民の臺所に影響し來るものであつて大連市當局としては責任の重大なるを感得し制度の改正は勿論、成績の改善に鋭意し以て市民への日常必需品の圓滑なる供給により市民の福利を增進すべく管理の下にある市場商人の指導監督に任じ共存共榮の實を擧ぐべきである。之を實行的にいへば品質の檢査、賣價の調節協定、衞生設備等に向つて遺憾なきを期すべきではあるまいか。

◇

然るに從來、大連市當局は公設市場に對し何らの改善刷新に努力するの模樣もなく自治體の公設機關といふ重要性を忘却せるものの如きは遺憾である。近代文明都市に於る公設市場が如何に市民の實生活と密接なる利害關係あるかを思はば進んで簡易食堂等の經營にまで進取すべきにも拘らず一牛肉店舖の貸下問題に關してさへ一定の方針なく醜體を暴露したるが如きは遺憾千萬なりといはねばならぬ。正札賣の勵行または顧客に對する應接の如き往々にして風紀問題をさへ惹起するといふに至りては沙汰の限りである。これを以て觀るも何らの統制なく取締りなく市場內は雜然混然、これが公設市場なりと稱するには冷汗を感ぜざるを得ぬのである。かくては均質とか均量とかいふ如きことは容易に期すべくもなく銀安の昨今なるにも拘らず依然として暴利が貪られつつあるといふに至つては沙汰の限りである。いはんやこれから春暖ともなり市民の保健上その衞生設備の不行屆きといふに至つては危險千萬と申すの外ない。

◇

もともと大連市は公設市場の經營に當り杉野前々市長時代には社會課なるものに隷屬せしめ市場事務所を信濃町市場內に設置し三名乃至四名の吏員を配し五小賣市場の指導監督に當らしめてゐたが石本前市長に至つて大連市は課制度を係制度に改め市場の管理事務を庶務係に移し同時に小賣市場事務所は露市場事務所に併合し小賣市場係としての吏員も一名を減じたのであつた。かくて公設市場に對する管理は充分に行はれず市場商人からは事毎に反抗的態度に出でられまた組合てふ一種の團體力により指導監督權を左右せらるるに至つたものである。かくて本末は顚倒し市場は當然の結果として迷惑を感ぜざるを得ぬことになり依然として醜態を暴露しつゝあるの現狀に置かれ市民の福利は全く顧念せられざるに至つたのである。

◇

要するに大連市が公共のために公設市場を管理する所以の根本に立脚して今日の五小賣市場なるものを觀察せんか吾人は如何にしてもこれが市當局の怠慢を痛感せざるを得ぬのである。昭和製鋼所を關東州內に設立せしむべしといふが如き大連市百年の將來に關する運動の必要なることも大に承認せねばならぬが同時に二十五萬市民の臺所を閑却してはならぬこと勿論ではあるまいか。一戸十五圓程度の市營借家を建築するとも大に可なりであるが併し日常生活の臺所の問題を忘却されては困るのである。信濃町市場の營造物を顧みんか何よりも先に改築せねばならぬであらうといふことは何人にも痛感せらるるところであらねばならぬ。上海や香港、內地の公設市場なども視察して相當に研究され調査された材料も存在する筈である。二十五萬市民は日常生活の臺所の延長たる公設市場の管理刷新を大連市當局、殊に田中新市長に要望するや切なるものが存するのである

外務回訓の骨子
大體日米妥協案承認 七割要求は拋棄せぬ
附屬書には英米の保障を明記

【東京二十九日發電】若槻全權に對する外務側の回訓案は既に堀田歐米局長の手で立案中であつたが二十九日愈々成案を得、目下幣原外相の手に依つて愼重修正中であるが外務省の回訓案の骨子は大體左の如くである、即ち日本は大體日米妥協案を承認し一九三六年に至つて表示さるゝ大型巡洋艦の保有量において日本は對米七割の要求を拋棄せるものと見らるゝ事なき旨を明記し而して先づ法律條件とし

一、今回の條約は一九三五年までの短期條約たる事

一、該條約は一九三五年に至つてその效力を失ひ更新せらるべきものにあらず

との二項を明示し右の趣旨において日本は大體日米妥協案を承認するが然し最後に日本は對米七割要求を拋棄するものにあらずとの前提的諒解を確立する目的で一九三六年において開かるべき會議において日本の地位を最も有利に展開せしむるため英米兩國より何等かの保障を必要とする旨を附屬書に明記するものである

商議條項は無意味
適用範圍が廣ければ參加せず
米全權代辯者の聲明

【ロンドン二十八日發電】アメリカ全權代辯者は本日記者團に對しアメリカ側としては商議條項はこれを考慮するも太平洋四ヶ國條約の如く適用の範圍廣く且つ確定的なるものには參加し得ざるものであるとの趣旨を闡明し、若し今回商議條項を容るゝとすればその內容は極めて狹小の範圍に限定せられざるべからざる事を明かにした、右はフーヴァー大統領とアメリカ上院の意嚮を反映するものでアメリカ全權としては商議條項參加の場合はアメリカ上院の反對を防ぐため專らその傳統的主張たる海洋の自由に抵觸せざる樣多くの保留條項を附せんとする意嚮らしくその結果所謂商議條項なるものは單に體裁繕ひの極めて無意味なものであるとの感を愈々深からしめてゐる

軍縮と造船界影響
造船工業は衰微を來す

【東京二十九日發電】アメリカの最後案に對する濱口首相の裁斷如何に依つては我造船工業界に多大の影響を與へ或は多數造船會社の破綻を來すのではないかとさへ危惧さるゝに至つた、即ちアメリカの最後案に依る時は日本は今後毎年五千噸內外の造艦より行ひ得ざるに反しアメリカは日本の九倍に餘る四萬五千噸を建造し得て造船工業は益々繁榮に赴くが日本は五千噸の造艦では從來の立場を維持するを得ず造船界の破綻を招き斯くては協定期間終了後の一九三六年以後再び建艦せんとするも造船工業は全く衰微し國防上にも多大の支障を來すものと憂慮されてゐる

商議協約絶望か
米大統領訓令暗示

【ワシントン二十八日發電】アメリカ上院方面ではフーヴァー大統領は既にロンドンにあるアメリカ全權に對し商議條項に關する考慮を總て放棄する樣訓令を發したと信じてゐる、上院一般の狀勢が斯くの如くなる以上商議協約の批准は全く望みなきものと觀測されてゐる

政治協定研究

【ロンドン二十八日發電】政治協定の可能性を研究するため英佛双方の法制通を以て昨日非公式に組織せられたる專門委員會は二十八日午前十一時三十分よりイギリス外務省において開會ヴァンシッタートイギリス外務次官及びマッシグリフランス顧問中心となり協定形式に關する協議を開始した

商議條項反對
米上院ス氏言明

【ワシントン二十八日發電】上院議員スロード、スワンソン氏はロンドン會議に提出された商議條項に反對し左の如く言明した

これはアメリカにヨーロッパの警察義務を負はしむるものでその位なら寧ろ國際聯盟に加入するか又はロンドン會議を拋棄する方がましだとの意見も出る

首相の裁斷と軍部の態度

【東京二十九日發電】濱口首相の回訓に對する意嚮は外務省案に傾きつゝあるが之に對し絶對强硬を唱へつゝある海軍々部は目下口をつぐみ只管首相の裁斷振りを見てゐるが若し首相の裁斷にして海軍々部の意に反する場合の加藤軍令部長等の態度は專ら注目さる

皇后陛下
女子學習院の卒業式へ行啓

【東京二十九日發電】皇后陛下には二十九日朝九時宮城御出門自動車鹵簿にて青山の女子學習院に行啓卒業式に臨ませられた同校では杉浦院長以下職員在學生等八百名奉迎申し上げ、陛下には院長の御先導にて便殿に入御、御先着の秩父宮妃、高松宮妃殿下等九方及び有資格者一同に謁を賜り同四十分式場に入らせられ卒業式場に臨御、優等生に對しては恩賜品の御下賜あり終つて生徒の作品等を御覽あらせられ正午還啓あらせられた

皇太后を御訪問

【東京二十九日發電】皇后陛下には女子學習院より還啓の御途次青山東御所に皇太后陛下を御訪問御晝餐を共にせられ午後二時より櫻田原寄の御新造の皇太后御新殿を御巡覽茶室にて御物語りありて同四時半御所御出門還啓あらせられた

關東廳明年度の主なる新規事業
警備機關充實、學級增加等

【東京特電二十九日發】先に閣議で決定した昭和五年度の特別會計豫算のうち關東廳特別會計の實行豫算及び追加豫算合計額は二千二百九十萬五千圓であるがこれを前年度の施行豫算額二千四百九萬一千圓に比較すれば一百十八萬六千圓の減少でその槪要左の如し(單位千圓)

科目	金額
歳入經常部	一六、九五七
同臨時部	五、九四八
計	二二、九〇五
歳出經常部	一七、七〇三
內實行豫算經常	一六、八一二
追加豫算經常	八九一
歳出臨時部	五、二〇二
內實行豫算	四、八二四
追加豫算	三七八
合計	二二、九〇五
內實行豫算	二一、六三七
追加豫算	一、二六八

而して認められた新規事業の主なるものは刑事課新設費、警察充實費、學級增加費、租稅制度調査費等で新規繼續事業費として計上せるは農業試驗場新營費の十五萬二千圓、長春郵便局電話交換裝置改造費の四十七萬二千圓等である

關稅協定に反對
支那商工團體騷ぐ
日本實業家が對策を協議

【上海二十八日發電】日支關稅協定に對する支那側商工團體の反對が熾烈となつたので王正廷氏は互惠稅に關する日本側新聞報道は誤りだと本日南京で聲明したが、支那側商工團體及び上海新聞工會(新聞通信社聯盟)は此聲明に對して滿足せず事態は俄に惡化の形勢となつて來た、新聞工會は緊急會合の結果

最近假調印を了した關稅協定中互惠稅率を設定せることは承認出來ぬ、右協定の發表を待ち互惠稅設定を確かめた上右協定の廢棄を政府に迫ること

との決議をなした、なほ形勢惡化し日貨排斥再燃の空氣が漸次釀成されつゝある形勢となつて來たので日本側の商工團體たる金曜會は本日午後二時から緊急會合を催し對策に關し協議するところあつた

合同協議會に全民參加

【東京二十九日發電】全國民衆黨では二十八日無產黨合同委員會を開催、勞農黨提唱の全無產政黨合同協議會に參加すべきや否やにつき協議した結果左の如く決定し同夜勞農、大衆、社民、地方無產協議會に代表者を派しその旨を通じた

一、右合同協議會に參加すること

一、大衆、地方無產に對しては參加を勸告すること

一、社民は曩に參加を拒絶せるも更にその決定を變更して參加するやう勸告すること

關東廳の電燈料
愈よ値下斷行
四月一日から・平均一割五分

關東廳では四月一日より旅順、金州、普蘭店、貔子窩における官營電氣料金の値下げを斷行し需要者の負擔を輕減すると共に地方產業及び文化の開發に資することゝなつたが今回改正低減を見た主要なものは電燈器具貸付料の六割減、メートル貸付料の全廢、定額(月極)燈の平均一割四分減、動力用電氣料金の低減等であつてその結果總額約八萬圓平均一割五分の値下げを見ることゝなつた、尙地方別に見る時は定額燈において旅順方面は二割一分(六萬圓)金州(一萬圓)普蘭店貔子窩(各五千圓)が關東廳の犧牲的値下斷行によりそれぞれ今回同地方の需要者の負擔輕減となつた譯である

人權蹂躪問題調査

【東京二十九日發電】明政會軟化事件取調の主任末次檢事の人權蹂躪問題につき日本辯護士協會は委員を大阪に派し取調べることゝなつた

粕谷元議長病む

【東京二十九日發電】元衆議院議長粕谷義三氏は風邪に肺炎を併發し麻布六本木額田病院に入院加療中であるが二十九日正午の容體は體溫三十七度八、脈搏八十二、呼吸二十四で憂慮する程の事はないと

福田博士重態

【東京二十九日發電】法學博士福田德三氏は糖尿病及び腎臟病で去る一月八日以來慶應病院に入院中であつたが盲腸炎を併發して過日手術を受けたが經過思はしからず相當重態である

西園寺公の容體憂慮

【興津二十九日發電】二十三日來風邪で引籠り中の西園寺公は二十八日體溫三十九度に近く名古屋より主治醫勝沼博士を招き二十九日は靜岡より田村博士來診したが體溫三十八度五六分を上下し西園寺八郎中川小十郎氏等は二十九日來邸警戒中である

滿鐵社員の初任給を合理化
人事課にて改善研究

滿鐵では今後の社業の趨勢並びに內外經濟事情の最近の推移に鑑みる所あり昨年五月來總裁室能率係において實施せる事務センサスの結論たる事務組織の合理化意見を斟酌して現行給與制度の漸進的改善を行はんとしてゐるが目下人事課では社員の初任給合理化に關する現行規定の改正に就き愼重研究中である、因みに社員の初任給は現行のものとは多少の開きはあるも大體左の如き見當である

△准職員 月手當百二十圓乃至百三十圓

△職員 官、私大學卒業者(法、經、商科)八十圓(工、農科)百十圓(醫科)百三十圓、專門學校卒業者七十三圓

△中等實業學校(工、商、農科五ヶ年卒業)日給一圓七十錢

△中學校 一圓六十錢

△女學校 一圓

仙石總裁が熱心に現地で說明を聽く
船や自動車等の疲れも見せず
無事國境視察を了る

【安東特電二十九日發】多獅島を視察した仙石總裁一行は本日午後三時四十分自動車で歸安、ホテルに少憩、十六時十五分發列車で安義官民多數の見送りを受け五龍背溫泉へ向つた、伍堂顧問は語る

一行を乘せた加茂丸が多獅島に着いたのは豫定より早く十時半頃であつた、直ちに上陸して築港事務所に入り横井築港技師、齋藤土木課長、石川知事を始め滿鐵側隨行者も現地について詳細說明するところあつた、總裁はすこぶる熱心に視察されたが今日は生憎西風が強く灣內波浪高く困つたが十二分の視察をとげることが出來た、晝食は最初船中の豫定であつたが、事務所でなし、十二時半ころ歸途につき自動車に乘つたごろ雪が降り出し相當困つた、また途中道路が惡く到るところで立往生したゝめ鮮人に自動車を後押しさせる狀態であつたが、總裁は船にも醉はず自動車の動搖にもいさゝかの疲勞なく頗る元氣であつた

北平の中央機關全く跡を止めず
外交部辦事處も撤廢

【北平二十九日發電】山西側の南京政府に對する反感は益々露骨となり北平に只一つ殘された外交部辦事處を昨日以來山西側の實權下に移され南京代表機關は跡方をとゞめざるに至つた斯くて蔣、閻の抗爭は緩漫ながら進展しつゝある

張學良氏抱込運動
李璨氏赴奉使命

國民政府外交部アジア局第一課主任李璨氏は今回その後の東支鐵路沿線視察の要務を帶び併せてこれが問題解決に對する材料蒐集めの目的をもつて哈爾賓へ出張を命ぜられたが廿九日入港奉天丸で來連、同日夜行で奉天經由哈爾賓へ向つたが要件に關しては口をつぐんで語らずある方面で傳へられてゐるところによると表面は前記の理由であるが裏面においてさきに張學良氏抱込み了解運動の爲赴奉した吳鐵城氏等と共に張氏に對する諒解運動に與はるものではなからうかといはれてゐる

溫泉の春の夜を打ち寬いで歡談
五龍背の仙石總裁

【安東特電二十九日發】仙石總裁一行は二十九日午後五時三十分五龍背着、直に溫泉ホテルに入り溫泉に浸り午後六時から二階大廣間に宴を催した、列席者は總裁、鍛島秘書役、大村鐵道局長、伍堂顧問、石川平北知事、高山警察署長、佐伯警察部長、井上地方事務所長松田內務部長等にて安東より出掛けた料亭由良之助の美妓數名が酒間を斡旋し漫談に花を咲かせた隨行の大村局長は同日南行の急行で歸城した總裁一行は豫定の如く三十日午前七時十五分五龍背發歸連の途に就く

製鋼所設置の猛運動開始
安義兩地が協力して

【安東特電二十九日發】仙石總裁の新義州における製鋼所敷地視察に刺戟された安義兩市民はこの絶好の機會をとらへ猛運動を開始したが何れにせよ敷地の決定を見るにはなほ相當の時日と曲折とを要するものと觀測されてゐるが、持久的運動に備へるため今度製鋼所設置期成會なるものを組織した而して安義兩市民を打つて一丸としたものとしやうといふ意見も相當有力であつたが、安東と新義州は各々その立場を異にしてゐるためこれを別々に組織して各獨自の立場において運動を持續しやうといふことに意見の一致をみたものゝやうである、なほ安義兩市民は總裁が多獅島視察を喜ぶ反面に今後總裁の多獅島視察と同樣に鞍山及び州內を候補地として視察して比較研究された結果、果して新義州に決定されるかどうかを極度に憂慮してゐる

東北省運輸會議
四月上旬天津で開く

【奉天廿九日發電】北寧鐵路局長高紀毅氏は今回東北省各鐵道の連絡運輸會議を計畫、東北交通委員會に提案中のところ採擇され四月一日より七日間天津において開催することに決し東北交通委員會は各鐵道に代表派遣方を通令した

合同見本市招待者
人員振當決定

本年七月大連において第一回開催の全滿輸入組合聯合會主催內地各府縣合同見本市の招待者は從來の見本市が出品物の種類によりその取扱商人のみに限つてゐたのとは異り全滿及び渤海方面の各地有力輸入商人を網羅するため滿鐵商工課では適切な銓衡方法を考究中であつたが結局沿線は各地方事務所、天津、龍口、青島方面は公議會、商務總會、日本人商工會議所と連絡をとり將來取引上のトラブルを防止するため信用、資產、取引狀態等を充分に調査して確實なる商人のみを招待することゝなり廿九日各地方事務所へ調査を依賴したが滿洲における各地の招待者振當ては左の如くである(邦商華商共)

△旅順五〇名△大石橋二〇名△營口六〇名△鞍山六〇名△遼陽五〇名△奉天二〇〇名△撫順五〇名△本溪湖三〇名△長春四〇名△公主嶺一五名△四平街三五名△開原二〇名

浦鹽露官憲邦人壓迫

【浦鹽二十九日發電】在住邦人の稅金滯納を楯にロシア官憲の邦人壓迫辛辣となり曩に拘禁された邦人八名の釋放につき緒方總領事はロシア側と交涉中だが在留邦人四百名は市民大會を開きロシア側の反省を促すべく寄々協議中、ロシヤ官憲の邦人壓迫の目的は個人商店の撲滅に在り事態惡化の模樣である

滿鐵社員會常任幹事
廿九日決定す

滿鐵社員會では廿九日午後三時半より社員俱樂部會議室において沿線及び在連新舊幹事の聯合せを行ひ各部箇所よりの提出議案昭和五年度豫算等を附議したが互選を以て左記常任幹事五名を決定し午後七時頃散會した、尙各部長、委員の選任に關しては保々幹事長に一任され追て發表を見る筈

市川健吉(地方部)富永能雄(用度事務所)山岡信夫(鐵道部)中西敏憲(地方部)結城淸太郎(大連工場)

辭令

【東京二十九日發電】從四位勳三等 朝比奈泰彥 帝國學士院會員被仰付

安閑帽子

新義州、多獅島視察の仙石總裁を良策驛まで出迎へた石川平北知事、展望車內で平安北道の地圖を擴げながら頻りに多獅島築港の必要を說明したが▲仙石總裁は「川の氷は大分遠いやうだの」、いつ頃から解けたか、三月の十日頃からちやまだ少しは氷があるだらう」と築港問題とは全く懸け離れた質問を向けてゐた▲一方出迎へのため同行してゐた荒川安東商工會議所會頭が、横から製鋼所敷地としての新義州を滿蒙開發の上から大に力說したが▲總裁は「そんなことはどうでもよい、出來る所に出來て、出來ない所には出來ないよ」と蹴へ、出迎への連中「如何にも御尤もく」で引下つた【安東特電二十八日發】

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	七〇一〇	七〇一〇	七〇〇〇	七〇〇〇
五月末	七一〇〇	七一〇〇	七〇八〇	七〇八〇
六月末	七一六〇	七一六〇	七一〇〇	七一〇〇
七月末	七一七〇	七一七〇	七一四〇	七一四〇

出來高 七十七車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	三三一〇	三三一〇	三三一〇	三三一〇

出來高 三萬枚

▲豆油(區々)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	一九四〇	一九四〇	一九四〇	一九四〇
五月限	一九四〇	一九四〇	一九四〇	一九四〇
六月限	—	—	—	—
七月限	一九四〇	一九四〇	一九四〇	一九四〇

出來高 一千五百箱

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	四八〇	四八〇	四六〇	四五〇
五月末	四七〇	四七〇	四四〇	四五〇
六月末	四六〇	四七〇	四四〇	四五〇
七月末	四五〇	四七〇	四五〇	四五〇

出來高 七十三車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)	六九九〇	六九七〇
大豆(裸物)出來高	十五車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二三一〇	二三一〇
出來高	一萬枚	
豆油	出來不申	
高粱	四五二〇	四五〇〇
出來高	五車	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	六九五	六九〇	六九五	六九五

出來高期近 八十五萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	六九五	一二三〇	一三〇五
二時半	六九五	一二九五	一二九五
三時半	六九五	一二三〇	一三〇〇

出來高(銀對金 二千圓 銀對洋 一萬三千圓)

商品

後場 出來不申

神戸特產(廿九日)

品名	價格
大豆現物	六二〇〇
先物	五二〇〇
豆粕現物	一七七〇
先物	三六六〇
滿洲小麥	五四〇〇
豆油現物	一九〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六七六〇〇	六七五〇〇
大新	五二一〇〇	五一八〇〇
鐘紡	二〇一〇〇	二〇一〇〇
鐘新	八七二〇〇	八七三〇〇
日糖	不申	五六〇〇
郵船	不申	不申
東新	一〇二七〇	一〇二五〇

東京株式(短期)

	五品	東新
寄値	七八〇〇	一〇二六〇
引値	不申	一〇二五〇
高値	七八〇〇	一〇三〇〇
安値	七八〇〇	一〇二〇〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
四月	二六八二	[illegible]
五月	二七二六	二七一三

神戸期米

限月	後場寄	後場引
四月	二六九七	二六七九
五月	二七三〇	二七一三

東京期米

限月	後場寄	後場引
四月	二六四五	二六四八
五月	二六八〇	二六八九

滿日地方版

哈爾賓

三巴になつて內紛を續く
奉天鐵道の商業部

東支商業部の紛糾は支那國籍ロシヤ人十二名とソウエート側十二名を混合保管主任のラチエンコ氏が馘首した處から今尙內部には暗流が漂ひ、支那國籍者側のロシヤ人は支那側の庇護のもとに立ちて對抗し最近ラチエンコ氏をキタイスカヤのレストランに引寄せて毆打した爲めに事件は一層擴大し、遂にラ氏の行動についてポプリヤリン課長はこれまでの經過に關する內調査をするなど伏魔殿の觀ある商業部は純赤派と赤大根に支那國籍の白派を混へて三派巴の內爭を續けてゐる、この三派の勝敗が如何に決するかは時節柄各課の注目を惹いてゐる

二百五十萬元で上水道敷設
市政局で目下計畫中

ハルビン新市街、プリスタン居住の十八萬人の飲料水を補給するため市政局では上水道敷設を計畫中であるが、ドイツ技師の設計によると吸水槽によることが便利だと決定され松花江流水は不合格となつた、この計畫のため市は市債二百五十萬元を募集すると

旅行團續々來る

ハルビンの國際都市を憧れて視察に來る旅行團のシーズンが近づいた、廿九日には鹿兒島師範生一行百名がこの春のトップを切つて來哈、四月九日午前には東京高師のラグビー選手一行廿四名が來哈すると、尙其外に

東北帝大生廿五名　四月三日午後四時半着名古屋館
九州帝大生十一名　同上六日午前八時着同上

嚴重なる貨幣取締
浦鹽に於て

浦鹽に於けるチヨルオネッツ紙幣の闇黑相場を取締るために浦鹽ゲペ、ウは日夜血眼になつて調査をしてゐるが廿五日邦人商店は彼等のために家宅搜査を受け嫌疑者は數名拘引されたと傳へられる、然しハルビン勞農領事館ではソウエート國籍人の旅券及居住證明の查證にチヨルオネッツを以つて支拂ふべきことを規定しながら全部哈大洋で換算し徵收してゐるが、交換率は一留が二元である

◇春◇の◇お◇と◇づ◇れ◇
氷が解けたハルピンの春は松花江から
＝（ハルピンスケッチの一）＝

國際商業會議所臨時總會

在哈英、獨、佛、米の各商人をもつて組織された國際商業會議所は廿四日臨時總會を開催し委員四名を推薦した、日本側の國際商議參加問題は理事者で研究中であるため同商議は參加の希望あれば何時でも認める旨の保留を與へたと

行路病者

ハルビンに職を求めて二ケ月前渡つて來た山梨縣生れの渡邊貞（三四）は遂に定職がなく、其の上病氣に罹り二、三日前プリスタン北安街鮮人洪淳應方に轉げ込み其儘病床についたのであつたが、廿七日居留民會では行路病者として日本病院に入院せしめ加養することになつた

哈爾賓雜信

南宗派の大家益田豐年畫伯は卅日公會堂で個人展覽會を開催

◇

村澤氏が主となり四月三日の神武天皇祭に有志と共に刀劍會を公會堂で催すと

◇

盲腸で入院中であつたハイラル事件で有名な滿鐵高橋氏は快癒し退院

長春

教化聯盟協議

長春教化聯盟は本春から大いに積極的活動に入る意氣込みで種々計畫を立てゝゐるが、之が打合の爲め二十八日午後一時から地事會議室で幹事會を開いた

小學訓導異動

來る四月上旬の新學期開始に際して沿線小學校の訓導に相當廣く異動ある筈で、長春に於ても四、五名の異動あるべしと

本年入學兒童

長春室町、西廣場兩小學校の本年度入學兒童は二百四十名だと

度量衡の檢查

關東廳權度所主任高橋氏は二十八日朝來長、同日市中の各商店につき度量衡の檢査を行つた

補習學校々長

長春補習學校は藤川校長が辭任したので上坂室町小學校長が兼務してゐたが、新年度から專任校長を置くことゝなつた

凌辱說は嘘

長春西公園に於て最近二回に亘り邦人婦人が支那人のため凌辱されたのと噂が流布され、時節柄飛んだセンセーションを捲き起したが警察當局で調査した所全く事實無根であることが判明したので、田畑警務司法主任は二十八日調査の結果を發表し、市民が風說に惑はされざるやう注意する所あつた

屋外掃除嚴行

愈々解氷期に入つたので長春警察署は二十九日各派出所に命じ、受持區內の居住者はこの際屋外掃除を嚴行させることゝなつた

開原

三人組强盜
馬を强奪

二十六日午後十時頃開原城北方約一里（當地を距る約三邦里）黃龍崗農姚金（四〇）方に三名の拳銃を所持せる强盜闖入し、姚金の左頭部に盲貫銃創を負はせたる上馬一頭騾一頭を强奪逃走せりと、被害者は二十七日創傷治療の爲め當開原滿鐵醫院へ入院したりと

徵兵檢査期日

當地に於ける本年度徵兵適齡者は八名なるが、來る五月八日午前七時より奉天春日小學校に於て徵兵檢查を施行の事に決せりと

二學級增加
職員增加せん

開原小學校にては兒童の增加により從來八個學級なりしを十個學級に二個學級增加の事に認可決定せりと、從つて職員の增員乃至異動ある模樣なりと

俳優厭世自殺

昌圖附屬地大同街料理店双合書館陳德福方原籍山東省梨城縣俳優陳双喜（二七）は二十六日午後十時半頃自分の部屋にて就寢せるが、二十七日午前四時頃苦悶し居るを夜警張國華が氣付き主人陳德福に告げて彼れの部屋に入りたるに失神狀態に陷り何事も答へず只苦悶せるのみなりしが、指頭に阿片の附着せる處より阿片を嚥下死を計りたるものと判明昌圖公醫の手當を受けたるが、遂に同日午後四時死亡せりと、同人は主人始め同僚とも至極圓滿にて自殺の原因と認むべき事なきも、同人と極めて親き俳優馬寶芬（二〇）が昌圖城東居住馬玉書に落籍され二十六日午後四時頃出發歸鄕せしが、其後掛からず別れを惜み居たる由なれば或は之が爲め自己の境遇を悲觀したる結果厭世自殺を企てたるにあらずやと

昌圖神社新年祭

昌圖神社にては二十八日午前十時新年祭執行されたが川崎所長は供進使として參向の爲め同日昌圖往復

撫順

運動會は本年から年二回擧行
五月十一日は家族本位
記錄本位のは六月八日擧行

全撫順春季運動會プログラム等は既報の如くであるが、次の如き聲明書を「撫順市民運動會章程」が發表された

◇聲明書◇

過般來撫順體育協會は撫順市民運動會章程をその起草委員會にて起草中の處同案は漸く成り左記の如くであるが從來は春季運動會として家族本位の一般競技と競技本位の責任競技と同日に行はれて來たが、近年競技界の異常の進境につれ運動會本來の目的たる大家族會的氣分が阻害される傾向になり來たつたので本年よりは兩競技會を分立して一は運動會本來の目的に從ひ大家族會的のものとし、來る五月十一日を期して華々しく開會、一は專ら記錄本位とし嚴正なるルールのもとに來る六月八日撫順陸上競技選手大會の名のもとに開會、今後毎年前記の如く擧行するものとす

參加組
＝決定す＝

春季運動會の參加は十四組次の如く決定

△庶務課（學校、病院を含む）△經理課（調査役室、消費組合を含む）△運輸事務所（工務事務所、發電所、研究所を含む）△機械工場△古城子採炭所△大山採炭所△東鄕採炭所（楊柏堡採炭所を含む）△老虎臺採炭所△龍鳳採炭所（煙臺を含む）△鐵道部（製油工場を含む）△官廳（警察、郵便局守備隊、憲兵隊）△市中

極東選手權大會の全滿豫選出場者
六氏決定發表さる

神宮競技場に於て五月二十二日開催される極東選手權大會に出場する全滿豫選大會は五月四日大連運動場に於て擧行撫順よりの出場選手は左の如し

△監督　堀陸上部主將△二百四百米增田要藏△百、二百米　田中盛一△槍投　岡田勝義△棒高跳淺阪正一△走巾跳　三段跳柴田義敏

の各氏にて內柴田氏は頗る矚目されてゐる

庭球部陣容整ふ
スケヂユールも決す

撫順庭球部本シーズンのメンバー及びスケジュール次の如く決定、新銳として前衞に田所、後衞に野口宮、田中、三宅の四選手加へ州外に於ては實力第一位の陣容を整へたが

▲幹事　平石、栁田、監督　西尾
主將　炭田
▲選手　炭田、梶、赤松、木下、石井、成井、瀬崎、瀧澤、高橋
田中、南、野口宮、浦田、三宅
田所、百武

尙試合豫定日は左の如くである

▲六月一日　全撫順春季庭球大會
▲同八日　長春征戰
▲二十二日　大連滿鐵聽戰
▲七月六日　州外個人選手權大會
▲十三日　大連遠征
▲二十七日　州外團體選手權大會
▲八月十日　州內對抗大會（奉天）
▲十五日　內地チーム來征
▲九月七日　全滿個人選手權大會
▲廿一日　全滿大會（奉天）

後藤氏は中學校長に教育界異動は
四月一日から中旬迄に發表

撫順教育界の大地震は既報の如く後藤中學校長は教專教授として榮轉、寺田教專教授は撫中校長に、富田補習學校長は鳳凰城燐寸組合理事に、その後任として別稿の如く千金首席鈴木直江氏等は既定の如く、某校長の奉天邊の某校へ榮轉も亦動きのない處で小學校のみの異動十數名、中等學校を合すと二十餘名の大異動で何れも四月一日から中旬迄に正式發表の筈

電燈瓦斯の値下
五月から實施に延期の模樣

この四月からとの電燈料値下も雖ばかりで一向發表がないが探聞するに警察の添書不備あり五月に延びる事となつた、亦ガス値下案は目下炭礦最高幹部で審議中、何れも一ケ月遲れ五月分計算から實施されるらしい

總てが詩だ！
遠望した夜景の壯觀ご露天掘のショベル
を禮讃して碎花氏北行

文壇一方の雄富田碎花氏は夫人同伴二十七日來撫、各方面を觀察即日北行したが語る

白秋氏と奉天で別れて北滿を一巡、瀋海線で奉天へ逆戻りした同線の營盤附近から撫順の夜景を觀たが聞きしに優る壯觀で一大イルミネーションの炭都を見て滿洲の奧に斯くも偉大な日本經營の炭礦のある事を力強く想つた、古城子露天掘の壯大なる電氣ショベルの活々として働く光景、總てが詩である、妻が突然來たので今一度哈爾賓を觀て來る考です

撫炭の新販路
成績頗る良好

炭界の一般的不振に因る撫炭の打擊對策として、近年南支、南洋、フヰリッピン等に仕向け、印度炭、支那炭と競爭を試みつゝあるが最近頗る好成績でフヰリッピンのみで本年に入りて約二十萬噸の撫炭が消化され近年にない好成績を納めてゐる

徵兵檢查
五月六日奉天で

五年度在撫徵兵適齡者在留地身體檢査は五月六日、場所は奉天春日小學校と決定した

有賀憲兵隊長轉任

有賀憲兵隊長は東京府下澁谷憲兵隊附となり四月一日離撫後任の澁谷憲兵隊附の田村分遣隊長は三十一日赴任の筈

人事

▲中野忠夫氏（庶務課長）社務の爲二十七日夜急行にて赴連
▲山西恒郎氏（炭礦長）出連中の處二十七日朝歸連
▲後藤基次氏（撫中校長）廿六日夜行にて關東廳へ
▲城島德壽氏（月刊撫順社長）廿七日夜行にて大連へ
▲芦田均氏（白耳義大使館附參事官）二十七日視察の爲來去
▲杉町警部　安東縣出張中の處廿七日朝歸撫

鐵嶺

居留民會の規則を改正
臨時議員會で協議

激烈な戰ひを交へて當選した今期の民會議員は、多年の懸案たりし民會規則の改正財政善後策選擧規則改正等々多事多端な責任を果すべく重大な任務を負ふてゐるが、着々として其實績を擧ぐべく先づ民會規則及選擧規則其他を附議する爲め二十七日午後六時民會事務所に於て臨時議員會を開催、旅行不在中の松岡議員を除き他は全部出席領事館からは特に木村書記生臨席して頗る緊張して檢討の結果左の如く決定した

普選實施　從來二十五歲以上賦課金五十錢以上を有權者としてゐたが改正案は二十歲以上賦課金の階級全廢男女共に選擧權を與へられる事となつた但し婦女は被選擧權なし

議員定員　現在の十名を七名乃至八名とすること提案ありしも、民意を多數より徵するといふ理想から依然十名を定員とする事になつた

議員任期　今回の改正案中普選と共に注目されるのは從來議員の任期一ケ年とありしを地方委員工商議員同樣二ケ年とした

常任委員制　會計監查委員選任の件が出たがそれより廢止されてゐた常任委員制を復活し會計監查或は會長諮問機關とするを適當とし常任委員制復活決定

尙右の外消防組長藥師神熊太郎、部團長岩本士一兩氏より辭任の申出であり後任は近く團員の互選で決定する筈、以下鐵嶺吉林の樂禍に鑑み公會堂の非常口に階段をつける事、神社維持費居留地負擔は從來年額四百圓を支出してゐたが人口の激減を參酌して五十圓を減じ三百五十圓支出のこと、其他會計期を一年一期とする事等を決議したが改正事項は

全部纏めて領事館に申請、審查の上更に外務省の認可を得て館令發布となり、始めて實施されるものであるから愈々實施となるまでには幾分の曲折があらうと

商議定時總會

鐵嶺商工會議所第十三回定時總會は二十七日午後三時より同所樓上に開催せられ、會員百八名中出席者十二名委任狀三十一名、提出議案は昭和五年度上半期の收支豫算で何れも異議なくスラ〳〵と原案承認閉會した

修養團の活動

鐵嶺修養團支部は來る三日の創立記念日を好機とし頽廢に傾きつゝある現狀を打破し團員總動員の下に昔の意氣を挽回せんと、廿七日夜幹部會を開催し記念日當日午後一時より神社境內に勢揃ひ祈念祭を擧げ、同二時から滿鐵クラブに大講演會引續いて活動寫眞を公開すべく決議し、それ〴〵準備に着手した

戰病歿者の遺骨供養
盛大に行ふ

當地西本願寺に保管中の日露戰役當時戰歿者の遺骨供養は今年二十五周年に相當する事とて盛大に執行する事とし、在鄕軍人分會青年團本願寺が協議し來る四月三十日招魂祭當日本願寺に於て大供養を行ふに決定詳細は追つて協議する筈と

神職會の表彰者

滿洲神職會では創立十周年記念に方り、全滿各地神社氏子總代中十年以上の勤續者を表彰する由で、鐵嶺からは權太親吉氏が推薦される筈と

（大連）

春季祈年大祭
＝と遙拜式

鞍山神社では四月一日午前十一時より春季祈年大祭を、三日は午前十時より神武天皇祭遙拜式を執行一般多數參詣されたしと

公學堂卒業式

鞍山私立公學堂では二十九日午前九時三十分より第七回卒業證書授與式を擧行したが來賓父兄多數參列した

鞍山

陸上競技大會
四月十七日に擧行
今年度の諸計畫決定

既報滿鐵運動會鞍山支部陸上競技部では二十七日午後零時三十分より製鐵所應接室に於て委員會を開催、左記役員を決定、四月二十七日鞍山陸上競技大會に關し左の如く決定した

四月二十七日午前八時三十分より陸上競技場に於て事務課、製造課、工務課、地方事務所、町側等參加し、競技種目は百米、四百米、千五百米、百米障碍、圓盤投、砲丸投、槍投、走巾跳、走高跳、棒高跳、千六百米リレーの十一種目、選手は各種二名出場、一名三種以內に制限した（但しリレーを除く）

▲選手監督係　石橋毅▲選手世話係　土倉增平、竹內喜助、前山米吉▲設備係　松尾俊次、田中禾▲應援係　三重野勝、阿比留乾二、高橋勳一、黑川秀幸、長谷川健二、古田傳一、山拔正雄、植田繁造、藤沼轄一郎、溝部太郎

鞍山競技場之部
▲四月廿七日　鞍山陸上競技大會
▲六月十五日　對若葉競技會
▲七月上旬　鐵、開、四、公優勝チーム招待對抗競技會
▲九月下旬　滿鐵鞍山支部運動會
▲十月十七日　クロスカントリーレース

外部遠征之部
▲五月四日　極東大會豫選（大連）
▲五月二十五日　全滿洲陸上ハンヂキャップレース（大連）
▲八月上旬　外來チーム對抗競技會（大連）
▲九月上旬　州外都市對抗陸上競技大會（奉天）
▲十月五日　全滿洲選手選大會

高潔な今村蟠龍師

昭和三年六月大石橋蟠龍寺住職として奉天より赴任した今村善勵師三十五氏は鋭意教化に努め常に粗衣粗食に甘んじ乏しき財布の中より日曜學校を開いてゐるが太子講の人々が過日來勸行托鉢で得た金品を送つたが固辭して受けぬ高潔なる師の人格に信徒は悅服し信徒總代小林才治、石川憲二、伊藤謙次郎の諸氏は同寺維持方法に就き寄々協議中である

大石橋

藤村驛長招宴

藤村驛長は大石橋管內の荷主及守備隊將校其他新聞通信員等二十餘名を二十七日午後五時より湯崗子に招待し午後九時一同歸橋した

兩訓導榮轉

大石橋小學校訓導水尾正二氏は營口小學校に同訓導倉澤千代子女史は開原に榮轉する旨二十六日發表された

安東

金融組合は新設される模樣
井上地方事務所長談

安東地方事務所長井上信翁氏は滿鐵消費組合理事會議列席の爲め去る二十一日赴連二十六日夜歸安したが、安東の問題とする安東都市金融組合、昭和製鋼所敷地等に關し大要左の如く語つた

金融組合問題は關東廳當局に於て當に安東既設金融會社を脅かすといふ心配の外に色々神經質的な考慮を拂はれてゐた樣であるが、結局社會事業として本質に基き近々中に之れを實施の手續に出る模樣が仄見えた之れに對しては實は自分が關東廳に出頭して文書課長其他と大いに論爭したものである、それから昭和製鋼所問題であるが此度の仙石總裁が敷地及び多獅島築港狀況を視察せられると言ふが、恰も新義州に決定するが如き判斷を下すものがありとすればそれは妄斷であつて、未だ鞍山になるか新義州となるかそれ

大和之丞浪曲大會
讀者優待割引券
特等　二圓　一等　一圓六十錢
二等　一圓
各地とも共通
滿洲日報販賣部

とも中止の止むを得ざるに至るか全く五里霧中である

行金拐帶の共犯者を逮捕

忠南天安湖西銀行の行金拐帶犯人逮捕の爲め天安署より警部補來新の事は、既報の如く其の後安義兩署の應援を求めて搜查中の處、廿五日鴨綠江下流三道浪頭に於て一味五名の內共犯者二名を安東警察署員と共に逮捕し目下安東署に於て取調べを受けてゐるが、主犯者である宋錫築は竊取せし行金六萬圓を拐帶して京元線により滿洲に出て更に吉林より南下して北平に一味と落合ひ拐帶金を分配せんとせし模樣であるので、目下各所に手配嚴重搜查中である

南支天津方面に新販路を開拓
木商組合の理事會

既報安東木商組合の根本的振興に關する協議をなすべき理事會は廿六日午後二時より商議にて開催、武藤常務理事より廿四日新義州公會堂に於て開催された諸富副參事と當業者懇談經過を報告し、新舊貨物主任の歡迎に關する打合せを爲したる後根本的振興策につき意見の交換を行つた結果、既報の通り南支、天津方面に新販路を開拓するを急務とするに意見の一致を見、原木並に輸送關係について採木公司及滿鐵方面に折衝交涉を開始する前提として南支、天津方面の實際市況を視察する事とし組合員中の數名を同地方に派遣する事を申合せ、旅程其他に就ては商議をして其計畫を立てしむる事となつた

無燈火にて自轉車稽古

安東署保安係は交通事故防止のため左側通行の標識を裝置する一方步道、車道の區劃を整理し萬全を期してゐるが、近來氣候の暖かくなつた爲め附添ひ人なき幼兒が道路上に遊び危險甚だしく亦夜間無燈火のまゝ市場通、四番通等の大通りにて自轉車の稽古をなす店員等あり、通行者の迷惑甚大なるに鑑み安東署では發見次第嚴罰に處する事となつた

奉天

池田中佐奇禍

朝鮮軍高級副官池田中佐は上流巡視中の所二十五日中江鎭附近に於て落馬負傷したので、目下中江鎭に滯留療養中であると

最後の遺書

去る廿四日世を呪ふ遺書に黒々しい頭髮まで添へ家出先から送つて來た市內千代田通精養軒コック和田木幸次（二七）は、廿七日精養軒にあて最後の手紙を送つて來たそれには

愈數日の間にあの世に旅立ちます、これが最後です、あの世へ旅立つ前只思ひ殘すことは病める妹と文ちやんに一度逢つて置きたかつた事です

との意味が認めてあり差出局の消印が不明なため判明しないが、廿五日差出日附となつて居り或は朝鮮方面に入りこんだのではないかと云はれてゐる

町の便り

香典返し寄附　市內宮島町九番地鴨綠江製材無限公司奉天支店秋永彌助氏は故惣太郎氏の香典返しとして金五十圓、又葵町廿一番地古閑癸巳生氏は次女きみ子の香典返しをして金五十圓を何れも廿八日奉天署に貧困者救濟資金として屆け出た

◇

奉天商店協會では廿八日午後三時から役員會を開き卅一日開催の全滿大會出席可否につき協議をなす處あつた

◇

廿七日來奉せる東京文理科大學ラグビーチーム對滿洲醫大チームの試合は來る四月一日午後三時から醫大グラウンドに於て擧行されることになり、廿八日は降雪を見た寒さにもめげず兩チームとも必勝を期して猛練習を續けてゐた

◇

總領事館、滿鐵、奉天署その他各官衙では四月一日から午前八時始め午後四時終了に勤務時間が變更される

◇

四月一日は滿鐵施政記念日に相當するので滿鐵關係は一日を休業し祝意を表すと

◇

廿七日の公園委員會に於て春日公園內賣店地希望者十八軒につき協議を行つたが希望者の內設備不可能と思はれるもの公費滯納者無經驗者、奉天以外のもの等を除き飲食店四軒、遊戲場四件に貸下げることになり場所は二十九日の抽籤によつて決定する筈

◇

市內宇治町三ッ和自動車運轉手安相裕（二七）が二十七日午後七時頃赤十字病院からの歸途小西門小路に差掛つた際前方より支那側自動車が進行して來たので自分の車を留めて危險をさけてゐた處、該自動車も停車しどうして通行の妨害をなすかと却つて安に喰つて掛つたので口論となり果ては附近の巡警が駈けつけ支那側運轉手と共に安を毆打した屆出により領事館警察から第一公安分局に嚴重抗議をなす處あつた

人事

▲平田國際專務　二十七日安東より過奉赴連
▲横田滿電專務　同上
▲藤井滿鐵秘書　二十八日大連より過奉安東へ
▲多田十六師團參謀長　廿七日鐵嶺より來奉
▲立川奉天署警視　二十七日文官屯往復
▲仲村奉天署警部　二十七日安東へ三十日歸奉の筈
▲東北帝國大學々生二十五名　卅一日夜安奉線にて來奉一日撫順往復二日長春へ
▲日露協會學校新入生廿九名　四月八日大連より過奉哈爾賓へ

國民經濟の爲に個人を制肘する
故首相ス博士が發布した獨カルテル取締法

【下】

眼目は第四條

カルテル取締令の眼目は恐らく第四條であらう、國民經濟上の理由なくしてカルテルが濫りに生産制限を行ひ或は價格の吊上げをはかり、公益を害し、業界全體に不利益を齎すが如き決議をした場合には經濟大臣の請求に依りカルテル裁判所はその決議の實行を禁じ或はカルテル自體を解散せしめる事が出來る、これが第四條の規定である、

今一つ第十條にも前記の第四條と同じ樣なことが規定してある、第四條はカルテルを取締るものであるが、この第十條はカルテル以外の獨占的企業をも拘束せんとするもので、トラスト、利益協同契約、其の他單一の會社でもそれが獨占地位を占めてゐるものだとカルテル同樣の制裁を受ける、即ち第十條は總ての「强大な經濟的勢力」が其の産業全體の利益又は社會公共の利益に反するが如き協定を爲した場合は、經濟大臣の請求に依りカルテル裁判所は其の協定の無效を宣言する事が出來ると規定してある、從つてそういふ場合に其の協定に調印した者はそれに服從する義務を免れる譯である

適用の實例

ところで、實際上、ドイツのカルテルやトラストは屢々そういふ取締りを受けたかといふに、カルテル裁判所に提出された數千の事件の内、そういふ例は極めて少い模樣らしい、大部分は第八條に規定してある加盟者のカルテル脱退に關する事件である、

右の如く第八條では加盟者がカルテルから脱退して差支へない場合をきめてある、そして第九條は寧ろカルテルを保護獎勵してゐるものと見られる、即ちカルテルのメンバー、未加入者、其他の第三者にカルテルの力——經濟的壓力——を加へることを公認してゐるのである、勿論それはカルテル裁判所の許可を得た上でなければ實行してならない、例へばカルテルに加入しない會社を加入させるために、カルテルがその未加入者に對して「經濟的壓力」を加へるといふやうな場合に、先づ以て其の方法をカルテル裁判所に示し、その許可を受けるのである、その方法の如きも、未加入者を一帶に叩きつぶしてしまふやうな亂暴なものでない限り、裁判所はこれを合法的と認めて居るらしい、これは我が國の政府當局者や、工業家や法律家が大に研究すべき大切なポイントであらう、國民經濟全體の利益のために或産業の統制を行はんとする場合、その統制に從はない者は之れを抑へつけてもよいものか?

個人の自由や權利は飽くまで尊重すべきだが、國民經濟の利益のためには或程度まで犧牲にしてもよい——これが第九條の精神である。

カルテル裁判所

ところで「カルテル裁判所」といふのは何か。ドイツ語でカルテルゲリヒトといふ、カルテル取締令の第十一條以下に其の構成並に訴訟手續が規定してある、カルテル裁判所は一名の裁判長と四名の陪審員とを以て構成され、二名の陪席判事がついてゐる、これ等は大統領の任命するもので、普通裁判所の判事の資格を必要とする、四名の陪審員の内、一名は「産業裁判所」の判事、二名は相反する經濟的利益を代表する者、他一名は社會の公益を代表する第三者といふ組合せである、

カルテル裁判所の構成はざつと右の如くであるが、カルテルに關する訴訟は何人が提起するかといふに、恰も刑事訴訟法の如く國家のみ公訴權を有つ、カルテル裁判所の場合に國家を代表するものは經濟大臣である、尤もこれには例外がある、即ち、加盟者がカルテルから脱退しようといふ場合に、其の脱退權をカルテル裁判所に認めて貰ふときには、自らカルテル裁判所に訴へ出る事が出來るのである、

要するに國家がカルテルの取締を爲すには大體カルテル裁判所を通じて行ふのである、經濟大臣が直接自らカルテルに對し干渉する場合は少い。

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと

興行場の改築と欺瞞的興行

活動狂

不完全な大連市内各劇場及び活動常設館に對し、關東廳より改築命令を近日中に發せられんと云ふことを紙上で見たが、聊かくすぐつたい感じがした、鎭海事件や吉林の大慘事で狼狽てふためいて居る態度が見えすいて居る、あゝした多數の觀衆を集める場所は、こゝ二三年前に既に萬般の設備が完成されてゐて然るべきものぢやなかつたか、通風採光の不完全はいふまでもなく、某館の如きは便所の臭氣が觀客席に漏れて不快この上もなき始末、折角スクリーン上の至藝妙趣もあたら感興を殺がれる事實に夥しい、一日も早く斷乎たる處置を望む、同時に、近來いかさま的な名前で見物人を釣らうとする興行物のあるのを往々見受ける、某興行の如きはビラ中に誰でも知りつくした一流の映畫女優の雁首を麗々しく並べ、實物はと見ると似てもつかぬデモのワンサ連を陳列して觀客を馬鹿扱にして居るものを見受けるが、一體當局は之を何と見て居るのか、商人が見本と違ふ品物を賣れば詐欺になる、改築命令と同時に此種欺瞞的興行物の嚴重取締を講ぜられては如何

自動車組合問題

榮町 十里生

關東廳は自動車組合設立を認可の肚らしく新聞紙は報じてゐるが、自分は大タクの葛和氏談に贊成する者である、營業の存立は需要者の總意に順應すべきは當然である、當業者は競爭の激甚を訴へるが天上天下無競爭の何者があらうか?運轉手の勤務時間、車格低下問題の如きは監督官廳の徹底的取締に俟つべきであり、事故に對しては技術の向上、一般通行者の注意等、必ずしも防遏は難事でないと思ふ所謂自動車事故が如何に無免許運轉手に多いかに留意されたい、組合認可、可否決裁に際し、一般の市民の幸福の爲めに特に深甚の考慮を煩したい

滿洲開發の鍵鑰
昭和製鋼所に關する私見

（七） 難波生

日露戰役後の滿洲開發史を回顧しますと、數字的には非常な進歩を示して居ますが、その進歩の核子たる日本人側の諸事業は、輪奐の美々たるに反して何となく底力がないやうに思はれます、一人一人に就いて精査すれば、成功と見るべき者決して少なくない、大小淺深に拘らず、内地に蟄居して居ては、果して之だけの結果を得たかどうか疑はれる位ですが、斯うした分子は年々其數を增して居ります、併し全般から概評しますと必ずしも樂觀すべきでない、貨物の集散高や、貿易金融各界の數量や金額に反比例して**商民**の根柢は脆弱なやうに感ぜられます、勿論何れの土地に於ても、其處に居住する民衆の總てを、悉く成功者たらしめやうとするのは間違つて居ます、總花的保護政策の餘弊は、寧ろそうした政治意識の下に、個人の智愚純駁を論ぜずして實施された、所謂仁政の結果だつたと言へぬ事もありません、殊に官憲や滿鐵が誇りとする文化設備のごとき、土地傳來の風俗習慣を深く研究せずして、帶のやうに細長い區域に、資力に任せて積み重ねたバベルの塔に似たのが多くあります、戰時中煽りに煽られた優越民族感と、外國人旅行者に見せる爲の**街燿**と、建築業者喜ばせの浪費とか、到る處に而も保護指導てふ虚名に依つて濫行されて居ます、勿論このアブノーマルな狀態は、歐洲戰爭てふ偶發的大動亂に激成されたので、この時代までの數箇年間に躍出した商民中には眞に粒々辛苦の基礎を築いた者が多かつたが、それが大戰時の人氣に蕩搖されて、アブノーマルな世相をノーマルな標準に引直し、外觀や結構だけを組立てさせたのであります、斯うした方針が大勢の落着くにつれて齟齬を來すのは**當然**でありますが、其餘波を最も早く感受したのは、沿線の一般商民でありました、何とかしてそれを盛返さうとする藻搔きが却つて益々彼等の境遇を沈淪させました、處が其頃の滿鐵の社運は未だ上向き一方であつて、銀行や一般事業が落潮又落潮を續ける間に、卓然不可侵的勢力を振ひ得たのであります、隨つて歷代の當事者はこの新興勢力をノーマルの者と信じ、内容のない事業計畫や、不必要な設備に惜氣もなく資力を投じ、社員の待遇や、裝飾的機關にも、外間から見て贅を盡した**方針**を取るやうになつたのであります、久しく問題となつて居る消費組合の如き、當初の趣旨では社員の利益擁護にあつたが、今では却つて勤儉努力の精神を鈍らせて居るといへぬ事もない、それは恰度衞生設備が完成すればする程、病人の數が激增したのと其揆を一にして居ります、之は世界を通じて物質文明の必至的大勢ではありますが、滿鐵沿線に於て殊に加速度に昻進したやうに思はれます、

▽—新刊批評—△

「現代憲政評論」
=美濃部達吉著=

（上）

憲法學の最高權威たる美濃部達吉博士の近業「現代憲政評論」は最近諸雜誌に寄せた憲政時事論評の集成であつて、收載三十篇、說くところ悉く博士一流の明徹な檢討を加へて極めて理路整然、進取的結論を與へてゐるその一班を紹介するため三、四主要論文の結論のみを簡單に誌してみやう

▲選擧革正論 現行選擧制度の根本的缺陷は大選擧區、單記投票法なるため選擧戰爭主體が個人にあるので巨額の費用を要するのみか、投票は或は死票となり或は買收されて政黨に對する國民の意向が正確に反映せず、國民の政黨對監督もまだ殆ど不可能な點にある、かくの如き缺陷を匡正するには所謂名簿式比例代表法を採用する外ない、即ち政黨を法律上公認して選擧は名實共に政黨の爭とし、豫め政黨をして順位を定め候補者名簿を屆出しめ、選擧區を全廢して政黨に投票し毎年改選する、かくすれば輕少の經費にて國民の總意が反映され、而も監督が迅速有效に行はるゝのみか、違法行爲を行ふ餘地が少いので罰則や警察取締は可及的に廢止し得るに至るであらう、次に選擧公營の可否に論及すれば、知名の士でない新候補者の中には不正行爲を爲すものが現はれ結局相率ゐて違反を爲すのみならず、種々の合法的間接運動が起る一面、候補者の濫立を防ぐ方法が困難で、而も私人や政黨の選擧に多額の國費を費すのは純理上からいつても不合理である

▲樞密院論 我國の樞密院制度は世界の立憲國に類例のない特有のものにして全然無責任の地位にありながら内閣の意見に反對することが出來るので、内閣の方針を變更させ或は瓦解させることさへあり得る、かくの如きは立憲政治の本義にもとり、存在理由がないのであるから早晩廢止さるべきである、廢止した場合從來の樞密院重要任務中皇室と國家の大事を審議する權は内閣所管とし、憲法擁護の任務は拘束力のある新組織の公開的憲法裁判所をして行はしめ、その他の諸問事項は議會又はその常設委員會にて決定することにすればよい

體驗から輝く言葉
——キング四月號 特輯欄を讀む——

希望社々長 後藤靜香

月並のものと思ひの他、實に金玉の光を放つ生きた言葉の多いのに驚いた。それは一仕事やつた人々の體驗から出る言葉のせいであらう。

朝倉文夫氏が、從順な心、基礎をつくれ、努力せよの三點を擧げ才ではないぞと敎へられたのに感心。この人の此言なるが故に特に感心。富士製紙の大川社長が、月給五圓時代の生活振り——あれを就職難に苦しむ凡ての青年諸君へ知らせたかつた。あれだけのことを納得すれば必らず成功する。淺野總一郎氏が棄てられてゐる竹の皮に着眼し。次に共同便所に着眼した點、棄てられたもの忘れられたものを拾つたところにあの人の土臺が築かれたといふこと。活訓なるかなと思つた。——まだ幾らでもある、寶玉を眼のある人に拾つて貰ひたいと思つた。

優生運動による 人類生活の理想的改善

池田林儀氏談

優生運動は 人間をありのまゝに見て過去の經驗或は現在の理論が社會に最も價値ありと認めたるすべての典型的人物を増加せしめやうとするものである、單に數に於てのみならずその能率に於て人類に貢献する効力を増加せしめんとするものである、であるから優生運動は社會の目的が最大多數の最大幸福或は更に決定的に人類幸福の總和の増加を期するものであるといふ事が出來る、優生運動はつまる處、身的及び

心的缺陷者 の生産率を減少して心的乃至身的優生者の生産率を増加する事によつて人類の水平線を高めようとする不斷の努力に外ならない、かゝる理想と原則に從ふ種族は永續し、且つ自然を征服し、環境を改善する事が出來、その成員は幸福にして生産力に富むであらう、そしてかやうな目標の設定は決して單なる空想ではなくして今日の進化論や他の科學の肯定し得るところであり、またこれに向つて實際運動として進む事が可能なのである、優生學が期待するところは

（一）人口中の不良分子の種族的貢献を減ずる事
（二）人口中の優良分子の種族的貢献を増加する事

であるが既に擧げた優生運動の積極的二方面の實際運動となつて現はれて來たのであるが、今日特にこの優生運動がいはゆる文明國に於て盛んになつて來たのはどういふ譯であらう

一體人類世界なるものはこんな優生運動といつた樣なものがなくても幾百萬年來人類を保持して來たものであつて何等優生學的の保護、改良がなくても今日の狀態にまで進歩して來たのではないか、それを今になつて優生運動などとは笑止の至りであるといふ人もある、けれどもかういふ考へ方をするのは人間をして今日の狀態に迄引つ張つて來た事に對して最も力のあつたのは自然淘汰であつてその自然淘汰が死亡率の相異に依つて作用した事を注意しない人である、即ち不適者は死亡し、適者は生存したのである、そして社會のまだ

幼稚な時代 にあつては人間は自然淘汰の作用に殆ど何等の妨害も抵抗も試みる事が出來ず自然のまゝに推移して自然のまゝなる自然淘汰を實現せしめて來たのである、所が今日は淘汰作用は殆んど停止した形にあるので此處に於いて優生運動が叫ばれるに至つたのである。

大チャンノ モウジウガリ（66）

ハルミチ作　ジラウ畫

チノ ヤウニ モエタ マツカナ ユウヒ ハ　チムル ハ ジツト メ ヲ ツブツテ クビヲ ハテシモナイ ノハラ ノ ムカフ ニ ダンダ　サシノベテ キマス、オヒサマ ハ ハンブンバン シヅミハジメマシタ、カタナ ヲ モツテ　カリ ニシ ノ ハテニ カクレマシタ、ケラ マツテキタ ケライ ハ シヅカニ タチアガリ　イハ チムル ノ ソバニヨツテ カタナヲ タ マシタ。　カク フリアゲマシタ、

◇彌生高女母國見學團通信……（四）

嚴島よさらば 汽車は大阪へ

人……人……人……人の波

渡邊ヨシヱ

純日本式設備の完全な岩惣旅館を出る事は名殘惜かつた。靜かな庭、天然の美を利用して作つた庭、そこには白鳥も居た、噴水もあつた、靜かな澄んだ清水の流水もあつた、後には立木深い紅葉谷を控へてゐる何千年かたつた木が鬱蒼と茂つてゐる。靜かだ、總てのものが死んでしまつた樣に靜寂だ。

女中さんだつて隨分丁寧にしてくれた。「まだ居たい」誰もが口にする言葉だつた。

嚴島……とそう云つただけで、青々とした水の中にそびえ立つ大鳥居、珠の廻廊が水に浮ぶ姿を想像するだらう。

私達はそれを見たかつたのだ。水に浮ぶ世の龍宮の稱ある廻廊を見る事を、きたいしてゐた。けれど潮の順が惡くて見る事は出來なかつた。

十一時五分私達は嚴島を出發しなければならなかつた。

人なつかしげに、近よつて來る小鹿に、私達は、さよならをしました。

さらば……さらば……なつかしい神鹿よ！木深き紅葉谷よ！私達は連絡船の人となつた。宮島を出發した、汽車は東へ東へとひたはしり續けてゐる。汽車は、ゆつくり座を取る事が出來た。

「何處からおいでやすか？」

「大連」

「ほう大連」いかにも感心してゐるやうだ、その人達は私達の足をしげしげとながめてゐる、足が大きいから不思議だと、彼等は私達を支那人と違へてゐるらしい。

それはかりではない、耳に穴があいてゐないつて……それで私達は、すつかり參つてしまつた。

大連――あんなに開けてゐるグレート大連を田舍の爺さん連は、まるで知らないんだ。

彼等は馬賊の住んで居る所くらゐに考へてゐるらしい。

大連を出發する時に滿洲といつたら「日本語がわかりますか？」つて内地の人からいはれたわ。といつたお友達の言葉が思ひ出された。

汽車の窓は春だ！綠の春だ！綠の國だ！

殺風景極まる滿洲から來た私達にはすべてが驚異である。

綠は希望を現はすと何日英語の時間に聞いた。

希望に輝いた私達の胸は鳴る、岡山の邊りから少しく都會と云ふ樣な感じがして來た。

驛が大きい事、乘客の樣子にどことなく品のある事。

瀨戸――萬富――和氣と過ぎたやがて日がくれる。

夜の旅だ！

明石――舞子――須磨

氣候のいゝ別莊地、保養地のあたりをすぎた。

あかるかつたら……晝だつたら……景色のいゝ明石、舞子の海邊を見る事が出來なかつたことは遺憾だ、でも歸りに汽船で瀨戸内海を通る時に見る事が出來るかもしれない。

神戸も過ぎた。

次は大阪だ――大都會だ。

灯が阪神道路に點々とついてゐる。

下淀川を渡つた。

青い火が見える、赤い火が！あのあたりが道頓堀だ。

上淀川を渡つた。

大阪驛についた、人！人！人！人の波だ、人の群だ。

私達はそのラアシユアワに重田先生にあふ事が出來た。

私達が目的地の京都についたのは九時二十四分だつた。

童話 雷のお家（六）

柄木田照茂

雲は、だんだん街の上の方に來ました。その時雷さんは大聲で

「太鼓を叩け！」

三郎は力一杯太鼓を叩きました

「どどどーん」

「もつと、たたけ！」

「どどどーん」

それが雲と雲とに響いて「ごろごろごろ」と鳴りわたります。

「鏡をふれ！」

「ピカピカピカッ」

「如雨露をまけ」

「ざあざあざあ」

下を見ると、それは、それは、大變な騒ぎです「それ夕立だ。雷光だ。雷だ」と云つてかけまはります。馬車屋の「にいや」は幌をかけるし車の「にいや」は合羽をとり出すし「ぼろにいや」や靴なをしの「にいや」は忙しさうに道具をがたがた云はせて軒下に走り込みます。そのうちに街の中には「きのこ」の行列が出ました。之は道を歩く人がみんな傘をさしてゐるのだとわかりました。自轉車はとぶ、ろばは走る。それはそれは大騒動です。雷さんも僕もまるで有頂天になつて鏡と太鼓と如雨露を夢中に、ふりましはしました

（つゞく）

滿日漫画

免狀とお菓子

母「坊は幼稚園を卒業して免狀を貰つたでせう、だからそんなにお菓子をねだつてはいけませんよ」

坊「僕、この免狀を先生に返して來るからお菓子頂戴ね」

春着（はるぎ）

春雨（はるさめ）

春風（はるかぜ）

赤ん坊の保溫には このやうな注意を

赤ん坊 の發育上最もよくないのは身體を冷すことです、それで寢かせる場合には寢床の中の溫度を常に三十七度位に保つやう注意しなければなりません、溫度を一定に保つ上に必要なことは布團の厚さに注意することで、布團はむやみに厚くてもいけないし、薄くても又よくない、大體大人用の布團を二つ折りにし、その中に湯タンポを入れ、更に其上に赤ん坊のふとんを敷、その上に赤ん坊をねかして輕い

麻蒲團 をかけてやります蒲團はいくら澤山かけてやつても敷蒲團が薄ければ決して溫まりませんから上に多くかけるよりも下を多くした方が保溫上遙かに有効です、確實なことを言へば體溫器を布團の中に入れて溫度を調節するのが最もよいのですが、それも中々面倒ですから時々手を入れて溫度を見るやうにしたいものです湯タンポの湯は冷めかけた時を見計らつて時々取りかへなければならぬことは勿論ですが、湯タンポを赤ん坊に餘り近づけることは禁物です。

テレビジヨン

▽二十四日に歐米留學から歸朝した日本齒科大學教授國分史郎氏の研究によると動脈硬化症は齒の病から誘發されるさうだ

▽岡山市の某飲食店で酒を强請し檢束された香川縣生れの谷口某（三七）は今日まで留置場に放り込まれること二百餘回、留置場入りのレコードホルダーとある

滿日案内

探偵小說 女妖 (50)

江戸川亂步 作
横溝正史
伊藤幾久造 畫

富豪の秘密（九）

暫く經つてから、それでも春日龍三氏はやつと氣持ちを取直した。然し、たつた一瞬間の出來事のために、彼は十も年を餘計にとつたやうに見える。温厚そのものゝやうに見えてゐた面には、深い皺が刻み込まれ居ても立つてもゐたたまらないやうな焦燥が、後から後からと彼を追ひ立てゝゐるやうに見える。

「それで、彼女はいつ亡くなつたのだね？」

暫くしてから龍三氏は重々しく口を開いた。彼はその女の名を口に出す事を好まないらしく、唯彼女といふだけである。

「さうです。極最近まで生きてゐました」

白根辨造はその言葉にある特別の意味を篭めて言つた。

「何處で亡くなつたのだね、矢張り濠洲かね」

「いいえ、濠洲ではありません。パリーです。このパリーに於て亡くなつたのです」

「何？パリーで？、ぢやあれはパリーへ歸つてゐたのか」

「さうです。濠洲では食つてゆけなくなつたので、到頭パリーへ歸つて來たのです。多分、貴方にお縋りすれば、どうにかなるだらうと思つてゐたのでせう」

「さうか、一寸も知らなかつた」

龍三氏は深い溜息と共に、頭を抱へて床の上に眼を落した。種々な不安や、悔恨や、碎け散つた希望やらが、映畫のフラッシュバックのやうに彼の眼の前を通り過ぎた。次から次へと、自分の一家に降りかゝつて來る不幸を、彼は今やはつきりと意識した。

成瀬子爵の身の上に落ちてゐるあの忌まはしい嫌疑――、そして今又、この男のもたらした致命的な不幸――あゝ、その中にあつてあの纖弱い花子はどうして生きて行く事が出來るだらう。

龍三氏はふと頭を擡げると、花子の姿を廣間の中に探さうと思つて目を漁つてみた。然し、着飾つた紳士淑女たちの間には、何處にも花子の姿は見えない。總ての人々は、今この廣間の一劃に起りつゝある悲劇も知らぬげに、樂しげに呑み、樂しげに踊つてゐる。花子も多分その中に混ぢつてゐるのだらう。

然し――あゝ、然し、今この男の握つてゐる秘密が一度で暴露したら、最早何人も花子を相手にしてはくれないだらう。彼女は今の幸福な境遇から、突如忌まはしい汚辱の中に投込まれるのだ。

成瀬子爵との婚約――それも纖だ。子爵はおろか、どんな豚殺しの伜だつて、最早彼女と結婚する事を恥とするだらう。

龍三氏はふと頭をあげた。

「そして、彼女はどんな病氣で死んだのだね、さぞ、悪い病氣か何かで亡くなつたのだらうね」

「いゝえ、病氣で亡くなつたのではありませんでした。成程、死ぬ前にはかなり重い病氣のやうでしたが、死んだのはその病氣のためではありません」

「ふ？病氣で死んだのぢやない？ぢや、何か災難でゞも……？」

「ええ、まあ災難といへば災難でせう――何しろ人手にかゝつて殺されたのですから」

「何、殺された――？」

龍三氏はあまり以外な相手の言葉に、寧ろ驚く暇もなくさう訊ね返した。

「さうです。殺されたのです」

白根辨造はゆつくりした口調でいつた。

「そして警察ではその女を殺した嫌疑者として、目下成瀬子爵を取調中なのです。御存知ではありませんか。春巣街で殺されたあの女今、パリー中で大騒ぎをしてゐるあの大事件の被害者こそ、貴方の昔の奥さまなのですよ！」

「え！」

龍三氏は思はず椅子から跳び上つた。

意外！あの疑問の死美人が、このパリー一の大金持ち、春日龍三氏の昔の妻であつたらうとは！

春は色白く美しき幸に躍る

5.3―21

歡喜の春　水谷八重子

陽春の花咲くとき！生き〳〵とした自然の動き何と嬉しい時でございませう。青春の我等の歡喜よ！天も、地も、幸を歌ひます。わけて嬉しいことは私の愛する『ウテナ白粉』がこの春を期して慕はしい皆樣のみ許に送られるその一事でございます。

陽春が來た幸福の春が

美しくなりませう。色白く、地肌から清淨に美しくなりませう。世は輝く春です。光が、幸福が、空に地に、一ぱいに充ちて來ました。陽春、輝く春が、訪れました。

春を迎へるお支度は？

色白くなる『ウテナ』を！美しき幸福の『ウテナ』を！あなたのお肌を護る美しき春の女神、地肌から美しく色白くなる大評判の『ウテナ』を……春を迎へる第一のお支度として、早く御用意くださいませ。

『ウテナ』を持たぬ春は、花の咲かない春とでも申しませう。青春の人生の春は『ウテナ』から、幸は『ウテナ』から……

見違へるやうに色色く

色の黒い方、赤黒い方、蒼黒い方、垢ぬけせぬ方、首筋の黒い方、すべて、色白くない方は、特に急いで『ウテナ』をお試し下さい。愛用の一度毎に、効果がわかつて

美容科學　化粧の第一課クリームの撰擇秘訣

優良なクリームを撰ぶことは、お化粧をする第一の要件でございます。では、クリームの良否を、どうして見分けるか？

それは極めて簡單にわかります。クリームの蓋を開けてみまして、そのクリームの色が純白でありますなら、それは良質の優れたクリームと申して差支へございません。純白、雪の如きクリーム、それはウテナクリームが代表してをります。ウテナ、バニシングクリームの如きは雪印といふその名の通り、ほんとに氣持よい純白なばかりの美しいクリームで、つけてゐる時の消え心地がよく、質に理想のクリームといふべきであります。

ウテナ、ハイゼニッククリーム（月印）も、ウテナ、コールドクリーム（花印）もこの純白の良いクリームといふ點で、雪印と同樣であります。

それと、匂ひの床しさ、愛らしさ、慕はしさは、特にウテナクリームの誇りです。

殊に花印コールドクリームは舶來以上の品質を持つてゐる誇るべき國産クリームで御座います。

見違へるやうに美しくなる大評判

の美白料が『ウテナ』です。ニキビ吹出物等のでき易い方、あぶら顔の方、肌の荒れる方には、春先の『ウテナ』愛用が最も必要でございます。

『ウテナ』は醫學博士赤津誠内先生が有効を證明される美白料で專賣特許による獨特の新發見美白料でございます。東京市本郷區本郷二丁目ウテナ本舖久保政吉商店の製品、正價小一圓、中一圓、大三圓――全國の藥店化粧品店にあります。

雪　月　花

素晴しい人氣のウテナクリーム

春先、あぶらの浮くときに、心地よい無脂肪のサラリとしたクリームは『ウテナ、バニシング』即ち雪印でございます。

輕い淡化粧に、顔剃りの後に、男女を問はず、日常必要な最も優れた香氣ゆかしいクリームが、この雪印であります。

マッサージ用、白粉落し洗顔用には、脂肪中性の『ウテナ、ハイゼニッククリーム』（月印）が理想的です。地肌から美しく整へ、肌に榮養を與へ、美しく、しなやかに肌を護るクリームが、匂ひの愛しい月印でございます。

花嫁化粧にウテナ花印

晴れた花嫁姿の艶麗なお化粧には花印『ウテナ、コールドクリーム』がぜひ必要でございます。これは濃化粧用、白粉落し、アレ止め用の理想的クリームで、舶來品に優る優秀な國産品です。

夜間やすむ時、この花印をつけますと、知らぬ間に、色白く美しくなるので、ナイトクリームとも申されてをります。

『ウテナクリーム』は無脂肪の雪印六十錢、脂肪中性の月印七十錢、脂肪性の花印一圓です。

誰方も美しいお化粧ができる

お化粧榮は思ひのまま

お化粧の思ふようにできませんのは、悩ましい、淋しいものでございます。また、お化粧榮えのしない顔は、外見も、あまりいいものではありません。

どなたでもお化粧榮えのするお化粧の秘訣は何でせう？色白く、地肌からの美しさに見えるお化粧はないでせうか？それは何でも無いことです。『ウテナ白粉』をお使ひになつて御覽なさい。

肌色……
健康色……
白色……

この三色のうちから、あなたの肌に合つた色を撰んで下さい。色の黒い方、赤い方、赤黒い方や赤味勝ちの方には、『ウテナ白粉』肌色がよろしうございます。

赤味勝ちの肌は、白色をつけても引立ちません。それよりも、肌の赤味に調和して、それを自然に隱す肌色がよろしいのです。

顔色の蒼い方、蒼味勝ちの方、血色のすぐれない方は『ウテナ白粉』健康色をお用ゐ下さい。これは、ウテナ獨特の近代的魅力に富んだ色合でございます。

健康美こそ眞の美しさ

健康美は、輝く自然の美しさでございます。『ウテナ白粉』の健康色は、近代的健康美を極度に發揮する眞に魅力横溢する白粉です。

『ウテナ白粉の』種類は？

勿論、三色とも
ウテナ粉白粉
ウテナ水白粉
ウテナ固煉白粉

この三種が立派に揃ひました。

最上の品質　床しい匂ひ

『ウテナ白粉』は、近代化粧科學の最善をつくした最新式の優れた白粉で、何れも内務省衛生試驗所の純無鉛證明附の絶對安全に肌を護る白粉であります。

如何なる方が、どういふお化粧をなさるにも、この三種類各三色の『ウテナ白粉』で、どんな美しいお化粧でも、思ひのままにおできになります。

ウテナ粉白粉　五十錢
ウテナ水白粉　五十錢
ウテナ固煉白粉　六十錢

何れも全國の小間物化粧品店、大百貨店にあります

土地貸下に絡まる新事件また暴露

きのふ原田建築事務所主收容

連累多數檢擧されん

土地疑獄事件は次から〳〵へと新事實が發覺し大連地方法院檢察局では疑獄の本據を衝くべく寢食を忘れて大活動を續けてゐるが、二十九日午後一時、證人某氏の陳述により新事件の端緒を得たものゝ如く池内檢察官は來連中の安岡檢察官長と協議のうへ午後二時千葉警部、川上書記、岸特務を伴ひ沙河口の原田忠一方に到り家宅搜査を行ひ、高井檢察官、中島警部補、伊藤、小平兩特務の一行は市内西通り六番地原田建築事務所に赴き家宅搜査のうへ所主原田忠一(四三)を拘引、一應取調のうへ午後五時强制處分で嶺前屯刑務支所に收容した、事件の内容は未だ不明であるが、市内某々氏等に絡まる土地不正事件が發覺したものゝ如く、原田を中心に一大疑獄事件が暴露するものと見られ兩三日中さらに多數連類の拘引は免れぬものと觀測さる

伊東附近の地震終熄の兆候無し

中央氣象臺觀測發表

【東京二十九日發電】本年二月十五日以來伊豆伊東町附近を頻發的に脅かして居る地震に對し中央氣象臺と帝大今村博士の觀測との間に見解の相違を生じ注目されて居たが中央氣象臺では二十九日正午國富技師の名を以て次ぎの如く發表した

帝大今村教授の發表と本臺の發表の間に大なる相違を生じた如く傳へらるゝもその後今村教授の來翰によれば双方の意見に差した相違ないとの事である(地震經過)この地震は二月十五日頃より發現し今日迄二千三百回に達したが約七日を周期として靜穩な日より次第に回數激增し遂に強震を發して再び靜穩に復歸する而してこの周期は朝夕潮作用と一致して居るのは注目すべきである

地震震源 伊東における本臺出張所觀測によれば震源は伊東町の附近にて地下十キロ以内の極めて淺き處で發現しつゝある

直接原因 今回の地震は汐吹崎河名岬より日連岬に走る斷層を境とし東西兩地界が水平運動をなしつゝあるため起る斷層地震であるは疑ふ餘地はない伊東地方は關東大震災の時は地界が南に傾いたが今回は當時と全く逆の北の方向に傾く性質の地界運動を行つて居る又今回活動しつゝある斷層は國富技師が關東大地震の直接原因として指摘した斷層即ち根府川より眞鶴岬に走る斷層と密接な關係を有す

結論 要するに今回の地震は今尚ほ終局すべき徵候を認め得ぬ狀態にある事は伊東町伊東附近の人々に取り衷心より同情の念に堪へぬ次第である

丁抹皇儲

御一行きのふ青島御着

【青島特電二十九日發】デンマーク皇太子フレデリック殿下、御弟クヌート殿下御一行は廿九日朝九時御召艦フイオニヤ號にて着靑された、四月三日まで當地御滯在の豫定

1A—0 大連商業勝つ

きのふ消組との試合

三振南條三個でチャンスを逃す

滿鐵消費組合對大連商業野球試合は二十九日午後四時十分より滿倶球場において齋藤(球審)古味(壘審)兩氏審判の下に消費先攻で開始、大商軍應援の學生に元氣づき一A對零で消費軍を破る、閉戰六時五分經過左の如し(七回ゲーム)

	一	二	三	四	五	六	七	合計
消費	0	0	0	0	0	0	0	0
大商	0	0	0	0	0	1	A	A1

經過 ▲一二三四回兩軍凡退 ▲第五回 消費一死後竹中中堅三壘打に出でたが時任三振南條三振で後援續かず

△大商無爲

▲第六回 消費無爲△大商因藤一壘失に梅本(兄)一壘左拔く安打に出で工藤の投手前犧バンドに二者進壘堀部四球に滿壘となり梅本(弟)の四球で遂に一點を得後松村捕邪飛原出三振で後援續かず

▲第七回 ▲消費中井四球に出で一壘失に二進青山の右翼犧飛に送られ三進したが宗正投捕竹中右飛に萬事休す

消費 | 野川上神川井山正橋中任條 吉綠井二北中青宗大竹時南 5998823771164

打	24	2	1	2	5	1	3

大商 石永藤本藤部(茂)村田 白德因梅工堀梅杉原 本 587612439

打	24	守	犧	盜	三	四	失
	24	2	1	1	2	4	1

▲三壘打 竹中—一

▲選手交代 三回消費綠川、井上に大橋、竹中に五回二神、北川に交代す

バッテリー稲門多勢、小川、伊丹—伊達、三田、塚越、岡田、永見

布哇水泳大會に明大出場決定

【東京廿九日發電】來る七月十七日よりハワイに擧行される汎太平洋水上競技大會に明治大學チームが出場すると決定したが極東大會終了後正式チームを組織すると

稲門と三田戰

【東京二十九日發電】三田稲門第一回野球戰は午後三時十分神宮球場に擧行三田先攻にて開始し稲門は第六回に二點、三田軍は第七回に一點を得結局二アルフアー對一にて稲門先づ一勝す閉戰五時五分

十六隻の我艨艟楊子江をさかのぼる

注目されるその成績

【東京廿九日發電】第一艦隊所屬後藤少將麾下の第一水雷戰隊旗艦那珂以下十六隻の驅逐艦は二十八日佐世保軍港を出港、三十日上海着後南京、漢口等を經て大冶まで揚子江を溯江することゝなつた、これだけの艦隊が揚子江を溯江するのは我海軍最初の試みでその成績は頗る注目されてゐる

ヒヨロ〳〵伸びて劣弱な滿洲の兒童

滿鐵が各方面の關係者を網羅し

體育研究機關を設置

◇…沿線 小學兒童の體育研究機關設置問題は過般開かれた滿鐵小學校長會議にも提案可決されその後滿鐵學務當局に於てこれが具體化に關し研究中、最近内外の各種初等體育制度の調査並に兒童の發育狀態等を比較せる結果、滿洲におけるこの種機關設立の急が痛感されるに至り新年度に入ると同時にいよ〳〵學校當局、學校衞生關係者スポーツマン等を網羅した調査機關を設け具體化への一歩を踏み出すことゝなつた、右につき平野學務課長は語る

◇…滿洲 の邦人兒童の發育狀態は遺憾ながら寒心すべき傾向にある、内地の一般小學兒童の體格と較べると身長に於ては大差ないが胸圍、體重等が著しく劣つてゐる樣である、即ちヒヨロ〳〵した兒童が滿洲に多いのであつてこれから伸びやうとする一、二年の低學年級にこの傾向が著しいことは重大な問題だ、先日今年の入學兒童の體格檢査をした學校醫の話を聞いたが、矢張り入學當時から劣弱な體格のものが多いといふことであつた、とにかく一般家庭でも考慮して欲しいが、學務課としてもこの發育盛りの兒童の

◇…體格 が特殊の氣候、風土の影響でデイヂエネレートして行く樣な傾向を防止するため適當な手段と施設を本年は是非實現したいと考へてゐる

神明高女團感泣す

朝香宮邸に伺候

【東京廿九日發電】神明高女旅行團は廿九日市内各所の見學を終り午後一時朝香宮邸に伺候宮家御一同の御出迎へを忝うし午餐を賜り御苑、拜觀後御前演奏會を開き兩殿下御滿悅の態に一同感泣して午後三時半宮邸を退出した

子供の復習監督も出來ぬので發奮したものであると

三十七歳の身で高女に入學志願

今春小學校を芽出度く卒業

殉職滿鐵社員の妻女

【嚴原二十九日發電】三十七歳で小學校を卒業せるさへ珍しきに更にこれに滿足せず高等女學校に入學すべく對島嚴原女學校試驗受驗方願出た女がある學校では年齡に制限なきも訓育上如何と縣廳に照會の結果受驗させることになり、本日から考査にかゝつたが、この女は對馬竹敷砂竹サダといひ、子供の成長に連れ無學で困るところから大正十年小學校に入り本年三月卒業せるものにて大正九年夫が滿鐵勤務中殉職したので爾來老母と十二歳の子と三人暮しのところ

用度事務所新築披露

工費總額一百八萬五千圓その他内部設備費十四萬七千圓を投じた滿鐵用度モダーン事務所の新築披露は二十九日正午から開かれた、大平副總裁はじめ滿鐵各重役各部課長ら出席し來賓として出入商人多數の列席あり、富永事務所長の挨拶において事務簡捷、經費節減が實現せらるゝ所以が披露され午餐に移り、進和商會取締役三井氏の發聲あり津久井三井支店長の發聲にて萬歲を三唱し盛會裡に散會した(寫眞は素晴しい事務所内部)

本物に劣らぬ人造琥珀

滿鐵中央試驗所の研究奏功

工業的に頗る有利

撫順に最も關係深く工業的に頗る有利な研究が大連中央試驗所で最近完成された、それは人工により天然產の「琥珀」と寸分違はぬ人造琥珀を製することに成功したのである、琥珀は露天掘などの發層のなかからとれ、これに加工してパイプ、帶留等に作られるのであるが、前記人造琥珀は今まで使つた道の全然なかつた天然琥珀の粉末からある方法ですこぶる經濟的に作られ素晴らしい有利なものである、またこれは前記のやうに琥珀の粉から作られ光澤、强度、質等も天然琥珀と遜色ないので、近く琥珀製造の工場が出來るらしい

滿都復興のよろこびに耀く

寫眞 (上)宮城二重橋前廣場で擧行された復興完成式典——聖上の御… (中)…における萬歲——右から堀切東京市長、濱口首相、安達内相、小泉遞相 (下)…一切停止された銀座大通り

市內小學教員の體育講習

四日から大廣場小學校で

關東廳學務課では初等學校教員體育指導の目的で、四月四日から七日まで向ふ四日間大連大廣場小學校で體育講習會を開催するが講師は東京高等師範學校助教授安川伊三氏、山本關東廳體研主事、岡澤同指導員外數名で講習科目は小學校體操科教材用各種競技で、受講者は小學校、公學堂教師各校三名づゝである

昨夜滿鐵道場で支那人の殺人未遂

被害者は邦人の番人

市内薩摩町四五滿鐵弓道場番人鹽川吉太郎(六〇)は二十九日午後九時四十分頃同所弓取人支那人山東省生れ李元起(二三)が外出先から豫定より遲く歸つて來た不都合を詰ると、李は却つて喰つてかゝり果ては鹽川の頭部頸部に噛みつき全治一週間の傷を負はせた上更に細紐で頸部を締め殺さんとするより鹽川は「人殺しつ」と叫び救ひを求めたのを附近の人々が聞きつけ、斯くと神明町警官派出所に屆け出でたので係官急行李を取押へ更に大連署より藤井司法主任等現場に臨檢し加害者を取調べた一方鹽川を大連醫院に連れ行き應急手當を加へた

婦人間で大評判

武者小路實篤氏が婦人倶樂部四月號から連載する熱烈な戀愛小說『棘まで美し』は大評判だ。小說を好むもの〻見逃し得ぬ名篇！

極東大會に支那から百八十名が出場

【上海二十八日發電】オリムピック出場の支那選手は四月一日から杭州で最後的豫選を行ひ百八十名選出して五月十五日郵船太洋丸で出發二十日橫濱着と決定したが、一行は特に南北料理人四名を帶同すると

小松大火に御下賜金

【東京二十九日發電】天皇、皇后兩陛下には昨日の石川縣小松町火災の慘狀を聞し召され金千八百圓を御救恤金として御下賜あらせらるる旨二十九日御沙汰あらせられた

バラックに罹災者を收容

【金澤二十九日發電】小松町大火につき石川縣當局は二十八日深更同地に出張調査をなす一方罹災民收容のため公園内にバラック二百棟を新築し又就學兒童罹災者には被服學用品を交附した、なほ炊き出しは二日間行ふことゝなつた

大火原因は行火

【金澤二十九日發電】小松町の大火原因については小松署で取調べの結果火元遠慶寺の留守番長谷コト(六九)と云ふ婆さんが行火を蹴倒したゝめ大事に至つたこと判明したので二十九日失火罪として一件書類を檢事局に送つた

保善丸船員全部溺死

【長崎廿九日發電】去る十日上海を發し長崎廻航中行方不明の蘇州商船保善丸(百六十噸)は鎭守府に依賴搜査中の處二十八日朝同船乘組水夫大澤佐太郎の死體が朝鮮巨文島に漂着したる旨縣廳宛に通知あり同船は十三日の暴風で沈沒し蘆原船長以下十一名の乘組全部溺死せる事判明し死體搜査中

炭礦ガス爆發十名即死

【熊本廿九日發電】廿九日午前四時十分熊本縣玉名郡萬田炭礦地下千五百四十尺の處でガス爆發採炭夫井本勝三外十名即死三名行方不明となつた

移植の櫻樹

分配所と場所

豫て關東廳土木課出張所苗圃に培養中の東宮殿下御成婚記念櫻は本年五百八十五本だけ各方面に分配して移植する事になつたが、その移植場所および分配數は左の通りである

▲沙河口神社七十本▲金刀比羅神社五十本▲稲荷神社五十本▲聖德街百本▲伏見臺小學校二十本▲朝日小學校三十本▲日本橋小學校二十本▲大廣場小學校三十本▲常盤小學校十五本▲春日小學校十本▲南山麓小學校二十本▲聖德小學校五十本▲沙河口小學校二十本▲大正小學校五十本▲出雲大社教五十本▲合計五百八十五本

看護婦卒業生

大連醫院附屬看護婦養成所第二十一回卒業合格者氏名左の如し

今村ウメ、池端シヅエ、稻田フジミ、濱田サエ、早野フジエ、大里麻江、小野正子、加藤壽子田尻ミツエ、高崎ハツエ、中島ツユ、中越他喜子、窪田艶子、山本ヒサエ、山地アイ、山田しづ、藤本マサヨ、後藤トシ、後藤壽枝子、佐藤萬喜子、島田房江、日高妙子、杉田芳子、以上二十三名

山本前總裁母堂

山本前滿鐵總裁母堂照子刀自(八四)は豫て東京にて病氣靜養中の處二十九日死去三十日告別式を行ふ筈

松岡家の不幸

大連郊外土地取締役松岡勝彥氏長男鐵也君(一九)は當地二中卒業後、鄉里熊本へ高入學受驗中急病にて死去した、葬儀は四月二日午後四時西廣場日本基督教會にて執行

長男騎西梓儀去る三月二十三日午前九時長崎醫科大學附屬病院に於て死去致候に付本三十日午後三時大連南山麓妙心寺に於て告別式施行仕候間此段御通知に代へ及廣告候也

昭和五年三月二十九日

父 騎西定明
親戚總代 森安金三郎
成瀨三武
友人總代 高倉義雄
眞邊三二

長男鐵也儀本月二十日於鄉里熊本急病にて死亡仕候間此段辱知諸彥に謹告仕候也

追而葬儀は來る四月二日午後四時於西廣場日本基督教會告別式執行可仕候

昭和五年三月三十日

父 松岡勝彥
親戚總代 戶口殖

戀と地獄 (85)

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

眞夏の午前 (三)

——どうして、すべての人は何の苦もなく一刻一刻をすごして行けるだらう。……

たとへば綾子にしたところで、僕が昨日の事件のためにどれほど悩んでゐるかに就いてはちつとも考へてくれやうともしない。

そして、彼女自身僕を(彼)から奪つたことを寧ろ正しい路であつたかのやうに、一種の義務か責任かをやり遂げでもしたかのやうに誇りにさへ感じてゐるらしい。

それなのに、僕ひとりは過去ばかりを振り返つてクヨクヨしてゐる。後悔してゐる。その癖いざといふ場合、後に悔いをのこさないやうに斷乎たる處置を取ることは僕には出來ないのだ。——目前の生活の波にすぐに押しもまれてしまつて、愚圖々々に樂な方へ流れてゆくのだ——なんといふ弱い、恥かしい、呪はれた生活なのだらう!

綾子はさすがに、いつまで經つてもどんよりと澱み切つてゐる謙三の氣持がいらいらしく思はれて來たらしかつた。

たうとう彼女は言つた。

「謙さん、今日はどうなすつたの——あたしばかり話させてバカバカしく返事さへして下さらないのね。綾子行が不賛成なの? おいやなの?」

謙三は苦い微笑を彼自身に對して輿へた。

不賛成とか何とかいふ氣持を、たとへ彼女の前に表はして見たところがどうなるのだ?

男子一生の信不信の大事な瀬戸際にさへ、此の女の前には自己を主張することが出來ない自身ではないか!

どうともなれ!

「不賛成も賛成もないではありませんか。君の言葉はいつでも僕には主上命令だ」

と、彼は皮肉な口調で言つた。

しかし、相手はよろこばされて笑つた。

「ほんたうに? ほんたうにさうお思ひなの? 主上命令とはいゝ言葉ですわねえ。でも、いつだつてわたし、あなたに惡い結果が來るやうなことはひと言も言はないんですもの。いつだつてあなたのために、いくらでもいゝ事を考へて上げやうとしてゐるんですもの——若しいくらかあなたを困らせるとすれば、わたしの愛が強すぎる位なものだわ……でも、それは仕方がないわねえ——勘忍してネ……」

「勘忍も何もありませんよ。僕はただ……」

僕はたゞ自分が弱すぎるのが口惜しいのだと言いたかつたが、彼は言ひやめた。

「たゞどうなの?」

と、綾子は鸚鵡がへしに訊きかへした。

「僕はたゞ君まかせです」

謙三はさう言ひ紛らして、そして自分の舌を嚙み切りたかつた。

綾子はすつかり滿足した。

「あなたもいつの間にかお口がうまくなつたわね——でも、いつまでもこんなことをしやべつてはゐられませんわ。午後二時何分の汽車で兩國から立ちたいのですから——早く顔を洗つていらつしやい——ご飯はわたしのところでおひるを一緒に召し上がることになさるがいいわ。もう十一時だから、これから此處で朝飯をあがるにも及びませんもの」

謙三はさも億劫さうに椅子をはなれて階下の洗面場の方へ下りて行つた。

滿日俳壇 募集規定

次回課題 石鹸玉「蝸牛」「菜の花」▲句數無制限▲用紙半紙。各題別紙▲締切四月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峯

夕刊 滿洲日報 三月廿九日

世界の指導精神に鑑み海軍の主張を多少犠牲 日米妥協交渉の經過をも尊重 回訓案裁斷の基準

【東京廿九日發電】回訓案に對し濱口首相が閣内硬軟兩派及び各方面の進言又は意見を斟酌し裁斷基準とせるところのものは現在世界の指導精神となつてゐるものは世界の平和を確保し人類の不安を除くこと及び國民負擔を輕減し國民生活を安定せしむることに在り、之れは日本政府が軍縮問題に對し大主眼として絶えず採つてゐる根本精神であつて今回の回訓についても此大方針を以て貫かねばならぬ、そのためには政治的見解を斟酌してその上所謂日米妥協案に到達した經過を重んじ且つ國防上の最少必要限度の要求主張を貫徹すると云ふ立前であつて此根本方針確定したる以上更にこれ以上國内における意見の相違即ち海軍側の意見も多少犠牲とするも已むないとしてゐる

軍部の大巡案尊重 米當局の意嚮を確かめ

【東京二十九日發電】若槻全權への回訓に對する海軍側の強硬態度を緩和すべく濱口首相は屢々幣原外相と協議を重ねた結果、外相も大型巡洋艦については海軍省案を考慮に入れアメリカの十八萬噸に對し十二萬噸保有の權利を主張すべくアメリカが一九三三年より五年まで一隻づゝ三萬噸を建造するに對して、日本はアメリカ提案の保留案即ち加古、古鷹級四隻の代換を各一萬噸となす案に海軍側の意向を按配し、一九三三年アメリカが十六隻目を建造する時日本は一萬噸巡洋艦を一隻建造し加古、古鷹級四隻の代換として一萬噸三隻を建造の權利を保有する案を立つることゝなつた、然し今回の回訓案は會議の成否を決すべき重大案件たるを以て來る一日回訓決定前アメリカの態度を知るため右に對する米政府の意嚮を今一應確むるやう全權に訓令した模樣である

請訓を重んじて回訓案を作成せん 濱口首相決意の理由

【東京二十九日發電】若槻全權への回訓は目下濱口首相の下にて考慮中であるが、大體において若槻全權の請訓を重んじて回訓案を作成し四月一日の閣議に附議する模樣である、濱口首相が大體若槻案を重んずるに至つた理由は左の如くである

一、アメリカの妥協案に對し若槻全權の同意如何が問題となれるもアメリカ妥協案を本國政府へ報告し請訓の態度に出でたる以上外交慣例上若槻全權が同意した結果と解すべきであり、之を破壞する如き態度に出るは良くないとの外務側の意向

一、既に若槻氏を主席に更に專門家全權として財部海相を參列せしめてゐる以上之等が承認したものを本國政府が彼れ是れ云ふことは全權の信任を無視することゝなり、國家の信用上宜しくない

一、軍縮は各國の要望にして今日本の強硬意見に依り之を決裂せしむるは將來國交上の障害を來すであらう

首相の方針決定 鐵、外兩相の意見聽取

【東京二十九日發電】回訓案内容に關する海軍側の強硬態度に對し閣内には硬軟兩端あるが首相の意中においては裁斷についての根本方針が既に確立したと見るべくそれは二十八日の閣議において四月一日の閣議に回訓案を上程すべき見込みが立つた點から見て明らかである、即ち濱口首相が二十七日幣原外相、岡田軍事參議官及び加藤軍令部長との會見を最後として一定方針に基く裁斷を決意したがその方針が漏洩しては内外に重大の影響を及ぼすべきを考慮して廿八日の閣議においては之に觸れず閣議散會後幣原外相の居殘りを求めてその方針を披瀝し二十七日岡田、加藤兩海軍巨頭との會見で明白となつた海軍側の決定的意向を考慮に入れ外務省側の立案に關する重要協議を遂げ更に江木鐵相と會見しその政治的判斷を聽取すると共に裁斷方針に關し諒解を求めた模樣である、從つて幣原外相は首相との協議の結果に基き自己の腹案を基礎として海軍側と充分なる折衝を行ひつゝ具體案を作製し首相は兩三日中に之に對する裁斷を下し一日の閣議に回訓案を上程承認を經て直ちに若槻全權に發送することゝなつて居る

英米全權協議

【ロンドン二十八日發電】アメリカ全權スチムソン及びギブソン兩氏は二十八日朝ダウニング街の英首相官邸にマクドナルド全權を訪問し一時間餘り協議するところあつたが、ギブソン全權はその際クラリッヂ、ホテルにおいて二十七日夜グランヂイタリー全權と試みた談合につき報告したものと信ぜられる

回訓案に關する重臣會議召集論 時日無く實現は疑問

【東京二十九日發電】若槻全權に對する回訓問題は益々重大性を加へつゝあるに鑑み最近貴院の一部及び政界有力筋において斯くの如き國家の安危にも關する重大外交問題の發生に當つては國家の重臣を召集し政府はその意見を聞き國家百年の大計を確立すべしとの所謂重臣會議召集論が擡頭するに至つた、然し回訓は至急發送を要する關係上その實現は疑問であるが濱口首相はその前後において西公、山本、東郷兩大勳位等に對し回訓作成の經過及び軍縮方針、萬一決裂の場合に處する態度等につき充分なる諒解を求めるものと見られてゐる

支那、法權撤廢案を我代理公使に手交 日本の意思表示を待ち交涉開始 外交部長王正廷氏談

【南京二十八日發電】王正廷氏は領事裁判權撤廢問題に關する日支交涉の進展狀態につき本日左の如く語つた

支那側の領事裁判權撤廢に關する草案は二十六日重光代理公使に手交したが、重光代理公使は直ちに之を東京に送附し請訓すると答へた、今日迄に既に五回意見を交換したが今後は日本の支那案に對する意思表示を待つて交涉を進める積りである

はるびん丸のお客樣(廿九日入港)

(上右)倉田旅順重砲隊少佐(上左)新任關東軍獸醫部田崎武八郎氏(下右)新任關東廳海務局長岡本誠氏(下左)京都帝大教授武居高四郎氏

支那側草案内容 實質は漸進的廢棄

【上海二十八日發電】領事裁判權撤廢に關する支那側草案の要點につき確聞するに日本及び列國の主張たる漸進的撤廢方法を採ることは既報の如くでその大要は左の如くであると、支那側の原則的要求は

一、日支兩締約國人民は所在締約國の領土内に在つては所在國の法律及び裁判所の管轄を受くべし

二、兩締約國人民は所在締約國領内に在りて居住營業及び土地權等の事に關し悉く所在國法律及び章程の適用を受く、但し之等の事情に關し一方の締約國人民の所在國領土内に在りて受くる待遇は第三國人民の受くるところより些かも相違あるを得ず

三、間島に在る朝鮮人民は支那の法權に服從し支那の地方官廳管轄の裁判に歸すべし

即ち表面にはなほ則時撤廢を强調してゐる、而して王外交部長は重光代理公使に撤廢の具體案を近く提示するを約した由でその具體案とは多分外交部と英、米間に交涉中なる漸進的撤廢案と見られ交涉が實質的問題に觸れるのはそれ以後となる譯である

反蔣運動の成否 兵力は伯仲 互に切崩しに努む 決定權を握る奉派

▼…言論戰で閻氏を叩きつけ、馮派を巧に利用し、東北省の操縱に成功して、閻氏をして下野外遊の外無き迄に漕ぎつけた蔣介石氏は最後において梶を取り損ね、閻馮間に戰端を開かしめんとして失敗し、共同の敵は蔣だと邊かに閻馮二氏を握手に導き局面は再轉し戰爭へと行進するに至つた。

▼…閻氏が反蔣態度を明らかにした際、蔣派は閻氏を孤立せしめんと手取早く馮派、東北省、河南方面の雜軍に聯絡を取り馮派に山西を與へ鹿鍾麟氏を西北邊防軍司令長官たらしむべしと豫約し、韓復榘氏に河北省を、石友三氏に察哈爾を與ふる條件で彼等を味方に引入れた。

▼…然るに閻氏が悠々兜を脱いだと見るや、馮派の膨脹を恐れて山西側に對し、閻氏下野外遊後必らず舊地盤を確保するか、閻氏は外遊に先だち、西北軍を仕末して、功を以て罪を補ひ、後顧の憂ひ無からしめては如何と相談を持掛けた、この事を聞知した馮派は大いに驚き局面は轉換して遂に閻、馮二氏の提携が出來上つた、それが去る十五日の反蔣通電となつて具體化したのである。

▼…現在兩軍の對峙狀態如何、馮軍は潼關附近に主力を集中し、先鋒は洛陽方面に進出して居るが、まだ積極的活動開始した模樣はない、又山西軍は河北省滄州(平浦線)順德(平漢線)の線を第一線として、頻りに戰備を整へつゝあるも、これ亦最短期間内に、猛進開始の徴候は見えぬ。

▼…中央軍は徐州を中心として集結し、一部分は濟南附近迄進出して居るが、北と西とに敵が控へて居る關係から、敢て攻勢を取らうとせぬ。十日頃蔣介石氏が徐州に赴くとの情報に接した時、例に依り電光石火の進軍で敵の虛を衝き、一擧に勝を制せんとする方策だと想像したが、蔣氏徐州行の噂は霧の如くに消え失せ、蔣氏は江蘇浙江の駐屯軍檢閱に出掛けて、南京の空氣は案外平靜なものがある。

▼…これに關し消息通の語る所に依れば、今直ちに攻勢を取る事は、軍事上不利である、故に暫く滿を持して、敵の内訌誘致に努むると共に「萬已むを得ざるに至つて始めて武力に訴へる」との、平素の聲言に副はんが爲め當分守勢を取り軍事上政治上有利な地步の展開を待つものであると。

▼…中央が聯盟の切崩しに成功するか否かは疑問であるのみならず、閻氏側でも雜軍引ッ張りに暗中飛躍し、現に孫殿英氏は既に山西の味方となり、歸德方面にて中央軍と對峙してをり、石友三軍も元の巣に歸り、馮派のものとなつたと傳へられて居る、雜軍の抱込みは金力と將來の地盤とに依つて、決する問題で、勿論軍費の補助を受け、勝目の無い方に附く者は無い、然し現狀では何れが勝つかの豫斷は容易でない。

▼…軍事專門家の見る所では、單に兵力の點から云へば、五分五分の相撲である、但し閻、馮兩派の提携程度、双方の作戰、東北省その他の態度、軍費などの問題があるから、今の所何とも判斷し兼ねると。

▼…南京では戰へば必らず勝つた蔣介石氏に對する信頼と閻、馮二氏の提携が、そんなに堅いものではない、東北省は積極的に中央を助けない迄も閻、馮派に味方する事は無いとの觀測から一般に樂觀して居る。(南京特信三、二二)

相對的互惠待遇 日支關税協約に關し 王外交部長對内聲明

【南京二十八日發電】日支關税協定中に互惠税を認めた事に對し支那實業團體は相當强硬であるが王外交部長は本日左の如き對内聲明書を發表した

日支關税協定に依り支那は完全なる關税自主權を得る譯である互惠待遇は世界各國ともその例あり殊に今回の協定は互惠品目を完全に製造品に限り原料品は除外した且つ一定期間内は協定税率を增加せぬ事を規定し互惠待遇は飽くまで相對的である尙ほ外債整理に關しては支那は速かに外債整理に關する方法を確立すべしとの一項あるも右は合法的手續に依る債權のみを含み且つ昨年の矢田總領事、宋子文の協定で支那は毎年五百萬弗を關税收入から別に保管しこれを内外債整理に充當する事になつたが以上二項以外には何等特別の規定はない

仙石總裁多獅島へ けさ七時安東江岸を出發 江上の麗かな春光を賞でつゝ 大汽加茂丸に便乘し

【安東特電二十九日發】昭和製鋼所の候補地として有力視されてゐる新義州及び多獅島方面視察の爲め安東ホテルに一泊した仙石總裁は、二十九日

午前五時 起床、同五時半朝餐を終へ、六時五十分隨員一同と共に自動車で江岸棧橋に到り、大連汽船所屬船加茂丸に投じたが天氣晴朗前日に打つて變つた絶好の視察日和で加茂丸の甲板に立つた總裁は蘇へつた春の濁流を透して清々しい朝の安義の風光を眺望しながら、「良い處だノウ」といかにも氣に入つた樣子であつた、船中には石川平北知事の心盡しで晝食の辨當を初めビール、サイダー、その他澤山の御馳走が積み込まれてゐたが同七時港岸を離れ龍丸を先頭に

濁流を切 つて下向、鐵橋下に姿を消した、江岸には早朝にも拘らず高山警察署長をはじめ安東市民多數の見送りがあつた、尚一行は午後三時半陸路自動車で歸安、同四時十五分發列車で五龍背溫泉に赴く豫定である

大連は特殊の港 その使命は重大 紳士的で且つ感じのよい 岡本新海務局長着任

新たに關東廳海務局長に補された前遞信省海事部横濱出張所長岡本誠氏は前航において横濱に向つた前局長生野(團六)氏との間に門司で事務の引繼を了し廿九日入港はるびん丸で夫人同伴來任した、前日の風も名殘りなく晴れた大連港を望み乍ら感慨深げに局員を代表した藤城海事、江原港務、木村檢疫三課長の出迎へを受けサロンに入つてたがお役人とも思へぬ碎けたゼントルマンシップ、最初の印象がすつかり人を引つけてしまふ、そして大要次の如き新任挨拶をなしたこのはるびん丸は確か私が川崎に居た當時造つたものでそれで赴任して來たのも縁といへる、横濱には丁度三年程居つた、あちらも隨分忙しいが又こちらもと思つてゐる、

特殊の港 だけに多忙な事と思つてゐる、自分は大連は初めてだが南支には領事館附檢査官として上海に五年程居つた、大體この大連港には植民地にあつて特殊の空氣を吸つた者を赴任さすのが一つの條件になつてゐる樣だ、生野氏は昔からの友人で以前新嘉坡に彼がゆく時なぞ自分の所に宿つたものだつた今度も門司で會つたが事務の引繼のついでにゴルフ會員の方も引繼いで居いたよ、赴任に際しこれと云つて

海事行政 の抱負なんてものはのべたくないが大連港は特殊な港でしかも滿鐵を控へてゐるのだからその邊の呼吸もよく工夫する必要があるだらう

多獅島築港 完成急務 平北知事力說

【安東特電二十九日發】仙石總裁を良策まで出迎へた石川平北知事は車中で語る

多獅島築港は目下朝鮮總督府で工事を進めてゐるが現在のところ僅かに五十萬圓餘の豫算であるため極めて小規模のものである、五十萬噸呑吐の港灣施設をなすにはどうしても五百萬圓の工費を投ぜねばなるまい、鴨綠江の流域はその流れが最も變化せしむるが北岸が侵蝕されて南岸に陸地を造つてゐる狀態である、多獅島はこの點に何等影響を受けてないし北鮮唯一の不凍港であるため鴨綠江を中心とした朝鮮及び滿洲に特に多獅島築港は惠まれることにならうと思ふ

愛蘭内閣倒る

【ダブリン二十八日發電】アイルランド自由國コスグレーヴ内閣は今朝總辭職を決行した、後繼内閣は共和黨に行くはずで同黨幹部は黨首デ・ヴアレラ氏を擁立する旨言明してゐる

滿鐵創業記念式

滿鐵營業開始記念式並びに社員表彰式は四月一日午前九時半より左記順序により本社會議室において擧行せらるることゝなつたが在連社員は殆ど全部參集の筈

(一)文書課長開會を宣す(二)滿鐵の歌合唱(三)總裁式辭(四)人事課長社員表彰に付報告(五)總裁表彰狀授與(六)總裁發聲萬歲三唱(擧杯)(七)文書課長閉會を宣す

滿鐵各學校職員異動 來月三日頃發表

滿鐵學務課では新學年度に入ると共に各地小、中等學校の學級數の自然增加並に病氣退職者の補充のため小學校教員約八十名、中學、商業、高女等約廿名程度の異動を行ふことゝなり既にその銓衡を終へて書類は廿八日關東廳に廻附したが來月三日頃發表の筈

田崎獸醫部長着任

二等獸醫正田崎武八郎氏は今回の陸軍定期異動で關東軍獸醫部長に榮轉する事になつたが廿九日入港はるびん丸で家族同伴來連した船中言葉少なに「よろしく頼む」と挨拶するところあつた

人事

▲岡本誠氏(關東廳海務局長)廿九日入港はるびん丸にて來連

▲武居高四郎氏(京大教授)同上

▲穗積哲三氏(滿鐵涉外課員)同上

▲田崎武八郎氏(關東軍獸醫部長)同上

▲倉田耕三氏(旅順重砲兵砲兵少佐)同上

▲滿鐵教習生五十九名 菅井直三郎氏に引率され同上

▲東北大學上海見學團 二十九日出帆大連丸にて上海へ

▲秩父固太郎氏 同上

▲根岸保吉氏(商工省商工技師)二十九日朝來連

▲桑原一郎氏(大邱府尹)同上

▲五弓安二郎(陸軍大學校教授)廿九日入港の奉天丸で來連明日天津に向ふはず

▲小林仁氏(海軍少佐)艦隊入港打合せのため二十九日入港奉天丸で上海から來連

大觀小觀

世界平和と國民負擔の輕減と而して國防の責任、濱口内閣の慎重考慮を要求す。

◇

兩者を犠牲にすることなく善處し得れば幸ひなり。

◇

日支關税協定に對する支那側識者の反對、一ト文句なかるべからざる支那のこと、だが併し、自らを反省することは時務の要諦ならずや。

◇

西北と山西と、而して南京と東北との相互連絡對峙を傳ふ。

◇

南京が東北を抱き込まんと努力するは察するに難からず、だが東北が、關内に兵を動かすなどは愚の骨頂。

◇

春寒料峭の氣なきにあらざるも春は春。これからは野に山に。而して健康第一。

天氣豫報

卅日(西の風)晴後曇

各地の濕度

地名	十一時	昨日最低
大連	七〇	〇、五
旅順	五、七	零下〇、五
營口	五、〇	同一、九
鞍山	一、八	同一、八
奉天	零下〇、四	同二、二
開原	同〇、九	同三、四
長春	同〇、四	同四、一

金屬マグネシユウムの製法試驗に成功
強く輕く航空機等に用途は廣い　滿鐵中央試驗所で

中央試驗所においては爾來滿洲に多く產するマグネサイトをもつて金屬マグネシユウムの製法を種々考究中であつたが、この程試驗的には全く成功し今後工業的製產において經濟的價値があるか否やについて目下研究中である、元來この金屬マグネシウムの比重はアルミニユウムの半分位の輕さで輕金屬の王といはれ、またアルミニウム二十パーセントの合金はアルミニウム同樣に強く航空機その他に重要なる用途を有するものである、而してこの製法には二法あつてドイツにおいては鹽化マグネシウムの方法にて工業的に製造してゐるが、中央試驗所で今回研究完成したのは酸化マグネシウムの方法であると

官有土地貸下げに奇怪なカラクリ
黑礁屯の地面を坪三錢で貸下　贈收賄の不正行爲

奉天松島町吉川組吉川康氏にかゝる土地疑獄事件として司法當局から濃厚な疑惑をかけられてゐた星ケ浦黑礁屯十九番地の二官有土地一萬二百三十坪の貸下げ問題に絡み奇怪極まる裏面のカラクリが暴露し

事件は 益々擴大せんとしてゐる、即ち該官有土地は昭和三年末、當時奉天警察署長警視末光源藏氏が貸下を受けんと種々運動を試みたが、容易に許可ならなかつたので、當時吉川組奉天支配人宇士正司氏と談合の結果、吉川康氏が內地歸省中、無斷で吉川氏の名義を使用し、改めて大連民政署土地係に貸下出願を行つた、而して吉川氏は歸連後、宇士支配人からこの顛末を聞き氏は大いに驚き

無斷で 名義を使用したを怒つて宇士支配人を馘首して終つた、しかし末光署長は懇意の仲で末光氏から

折角出願し許可になりそうだから願書の取消しはせぬやうに……

との懇請があつたので、吉川氏はそのまゝ放任して置いたところ、昨年中に貸下許可の指令に接したものであるといふ、而して該土地の貸下運動を政友會代議士中山貞雄、大阪辯護士本田喬行兩氏も

暗々裡 に行つてゐたが、吉川組に許可あつてのち大連民政署某氏の慫慂で中山、本田兩氏は吉川氏に對し共同經營を申込んだと傳へられ、その際吉川氏は該土地の利用に就き何等の計畫がないといふので渡りに舟と本田辯護士に委任經營をなさしむることに交渉成り、委任狀すら渡してあると云はれてゐる、然るに突如該土地は一坪三錢の廉價で貸下を受け、しかも裏面に贈收賄行爲が潛在してゐると聞き吉川氏は大いに驚き二十九日午後一時大連署高等係に

出頭し 中島分署主任に面會を求め詳細の申立をなした模樣である

元奉天署長らに疑惑の眼
けふ吉川氏の申立で　俄然、活動開始さる

吉川康氏から奇怪な裏面の事情を逐一聽取した中島分署主任は、直ちに池內檢察官に報告し俄然新たなる活動を開始したが、吉川氏の申立が事實とせば事件は極めて奇怪なるものとなり、元奉天警察署長末光源藏氏は勿論その他關係名士の

身邊に 疑惑が深められてゐるが、吉川氏は記者に左の如く語つた

黑礁屯の官有土地貸下運動は私の不在中名義を無斷で使用し行はれたもので私の全く關知せぬところです、あとでこの話を聞いて不都合だと思ひ直ちに宇士支配人を馘首し元奉天警察署長の末光氏にも面會し、不都合をなじると末光氏は折角運動しかゝつたことであるから暫く默まつてゐて呉れと頼まれ

放任し てゐると、その後大連民政署から二回ほど呼び出され、藤井財務課長と志賀土地係主任の兩氏が私に對し「あの土地は早く許可することになつてゐるから君は不服かも知れぬが、この際默つてゐて呉れ」との話でした それから暫くして許可があつた譯です、それから共に貸下出願をしてゐた本田辯護士及び中山代議士から共同經營を申込まれたが、元來私はその土地に何等希望も計畫も持つてをらぬので本田氏に一切委任したやうな譯です、從つてこの間不正行爲があるとかないとかいふ噂をされただけでも大いに迷惑を感じてゐます

キネマ座談會
本社主催

兒童の娛樂映畫は明るく朗かな物
映寫時間は二時間乃至二時間半　教育映畫に就いて（一）

時日　廿二日午後六時
場所　滿鐵社員俱樂部
出席者（順序不同）

大連署保安係主任　原田貞一
映畫檢閱官　內田愛吉
消防署長　今井民造
大連二中校長　丸山英一
朝日小學校長　櫻井勘四郎
滿鐵社會課　能登博
滿鐵社會課　花井隆一
滿鐵情報課　芥川光藏
滿鐵社員俱樂部　眞殿星麿
帝國館主　南信二
大日活館主　長次郎吉
常盤座主　小泉友男
演藝館主　小田滋澄
寶館代表者　姬路紘二郎
滿洲日報記者　青山捨夫
同　長谷部貫一
同　工藤與吉

工藤 ではこれから教育映畫についての御意見を伺ひます、奬學會は大體どう云ふ方針で映畫の選定をなさいますか

櫻井 此方では映畫の選定にあまり頭を使ひません。能登さんにお願ひして、滿鐵のお流れをいたゞくのです。現在は年五回になつて居ますが、滿鐵が沿線の學校へ持廻られる一組をそのまゝお借りするのです。唯、時季によつて、つまり極寒期、極暑或ひは學期末等で滿鐵の都合等も惡いときは此方で仕立てる事もあります。又もう一つの場合は、例へば「ツェ伯號映畫」や「死の北極探險」等の如く子供の爲になるものは役員相談の上臨時に見せる事もあります。

能登 社會課としては色々意見もありますが、私としては、先づ子供の生活になるだけ近いもので、明るいもの……現在ではありませんが、まあなるたけ子供の生活に近く明るに劇物に漫畫や、教材的で一般常識に必要なものを加へ、二時間か、二時間半位見せるのが最もよいだらうと思ひます

工藤 映畫公開の方法は？

能登 大連では奬學會がやるので私の方は關係がない。沿線では學校の講堂や公開堂を利用して夜もやるが主に晝間上映する事にして居る。沿線では中間驛から出て來る子供も多いのですから、なるたけ晝間出來る設備を學校にしてもらつて居る

櫻井 私の方も晝です。又市中の常設館の映畫で、子供本位であり、料金も安く、尙、保護者もともに見に行く事の出來る映畫たとへば「乃木大將傳」とか「高山彥九郞」等と云つたものは相談の上許す事もある

工藤 一般常設館への出入に關しての御意見は？

櫻井 此頃はあまり嚴重でない樣ですが、私としてはあまり好ましくない

青山 私の考へは反對です、なるだけ自由に子供が映畫を見るやうにしたい。適當な指導をすれば惡い影響を受けるよりも、知識を得る點が多いと思ふ

櫻井 しかし常設館は大人本位であるからなるだけ接したくない勿論最近盛に叫ばれて居る映畫教育論による映畫もある事であるから相當考へては居る

工藤 其の他に何か御意見は……青山さん、いかがです

青山 私は今の狀態では映畫教育と云ふ事はあまり考へられぬと思ひます。唯常設館に行かぬ代りに學校で活動を見る位の考へしか子供は持つて居ないと思ひます

能登 私もそう思ひますね、だから今後は映畫教育と娛樂との二つに分け、映畫教育は學校にお願ひして、兒童の娛樂を私の方で考へると云ふ事にして、學校側は映畫教育と云ふ事を更に深く考へていただきたいと思ひます

櫻井 しかしそれには苦い經驗を持つて居るんですよ、子供は奬學會の映畫を面白がらないので

能登 しかし其の考へはちがつて居ると思ひますな、映畫教育も一種の教授であつて娛樂ではないのですから

長谷部 大阪ではすでに映畫教育を實行して居る樣にあちらの新聞に出て居ましたが

櫻井 それにはどうしても授業と教材の一致と云ふ事を考へねばならんのですが、これがなかなか困難でしてね

能登 結局奬學會が商賣違ひの事をやるからうまく行かんといふ結論になるんですな

欲しい市民の熱意
グレート大連の都計で招聘されたれ　武居博士けふ又來連

グレート大連への目標を目指して大連における都市計畫は着々進捗を見てゐるが、これが計畫の顧問として關東廳より招聘を受けた京都大學教授武居高四郎博士は、廿九日入港はるびん丸で關東廳との打合せのため來連した

この二月 にも一寸來ましたが元來都市計畫なるものはそう簡單に運ぶものではなく、土地の事情や地理的關係でいろいろ工夫が要るものである、要するに如何に住み易いそして合理的な整備された都會生活が出來るか、如何に整備された都會としての樣式を備へるかといふことに何れもが苦心するところだ、單に專門家のみが躍起となるのみならず一般市民もこの點に對し熱意のあるところを示して欲しいものだ、自分の仕事は調査された種々の事に對し是非の判斷を加へるのだが

殊に大連 といふ土地が內地なぞと違つてゐるから非常にむづかしい、今度は十日間位ゐるが、聞くところによると大連の技術協會あたりでは大變熱心にこの問題について研究してゐるそうだが、更に新聞雜誌等によつてもつと具體的な研究を發表して一般市民の輿論を喚起して欲しいものだ

春に乘る女　けふ星ケ浦で

上原外野手けふ來連
實業團に加はつた新勢力

野球シーズン來でファンの神經を鋭敏にしてゐる折から、二十九日入港のはるびん丸で新編入選手のトップを切つて實業團加入の上原選手が宮崎監督、安藤主將、中島、岩瀨、木下等の諸選手に迎へられて着連した、同選手は廣陵中學の黃金時代の中堅手で、同校卒業後大分高商に入り主將となり大分高商を今日あらしめた選手で、實業團入りと同時に外野手として活躍するはずである、なほ一日着連のはずであつた源川選手は全國中等學校選拔野球大會審判員に推薦されたので四月中旬着連のはず

松林見學團　一行頗る元氣

【片瀨二十八日發電】松林小學校母國見學團一行は出發以來既に旅程の半分以上を過ぎ連日休みなしの各地見學にも拘らず些の疲れも見せず、午前八時宿所たる湯本和泉館を出で電車及び自動車を利用して雨中趣きある箱根の景を賞でつゝ蘆ノ湖畔に出で再び自動車にて引返して下山午後七時意氣揚々と江之島惠比壽館に到着した

出迎人の言傳を取次いでくれる
定期船入港に際して

かねて水上署、埠頭、商船等の協議の結果、定期船の發着の際は公用を帶びざる以外のものは絕對に船內に入れざることになりこれが實施中であるが、例へば內地から初めてくる者でしかも顏の知らない者を尋ねたりする場合とか、特別にものを頼んだりする場合等頗る困るといふ聲が最近各方面で傳へられてゐるので、旅客に對し特に關係深き大阪商船およびツーリストビユーローでは入港船の場合豫じめ前日くらゐまでに屆出た向に對しては、ビユーロー係員又は商船の係員が沖に行つたついでに言傳をすることとなつた

拾つた河豚で　ふたり中毒死

市內日新街廿一番地靴修理工臧住信(三〇)は廿八日午後八時ごろ晝間母親張氏(六七)が市內惠比須町附近塵箱より拾つて來た河豚を料理して同居人煙草行商人孫珍義(五〇)と共に支那燒酎の肴に喰つたが食後約二時間を經て兩人苦悶し出し直ちに博愛病院に收容したが遂に絕命した

クレーンで即死

廿八日午後一時ごろ沙河口霞町滿鐵大連工場準備室前三十噸クレーンを職工王譲良(二〇)が運轉中、クレーン臺の網を取除かんとして、同工場組立工劉政高(三七)がクレーン臺に上り、運轉中のクレーンに挾まれ即死した

新舊市長歡送迎會

大連市區長五十三名發起の石本、田中新舊市長の歡送迎晚餐會は二十八日午後六時からヤマトホテルに開かれ主客の挨拶あつて後、石本前市長は製鋼所期成同盟會代表として上京した經過の報告をなし盛會裡に散會した

內海安吉氏送別會

大連市會議員內海安吉氏は今回東京に引揚ぐることゝなり三十一日發のばいかる丸にて離連するが、田中市長ほか各關係團體の代表者は三十日午後六時より扶桑仙館にて同氏のため盛大なる送別會を催す、希望者は同日正午までに市役所(電話四〇〇四番)滿蒙研究會(電話八八〇四番)へ申込まれたいと

日支聯絡電話料

遞信局では銀の下落の現狀に鑑み當地支那側の協議の結果、四月分の日支連絡電話料金を値下げする事に決定したが、三月分に比較し一通話時の通話料が天津、濟南へ五錢、北平へ十錢方何れも低廉になつた譯である

日曜の催物

▲野球戰　南滿電氣對沙河口工場　午前十時から沙河口グラウンド
▲救世軍　大連小隊、午前十時から「克己の生活」酒井參軍、午後八時から「救を求むる熱心」長井大尉、沙河口小隊午前十時から「ヤコブの爭」中島少尉午後八時から「神を識るまで」佐々木大尉
▲西廣場日本基督教會　午前十時から「聖書の權威」白井牧師、午後七時から「世相と神の道」山田彌十郎
▲日本メソヂスト教會　午前八時半から日曜學校、午前十時から「德に知識を加へ」岡安牧師午後七時から「立て丈夫の如く」同師
▲敷島町組合教會　午前十時から「五つのパンと二つの魚」磯部牧師、午後七時から「神は力なり」稻葉好延
▲本願寺關東別院　午後二時から「罪と罰」嵯峨布牧師「隨想」津村輪番

グリル增築

大連ヤマトホテルのグリル增築は漸く竣工すべく四月一日から新食堂で營業を開始すると

日曜を除いて毎日一往復
福岡—大連間の空輸　遞信局準備を急ぐ

日本航空輸送會社の福岡、大連間の在來コースは日曜を除き隔日運航で一週三往復であつたが、來る四月一日からは日曜を除き每日一往復で一週六往復に增加する事になつた、從つてそのダイヤグラムも變更の必要を生じ既に二十七日遞信大臣の許可を得たので當地遞信局でも取急ぎ準備中である、その結果蔚山泊りを廢止する事になり東京—京城間千五百粁を八時間十分で飛翔し、京城—大連間六百粁を三時間二十分で快翔しその間着陸その他の所要時間を計算しても大連を午後零時三十分に出發すれば翌日の午前中には福岡に夕刻には東京に到着する事になり逆に東京から乘つても一日半で大連に到着出來る事になつた、これによつて郵便物も一日に東京より出したものは三日の午後早く大連の受信人に配達され、また一日正午までに大連郵便局に差出したものは二日中に九州、中國地方に、また同夜若くは三日朝早く東京の受信人に配達される事になつた

長男彊郞死去致候に就ては本月卅日午後四時途中行列を廢し西本願寺に於て葬儀相營み候間此段謹告仕候
昭和五年三月二十八日
父　國本小太郎

艶色生膽秘譚（66）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

三巴（二）

宙をとぶ駕籠二つ。
後を追ふ駕籠一つ。
更けまどろむだ行途の空に、紅から色を染めなしたは大江戸の花
「火事のやうだな」
左近である。
「火事か、フン、地震雷火事親父と」
三藏は醉いが廻つてうつらうつらとしてゐた。
「駕籠屋！」
右近は前をゆく二つの駕籠から眼をはなたずに聲をかけた。
「へい！」
「物騒がしいな、火事か」
「へい！」
「前の駕籠を見失ふなよ、よいか」
「へい！」
半鐘の音は近かつた。

道を走る人の足音がいよいよ殖えてゆく。
「よく先の駕籠を見てまいれよ、この雜踏では、駕籠をすてるか、それとも側道へ外れるか」
右近はのびあがりぎみに腰をたてゝゐる。火事場は直ぐ間近に迫つた。
二つの駕籠が二度三度人波にかくれたと思つたが、また搖れてゆく提灯が、まつかに反映した空の下を……
「あッ、旦那様、あれでございませうかねえ」
「な、なんだ？」
ピタリと止つた駕籠。
垂れをあげて右近はきく。
と、先棒が指すは左右の二筋、共に駕籠が二つ……
「どこだ？」
「札の辻で」
「火事は？お、あれか」
辻を芝口の方が約半町、稻荷側の町家が燃えてゐるらしく、正に燒けおちんとしてゐる棟が、火柱搖りめかせて火の粉を金砂子のごとく吹き散らしてゐる。
「ウーム、しまつた、貴樣どつちだと思ふ？」
「あッじやア確にこつちだと思ふんで」
駕籠屋の指したは左り、赤羽橋めがけてゆく駕籠二つ。
「よし、ではそつちをつけろ」
垂れをパッタリおとすと、ユラリ舞ひあがつた駕籠、またしても宙をとぶ、が、穩かならぬは右近が胸中
「もしや見間違ふてゐたら——ウム、いつそ思ひきつて——」
キッと唇をかむだ。
「おい、あの駕籠を追ひぬけ」
「へい……」
言下に起る聲聲、息杖ふつて一散走り、瞬く間に追ひぬいた。
赤羽橋をわたると小ぐらい森がふかぶかと夜空にそびえたつてゐる。
「よし、賃銀をとらすぞ、酒代ともぢや」
右近はその暗がりにまぎれこむで、ぢつと轍を濺りくる二つの駕籠を待つた。
一瞬、一瞬、近づいて來る足音、ヒタヒタと大地に鳴れば、ブツリ鯉口きつた大刀の鞘に右手をかけた右近、ツツーと道の中央へ進み出るや、
「えいッ！」
いきなり先棒の提灯きつておとす。
「ワアッ！」
けたたましい喚き聲。
駕籠はそのまゝこけつ轉びつ駕籠屋は逃げだす。
「兄上、お出逢ひなされ、俺ぢや右近ぢや！」
拔身を提げたまゝ油斷のない聲をかけた。
と、駕籠の中からは、左近と思ひきや、仇な女の聲で、しかも、
「おお、お前樣は血卍の左近樣！」
「えゝ？」
右近は呆然となつた。

陽春四月の映畫戰

興味をそゝる第一週の番組

陽春の四月を前にした昨今の大連映畫街はいさゝか沈滯の氣味にあるが、この反面には花に魁けて妍を競ふ四月の映畫陣に備へ各館それぞれに陣容を整へ漸く四月第一週の豫告戰に入つた、流石に四月の聲に各館ともに趣向をこらし番組編成にそれぞれの特徴を發揮し華々しい映畫戰が豫想される。正月の「母」以來、飛躍を試みなかつた帝國館では目下内地大都市に於て再び記録的興行成績をあげ大好評を博してゐる蒲田撮影所十五周年記念特作品「進軍」を四月五日より上映するらしく上阪した南館主が交渉中で愈々決定すれば大々的宣傳を開始すべく大連に於ける興行成績も亦大いに注目されてゐる、この松竹映畫に對して日活作品は現代劇特作品「火刑」が矢張り四月五日初日で大日活に上映されると共に、發聲映畫の第一聲をあげる大日活にてはパラマウント發聲映畫「巨人」を同時に上映し二大作品をならべた優秀番組を以て一擧に凱歌を奏せんとしてゐる、この二館に對して演藝館にては奇襲戰に出で、漫談の創始者である大辻司郎を東京より招き神武天皇祭より映畫解説と漫談を以て氣勢をあげるべく着々と準備を進めてゐる、また大橋座レヴュウ團を招聘上演して近代的映畫興行の尖端を行かんとしてゐる常盤座にては四月三日の祭日より上映するマキノ現代劇特作品「繪日傘」第一篇舞の袖のプロローグとして大橋座レヴュウ團を活用して大連映畫界最初の映畫プロローグを試みるべく計畫中である

協和會館の映寫室擴張

近く着手する

協和會館の一部改造増築は既報の如く解氷期と共に愈々近く着工の豫定であるが、その設計のうち最も注目されてゐるのは映寫室の改造である。即ち現在の映寫室を十七坪に擴張し地下室をモーター室として從來の如くホールを通らずモーター室より映寫室に通ずる階段を設け試寫室を兼用することになつてゐる。映寫設備は現在の映寫機シンプレックス二臺を三臺となしその外に幻燈一臺を新設し映寫窓を四個となし萬一の故障に備へる豫定である

常盤座の樂劇

第二回公演

昨二十八日より公演中の常盤座の大橋座樂劇部女生出演の第二回レヴュウは野間正規氏の演出効果で「青空」「昭和四人女」「なわとび」「降りて行く」「人間」「浪花小唄」「オリエンタル」のダンスと寸劇と獨唱で寸劇「人間」は常盤座文藝部同人の原作演出効果による一幕三景である、尚常盤座にては豫て計畫中の樂劇團を編成する事となり女生募集中である

囀話

大日活の白藤愛光と大月研司の漫談は豫告の「脱線放送」を變更して▲「友愛結婚」で昨日から御目見得してゐるが、觀客席からサクラが飛び出したりして大騒ぎ▲この方が餘ッ程漫談の脱線放送だと噂とりどり▲一方常盤座でもこれに對抗した譯でもあるまいが、レヴュウ第二回公演のなかに寸劇一幕三景を入れて里見凌洋長谷川櫻邦土生青兒の解説部員が出演▲亞流子が拔けて喜多流一郎も顔を見せず、だから題して「人間」といふ▲無料解放、但し場内整理料金十錢頂きますの所謂無料興行は今後罷りならぬと當局からお達示▲それだから言はぬことはないと浪速館の早川二郎さんが鼻を高くする。

ラヂオ

大連　JQAK

四月卅日自午後六時二十三分（内地中繼）

▲琵琶「旅順の開城」高峰筑風
▲掛合噺「道中鈴ヶ森」笑福亭鶴藏、橘ノ一圓
▲一中節宮薗節、掛合「根引の門松」一中節（淨瑠璃宮古一梅三味線宮古一伊奈）宮薗節（淨瑠璃宮薗千廣、三味線宮薗千梅）
▲ヴアイオリンと管絃樂（一）狂想曲ニ長調作品六一ベートーベン作第一樂章アングロマノントロッポ（二）ラルゲット（三）アレグロ、獨奏ニコライシフェルブラットAKオーケストラ、指揮近衛秀麿

謹告

從來大連市における大阪朝日新聞並に大阪毎日新聞の販賣に關し販賣店相互間不合理なる競爭を生じその結果購讀料迄區々に分れ御愛讀者に御迷惑かけ延ひては各販賣店經營に支障を來す惧れもありますので協議の上四月一日より豫てチラシにて御通知申上げました通り協定賣價（一圓十五錢）を以つて御用命に應ずる事になりました。右不惡御了承願ます

三月二十八日

大阪朝日新聞社販賣部
大阪毎日新聞社販賣部

御愛讀者各位

荷動き頻繁で 海運界やゝ好轉

歐洲向好轉を眺め 近海運賃も引締る

[illegible]

品目	數量
豆油	一、九二六
小麥	七二、六〇二
麥粉	四、四一〇
高粱	一、二六〇
粟	一九、九九一
包米	七、〇二三
其他	二二、七四六
計	四五九、八七一

自由通商協會 役員の補選

大連自由通商協會では二十八日午後三時から大連商工會議所において定期總會を開き昨年四月一日より本年二月末に至る事務報告並に決算報告をなし役員三名の補缺選擧を行つた現在役員は左の如し

▲常務理事 田村羊三、高田友吉、寺田虎次郎
▲理事 村井啓太郎、西山勉、神成季吉、橫田多喜助、安田柾、古澤丈作、藤田臣直、小日山直登、佐藤至誠
▲監事 田中喜介、武安福男

運合發起人會

きのふ國際支店で 設立は四月中旬頃

[illegible]百二名の中七十五名の出席、河合委員長議長席に就き目論見書を提示し、經過報告をなし、後七十五名の委員は左の誓約書に調印をなす

吾人は從來の主義方針により全力を盡して朝鮮運送合同の達成を期す

而して四項に亘る議案も滿場一致を以て可決した、更に設立の事務進行上商法上の發起人を選ぶ河合議長銓衡して十名を擧げ從來の委員十三名を加へて二十三名とし、法規上の手續きに着手することゝなり午後七時散會した、因に同社の設立は最初現金出資の關係上百萬圓の全額拂込とし更に業績査定による出資を以て目的の二百六十萬圓拂込の會社を實現することになつて居るが四月中頃になるであらう

東省實業會社 縮小事務整理

東省實業株式會社はこの程專務高橋鍵氏が東拓に戻り朝鮮大田支店長に赴任以來、東拓奉天支店副支配人杉本昌五郎氏が事務を兼ねてゐるが、五月の總會までは現狀維持と考へられてゐた處、今回東拓本店より大森支配人の肩書を卸し別に社員今本塚造氏を助手とし右二人を殘して杉本專務を助けしめることゝなり古參の成田、井上、山本の三氏を依願免とした、之がため一時隆盛を見てゐた同會社も今は二社員にて番人となり事務整理をなすが如き有樣となつた

經濟聯盟の 會長內定

小田、千田、今中の三氏

[illegible]調査會委員なので委員としての立場より自由に消費組合問題を論議したいとの意向のために固辭した然るに同聯盟では卅一日の全滿代表協議會を控へてゐるので協議の結果會長に小田斌、副會長に千田次郎、今中良の諸氏が內定したと

五品減資斷行で 先限賣買中止

大連五品取引所では近く減資整理を斷行するので定期取引の五品株の來る四月七日新甫先限（六月五日限）だけは當分の間賣買取引を中止すると

安東銀市場 最近の仕手關係

安東銀市場に於ける最近の仕手關係を見るに買方は實需筋と賴取屋の繫物が主なるものであるが、之れに反し賣方は相變らず思惑筋で而も從來と異り實力ある中心を失つてゐるため活氣を缺いでゐる又大手筋は捲土重來を期し形勢を觀望してゐる模樣である

三月末限り 豆粕豆油受渡

大連取引所特產市場における豆粕豆油三月末日限受渡しは二十八日前場を以て納會を告げた、豆油は賣買總出來高一萬九千五百箱、受渡高は一萬八千五百箱、この步合九割四分九厘弱、標準値段は十九圓八十錢、當期中の高値は二十圓四十錢、安値は十九圓丁度であるこれを二月末日限に比すと賣買總出來高は一萬五百箱、受渡高は一萬一千五百箱の各減少を示し、標準値段は同事であつた、主なる手口を示せば左の如し（單位百箱）

△渡方 同聚祥一五、福和盛二五、福順義三〇、恒昇一五、天和成四〇、裕泰一〇、東記一五、三泰一〇
△受方 日清一〇、三井一〇五、三菱七〇

次に豆粕は賣買總出來高十一萬一千枚受渡高八萬九千枚、この步合八割二厘、標準値段は二圓四十錢で、これを二月末日限に比すと、賣買總出來高は五十五萬二千枚、受渡高は二十六萬二千枚の各減少を示し、標準値段は同事であつた當期中の高値は二圓四十三錢、安値は二圓三十一錢である、主なる手口を示せば左の如し（單位千枚）

△渡方 乾豆和七、萬合公八、福順厚五、福順義二二、天和成七、玉昌合九、西記五、三泰五
△受方 日陞一〇、瓜谷二三、三井二〇、三菱二九

遼寧紡紗廠の 擴張計畫

遼寧省紡紗廠では營業の擴張を計るため省政府財政廳に基金五百萬元の增資方を要請し內部の大改革並に營口、安東の兩地に分廠を設置すべく計畫中で近く關係者を招集し一切の辦法を協議する筈である

手形交換高（廿九日）

	枚數	金額
金	六六二枚	二、一六五、一八〇圓
銀	四〇一枚	一、九〇一、八六五圓

關東州の水に就て（四）

清水技師の講演要旨

將來もダム式を採用すれば金州より引くことにして一萬噸に付七百萬圓の經費を要する、今日までは一萬噸の水を用意すれば三年乃至五年間の人口增加に差支なかつたが將來人口三十萬に達すれば勢ひ高率の人口增加を見るものと豫想されるので一萬噸位の水では到底急激な需要を充たし兼ねるであらう、然らば二、三萬噸の貯水が得られるかといふと仲々容易でない假令水量はあつても地質的に見て岩の組織が花崗岩、片麻岩であるため早晩地盤が埋沒する虞があるので將來は地下水による外ない、然らば何處にこれを求むかといへば大沙河の水源池を現在極力調査中である、大沙河より大連へは二十里隔てゝゐるが五萬噸の水を引くとしても千五百萬圓を要すれば足り一萬屯につき三百萬圓以下で濟む。之を堰堤式によると一萬噸當七百萬圓を要する、而もこの地下水を用ふれば飲料水、染織工業その他の高級用水にも充てることが出來る、次に餘り水質を選ばない諸工業用水としては三十里堡、二十里臺及金州附近の地下水を集むれば僅に三、四萬噸を得られ、この工費は一萬噸當り百二、三十萬圓で足る見込である、水を要する如何なる工業も此の程度の價格であれは採算に合はないといふことはない（終）

黄塵

◇…五品事件、何々疑獄官有土地貸下げ不正事件等々不愉快極まる世相である世相が暗ければ人心動搖し種々の疑心暗鬼を生み流言蜚語又行はる。

◇…全く一波は萬波を生じ萬波よく舟を覆へすでこれが財界に行はるゝ時その災害は計るべからざるものがある。

◇…昨年內地に發生した怪文書問題に絡まり當市の某會社がまきぞへを喰つて惡宣傳されたそれがため大阪某方面からわざわざ當地出張員に調査を命じたことがあつた。

◇…當地ではこの調査を命じて來たといふそのこと事態を早くも不安化し疑惑視し流言蜚語の語源となつた形である。

◇…全く根も葉もないことだらうした流言を流布する輩は當局においても嚴重に取締る必要があると共に一般商民も流言に迷ひ妄動せざるやう戒心を望む。

牛肉商盲動の裏面（七）

◇…渡邊精吉郎

第八に現在大連市公設市場に於て販賣せる牛肉は凡て滿蒙牛中の一、二等品で其建値に就て市當局との交渉を述べ結局一等品は六十四錢以下に賣らされては引合はぬから別問題として未解決の儘今日に及んで居ると公言して居る、そうすれば今日五十二錢で賣て居る市場內の肉は皆二等肉である事を自白したものである、市の當局は二等品を賣る事を承認して居る筈は無い不都合も亦甚しい

第九に牛肉に關する分解の成績と利益の打算を書き立てゝ說明して居るが私の試驗した所と打算は幾度も公表したのだから更に爭ふ必要が無いが輸出牛肉の內地との取引に關する時價を左に揭げるから市民諸君は參考として適度に判斷せられ度い

一等純肉百匁に付金十九錢內外
二等純肉百匁に付金十六錢內外
三等純肉百匁に付金十三錢內外
骨付牛肉は更に之より安いのである

右は御利益を加算したる値段にて之れに荷造、冷藏費、運賃、諸掛等を加へたる額にて取引が行はれて居るのである、若し所謂野肉なる罐詰肉を小賣するなればヒレ、ロース等の部分でも百匁金二十五錢位でも大利益がある、けれども夫れを四十錢にでも賣れば恐く省る人もあるまい、牛肉商連は一等牛肉の骨付（屠肉）を百匁金二十錢換を以て計算してゐるそれは銀價が九十七八圓時の値である

要するに牛肉商連は徒に事實を誣たり無稽の言を弄したりして市民の心證を害ふのは自身却て甚しき不利益に陷ると思ふ、商人である以上は利益を取るなどは云はぬが眞面目に研究努力して商賣に勵んだ方がよい私は當業者諸君の爲に切に反省を祈るのである

東支、呼海線 旬末在貨

四十五萬餘噸

三月中旬末現在東支、呼海兩線主要驛の穀物在高は四十五萬九千八

通貨……一記者

上海經濟視察記（11）

或る人が「支那には幣制が無い」と云つてゐるが、これは確に面白い云ひ方だと思ふ、勿論法令に似た樣なものはあるが、この法令に強制力を與へる力は政府にないのである、支那の通幣事情は全部が慣習に據るもので、その慣習が又行く先き先きによつて異なつてゐるといふ有樣で、實にお話にならない程厄介なものである、上海の通貨のみを考へてもその

雜然としてゐることは

到底大連にゐては想像することも出來ない程である、上海の通貨を大別して見れば、兩部に屬するものと、弗部に屬するものとの二種に分つことが出來る、兩部は又馬蹄銀と兌換紙幣に、弗部に鑄貨と兌換紙幣に分類される、しかし兩と弗とは全く關係のないもので、其の實價も形體も全然異り、又用途も兩は主として大きな取引に、弗は日常生活に於ける細々した買物に用ひられてゐる、先づ兩貨幣から簡單に述べて見よう、兩貨幣といつた所で、何兩といふ定額の鑄貨が存在してゐるのではなく

馬蹄銀にしたところで

品質も重量も別々な小さい銀の塊が通貨として用ひられてゐるのである、從つて馬蹄銀は貨幣といふよりも一つの商品であると云つた方が適當であらう、故に兩貨は秤量貨幣と稱せられてゐる、馬蹄銀は其の名の通り蹄鐵の形をした銀塊で、重量は一個約五十兩と十兩との二種類あるが、品位も一個々々不同であるから、其の表面の凹んだ所に公估局が檢査した、重量及び品位を印した數字が記されてゐる、然し馬蹄銀は銀行及び錢莊間のみで通用するのであるから、實際の受渡の場合には馬蹄銀約六十個を一個の木箱に入れ

其の箱に明細表が附い

てゐる普通は此明細表を信用し取引を行ふのである、此馬蹄銀に對する兌換券は普通五兩、十兩、五十兩、百兩等であるが發行額は非常に少い、又千兩以上の支拂には習慣上使用しないことになつてゐる、この理由は兌換券であるから勿論支拂準備を必要とする法令はあるが、有つて無きが如き支那の法令であるから、兌換券にかくの如き制限が自然と出來たことはむしろ當然なことゝ云はなければならない、一般商取引ではこの信用の薄い兌換券の代りに凡て外國式小切手及び支那舊式小切手を使用してゐる、次に

弗貨幣は不完全ながら

鑄貨である、單位を一元又は一弗と呼び、又圓とも記入されてゐるこの百分の一が一仙で十仙を一角と言つてゐる、一元の鑄貨の種類は非常に多いが、普通に用ひられてゐるものはメキシコ銀及び民國鑄造の元銀である、しかしこの同じ一元に對しても面價な[illegible]つたからである、要するに大洋は一元の本位貨を標準としたもので小洋は補助貨を標準としたものであると云へる、此の小洋勘定で大洋一元に對し、一角を十何枚と銅貨幾枚とを支拂はなければならないかは、毎日の市場相場によつて異るのである、それであるから上海では三歲の兒童すら貨幣に對する觀念の鋭敏であることには舌を卷く程である、弗は日常の通貨であるから、便宜上何うしても兌換券が必要である、一流の

大洋小洋の支拂方法が

あつて、例へば一角十一枚と銅貨五六枚から十七八枚許りを支拂ふは大洋の支拂方で、一角を十枚だけ支拂のは小洋の支拂方である、從つてこの大洋小洋の區別を明に知つておかないと思はざる損害を蒙ることがあり、車屋にすらストレンヂャーは馬鹿にされることが度々ある、どうしてかゝる面倒な大洋、小洋の區別が出來たかと云へば鑄貨制度不統一で、惡貨多く補助貨も之が本位貨と

全然同一の割合の重量

及び品質を備へてゐないので、法令で如何に規定しても各貨幣は其の含有價値丈けしか通用しなくな

外國銀行及び支那銀行

は大抵の兌換券を發行し、一般に通用されてゐる、しかしこの兌換券はよほど注意して受け取らないと往々にして使用の出來ない紙幣を摑らされることがある、又支那人は贋造貨であることを知つてゐても平氣でどしどし渡し、又これは駄目だと云へば平氣で取りかへてくれる實に不思議な國民である寫眞は墨西哥ダラー上は表下は裏

市況

特產

銀安を眺め 各品共强調

今朝の定期は銀安を眺め概して各品共に上伸を示して大引、殊に大豆は豐隆の買戾しに昂騰を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	六九四〇	六九七〇	六九四〇	六九六〇
四月末	七〇四〇	七〇七〇	七〇四〇	七〇四〇
五月末	七一一〇	七一四〇	七一一〇	七一二〇
六月末	七一三〇	七一六〇	七一三〇	七一三〇
七月末	七一四〇	七一七〇	七一四〇	七一五〇

出來高 百九十一車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	二三〇〇	二三二〇	二三〇〇	二三二五
五月限	二三〇五	二三二〇	二三〇五	二三二〇
六月限	二三〇五	二三二〇	二三〇五	二三二〇
七月限	二三一五	二三二〇	二三一〇	二三二〇

出來高 六萬五千枚

▲豆油（强調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	一九六五	一九六五	一九六五	一九六五
五月限	一九六五	一九六五	一九六五	一九六五
六月限	一九六五	一九六五	一九六五	一九六五
七月限	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇

出來高 八千五百箱

▲高粱（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	四五四〇	四五六〇	四五四〇	四五六〇
四月末	四五五〇	四五八〇	四五五〇	四五八〇
五月末	四五三〇	四五五〇	四五二〇	四五五〇
六月末	四五二〇	四五四〇	四五一〇	四五四〇
七月末	四五三〇	四五五〇	四五三〇	四五五〇

出來高 二百三十六車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六九九〇	六九九〇
出來高	四十車	
普通（袋物）大豆（裸物）	六八〇〇	六八二〇
出來高	二車	
豆粕	二三一〇	二三一五
出來高	六萬枚	
豆油	一九八五	一九八五
出來高	五百箱	
高粱	四五〇〇	四五〇〇
出來高	十車	
包米	四五〇〇	四五〇〇
出來高	十車	

定期喰合高（廿八日帳入）（前日對比 較△印減）

品目	喰合高	前日對比
大豆	四七一〇車△	六四車
高粱	三〇五〇車△	一〇三車
豆粕	二五八三千枚	一九千枚
豆油	二九一五百箱△	五百箱

錢鈔

銀塊安て 鈔票弱保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片二分の一と（八分の一安）先物は十九片八分の三と（八分の一安）紐育は四十二仙四分の一と（四分の一安）孟買は五十四留比十六分の十一と（八分の一高）滙兌は七十兩三七五、大洋は九十九圓兩五七五、滙中は七十二兩五七五、日米は四十九弗十六分の七と（同事）米日は四十九弗二分の一と（同事）英米は八十六仙三十二分の十七と（三十二分の三安）米支は四十七弗丁度と（八分の三安）上海標金は五百二兩四と寄り五百二兩九と止め當地の銀價は弱保合を呈した

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	六九六五	六九七〇	六九六五	六九六〇

出來高 期近 二百二十二萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	六九七〇	一二九三五	一七七〇
十時	六九六〇	一二九三五	一七九五
十一時	六九五〇	一二九三〇	一七九五
十二時	六九六五	一二九三五	一七七〇

出來高（銀對金）六萬三千圓（銀對洋）二萬圓

商品

前場

◎麻袋（保合） 甲谷陀貨、爲替同事、鐵一留比高、千田別實直積三十二留比二分一、先積三十三留比四分一、爲替一二三十留比と暴れたるも銀塊八分一安、銀票弱保合に地場當限受渡手仕舞一巡に產地の暴騰に目先見當つかず觀望の狀態に、引際氣配卽當廿六錢、四月二十六錢五厘、五月二十七錢五厘、六月二十七錢五厘、七月二十七錢五厘見當

銘柄	約定期	約定値	數量
鐵麻	三月末	二五八	一〇

出來高 一萬枚

◎錦糸布（保合） 米棉現保合、先五六十錢高、印棉保合、大阪三品前場寄期近二圓高、先各限一圓三四十錢高に引は更に續騰を入れ各限一圓高、銀塊八分一安、銀票弱保合に地場保合閑散裡に散會した、引際氣配扇面現百五十五圓、福助現百六十三圓、四月百五十三圓、四月百六十二圓見當
◎麥粉（出來不申）

豆

昨後場各品共に概して騰り商狀を呈せる氣先

▲今朝は銀市の不勢を眺め各品共に一齊に强調を呈した▲殊に大豆は豐隆の買ひ戾しもあり昂騰、高粱は出廻り減少及び仕手關係も手傳ひて急騰▲近來の豆相場は歐洲の買氣があるとの噂が出れば急騰し、又一寸買戾しがあれば上伸し買氣一服を呈すれば急落しまるで浮氣相場を辿つてゐる▲春先きだから豆もすつかり良い氣になりふわりふわりと浮氣をして歩いてゐるのだらう▲現物大豆は油坊二十車、爪谷、廣泰、興毛東、錦成で二十車▲豆粕は裕發祥、興毛東、爪谷で六萬枚、豆油は日清のみで五百箱の各手合はせがあつた▲今日の油坊生產高は八萬五千枚で操業工場は三十四軒、明日の屆出は十萬二千枚で操業工場は三十五軒である

銀

海外材料としての銀塊は倫敦八分の一安、紐育四分の一安、孟買八分の一高と區々を入れ▲爲替は日米、米日共に同事を報じ又上海標金は五百二兩九と止めた▲地場鈔票は倫敦安を眺め弱氣配を呈して大引▲支那の課稅問題につき昨日はさも眞らしく情報が入つてゐたがそれもどうやら今朝になつて見ればたゞの噂にすぎないらしい▲實に國民政府の宣傳上手には毎度ながら驚いてしまふ▲銀塊は豫想通り反落を呈し標金は上伸を呈したが▲標金の目先きは見て高くなつても五百十兩迄との見込みをつけ高値は賣り安値は買ふといふ狀態を呈してゐるから地場鈔票も目先き氣迷ひと見られてゐる

株

今朝大阪定期寄は鐘紡鐘新小鞘り乍ら大株、大新十錢安、新東短期三十錢安と內地保合を入れて當市も依然として氣乘薄く五品先物十錢安錢鈔十錢安と不味を呈した▲五品は全く八圓攔みに焦付いて了つたので商內も次第細りとなり殆んど市場の人氣は離散して了つた來る四月七日の新甫から先限は減資のため當分賣買中止になるそうだから益々商內は閑散を極めるであらう▲新理事も期待された程株も手持しないと言ふので一部には非難が昂まりつゝあるがマア立派な紳士揃ひだし引受けた以上そんなに無責任のこともするまいし第一初めから非常に骨を折つた河村統治君等に對しても君の現狀を知りながら見殺しにするやうなこともあるまいから餘り騷ぎ立てぬ方が良さそうだ

株式

內地株保合 當市變らず

今朝北濱寄は大株十錢高、大新十錢安、鐘紡七十錢高、鐘新二十錢高、東京短期三十錢安と保合つたので當市定期五品當同事、同先十錢安、新豆同事、錢鈔十錢安、新東三十高、現物五品及鐘新同事、大新三十錢安、東新二十錢高と保合つた出來高定期百六十枚現物四百二十枚

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	—	—	八一〇
新豆	寄	—	—	三一一
	引	—	—	—
錢鈔	寄	—	—	三五八
	引	—	—	—
新東	寄	—	—	一〇二四
	引	—	—	—
五品	引	八一〇	—	—

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	八一	八一	八一	八一
商信	—	—	—	—
新豆	三一九	三一九	三一九	三一九
錢鈔	三五八	三五八	三五八	三五八
氷新	—	—	—	—

◇現物（乙部）

大新 寄 五二、三 引 —
東新 寄 一〇二、一 引 一〇二、六
鐘新 寄 八六、三 引 —

株式出來高（二十九日）

◇爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代渡	代引	日步
五品	八〇	三四〇渡	五四〇逆		三
商信	三五	一	三二〇		四
新豆	三〇	一四〇	三二〇		四
錢鈔	五五	一	渡	一〇逆	三
氷新	二〇	一	—		—
東新	一〇二五	一	一三〇		四

後場（保合）

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品 寄	—	—	八一

市場電報（廿九日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片二分一
同先物	一九片八分三
紐育銀塊	四二仙四分一
孟買銀塊	五四留比十六分十一
英米爲替	四八六仙卅二分十七
米日爲替	四九弗二分一
米支爲替	四七弗〇分〇

棉花

●米棉（換算一〇〇錢高）

現物	一六仙〇〇
三月	一五仙七六
五月	一五仙八一
七月	一五仙四三
十月	一五仙四四
十二月	一五仙六三

●印棉

ペンゴール	一九三留比
ジローチ	一八二留比
オーラム	二二六留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六七三〇	六七四〇
大新	五一一〇	五一五〇
鐘紡	一九九三〇	一九九〇〇
鐘新	八六二〇	八六〇〇
日糖	—	五六一〇
郵船	—	五〇六〇
東新	一〇一八〇	一〇一八〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一一五一〇	一一五二〇
東新	一〇一六〇	一〇一六〇
五品 當	—	七七〇
五品 中	—	—
五品 先	—	七七〇
新豆 當	—	—
新豆 中	—	三四〇
新豆 先	—	五品
同（短期）東新		
寄値	一〇一〇〇	七八〇
引値	一〇一三〇	七八〇
高値	一〇一三〇	七八〇
安値	一〇一七〇	七八〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二六九一	二六七六
中限	二六九三	二六九〇
先限	二七三六	二七二九

東京期米（休會）

	前場寄	前場引
當限	二六八〇	二六九九
中限	—	—
先限	二六八六	二六九〇

大阪綿糸

	前場寄	前場引
三月	一六六〇〇	一六六〇〇
四月	一六七〇〇	一六九二〇
五月	一六九七〇	一七〇〇〇
六月	一七二三〇	一七二二〇
七月	一七三六〇	一七三九〇
八月	一七二二〇	一七三二〇
九月	一七二三〇	一七四六〇

大阪棉花

寄引 大引

神戶豆粕

	前場一節
當限	四九〇
先限	四九六〇
三月	三六七〇
四月	三六七〇
五月	三六七〇
六月	三六〇〇
七月	三六〇〇

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
三月	一二八〇〇	—
四月	一二八〇〇	—
五月	一二六〇〇	—
六月	一二八〇〇	—
七月	一二三〇〇	—
八月	一二〇〇〇	—

印度麻袋

青筋直積	三五留比十六分七
鐵筋直積	三三留比四分一
爲替相場	一三七留比四分一

奧地市況（廿九日前場）

特產

定期 二六〇枚
現物 六五〇〇枚
合計 九一〇〇枚

▲大豆

		寄付	大引
開原	四月限	一〇六、四〇	一〇六、六〇
	五月限	一〇八、二〇	一〇八、六〇
	六月限	—	—
長春	四月限	一〇八、七〇	一〇八、七五
	五月限	—	—
	六月限	—	—
公主嶺	四月限	一二、〇五五	一二、〇四〇
	五月限	一二、〇九七	—
	六月限	一二、一一五	—
哈爾賓	四月限	一一、四五五	一一、四四〇
	五月限	一一、四八〇	一一、五〇〇
	六月限	一一、四九〇	一一、五〇五

▲高粱

		寄付	大引
開原	四月限	九六、七〇	九六、八〇
	五月限	九六、二〇	—
	六月限	—	—
長春	四月限	一一、三六	一一、四〇
	五月限	一一、一五	—
	六月限	—	一一、一六
公主嶺	四月限	一一、二三	—
	五月限	一一、二六	—
	六月限	一一、三〇	—

▲小麥

		寄付	大引
哈爾賓	四月限	二、一七〇	二、一八〇
	五月限	二、二〇〇	二、二〇〇
	六月限	二、一九〇	二、一九五

錢鈔

	寄付	大引
奉天（現物）	八七二〇、〇	八七二〇、〇
（奉票）（先限）	—	—
奉天（現物）	六八〇、〇	六八〇、〇
大洋票（定期）	一四五、〇	一四五、〇
開原（現物）	八七三〇、〇	八七三〇、〇
（奉票）（先限）	八七六〇、〇	八七五〇、〇
同（現物）	八七四〇、〇	八七九〇、〇
（鈔票）（先限）	—	—
安東（近期）	九二四	九二四
鎭平銀（遠期）	九二三	九二三
哈爾賓（現物）	七七、三〇	七七、四〇
（大洋）		

爲替相場（廿九日正午）

正金（銀勘定）	
日本向參着賣（銀百）	六八圓七五
同　十五日買（同）	六九圓七五
上海（向參着賣銀百）	七二兩二五
正金（金勘定）	
倫敦向電信賣（圓）	二志〇片卅二分九
信用付二月買（同）	二志〇片卅二分廿五
米國向電信賣（百圓）	四九弗十六分七
同　九十日拂買（同）	五〇弗十六分一
鮮銀（金勘定）	
倫敦向電信買（円）	二志〇片十六分五
同　二ケ月買（同）	二志〇片八分七
紐育向電信賣（金百）	四九弗十六分五
上海向電信賣（金百）	一〇四兩四分三
同　賣（銀百）	七〇圓八〇
日本向電信賣（銀百）	六八圓四〇
同　十五日拂買（同）	六九圓六五

滿日地方版

哈爾賓

三巴になつて内紛を續く
奉天鐵道の商業部

東支商業部の紛糾は支那國籍ロシヤ人十二名とソウエート側十二名を混合保管主任のラチエンコ氏が馘首した處から今尚内部には暗流が漲ひ、支那國籍者側のロシヤ人は支那側の庇護のもとに立ちて對抗し最近ラチエンコ氏をキタイスカヤのレストランに引寄せて毆打した爲めに事件は一層擴大し、遂にラ氏の行動についてボブリヤリン課長はこれまでの經過に關する内調査をするなど伏魔殿の觀ある商業部は純赤派と赤大根に支那國籍の白派を混へて三派巴の内爭を續けてゐる、この三派の勝敗が如何に決するかは時節柄各課の注目を惹いてゐる

二百五十萬元で上水道敷設
市政局で目下計畫中

ハルビン新市街、プリスタン居住の十八萬人の飲料水を補給するため市政局では上水道敷設を計畫中であるが、ドイツ技師の設計によると吸水槽によることが便利だと決定され松花江流水は不合格となつた、この計畫のため市は市債二百五十萬元を募集すると

嚴重なる貨幣取締
浦鹽に於て

浦鹽に於けるチヨルオネツツ紙幣の闇黑相場を取締るために浦鹽ゲ、ペ、ウは日夜血眼になつて調査をしてゐるが廿五日邦人商店は彼等のために家宅搜査を受け嫌疑者は數名拘引されたと傳へられる、然しハルビン勞農領事館ではソウエート國籍人の旅券及居住證明の査證にチヨルオネツを以つて支拂ふべきことを規定しながら全部哈大洋で換算し徵收してゐるが、交換率は一留が二元である

旅行團
續々來る

ハルビンの國際都市を憧れて視察に來る旅行團のシーズンが近づいた、廿九日には鹿兒島師範生一行百名がこの春のトツプを切つて來哈、四月九日午前には東京高師のラグビー選手一行廿四名が來哈すると、尙其外に
東北帝大生廿五名　四月三日午後四時半着名古屋館
九州帝大生十一名　同上六日午

◇春◇の◇お◇と◇づ◇れ◇
氷が解けたハルビンの春は松花江から
＝（ハルビンスケツチの一）＝

國際商業會議所臨時總會

在哈英、獨、佛、米の各商人をもつて組織された國際商業會議所は廿四日臨時總會を開催し委員四名を推薦した、日本側の國際商議參加問題は理事者で研究中であるため同商議は參加の希望あれば何時でも認める旨の保留を與へたと

行路病者　ハルビンに

職を求めて二ケ月前渡つて來た山梨縣生れの渡邊貞（二三）は遂に定職がなく、其の上病氣に罹り二、三日前プリスタン北安街鮮人洪淳應方に轉げ込み其儘病床についたのであつたが、廿七日居留民會では行路病者として日本病院に入院せしめ加養することになつた

哈爾賓雜信

◇南宗派の大家益田豊年畫伯は卅日公會堂で個人展覽會を開催
◇村澤氏が主となり四月三日の神武天皇祭に有志と共に刀劍會を公會堂で催すと
◇盲腸で入院中であつたハイラル事件で有名な滿鐵高橋氏は快癒し退院

長春

教化聯盟協議

長春教化聯盟は本春から大いに積極的活動に入る意氣込みで種々計畫を立てゝゐるが、之が打合の爲め二十八日午後一時から地事會議室で幹事會を開いた

小學訓導異動

來る四月上旬の新學期開始に際して沿線小學校の訓導に相當廣く異動ある筈で、長春に於ても四、五名の異動あるべしと

本年入學兒童

長春室町、西廣場兩小學校の本年度入學兒童は二百四十名だと

度量衡の檢査

關東廳度量衡所主任高橋氏は二十八日朝來長、同日市中の各商店につき度量衡の檢査を行つた

補習學校々長

長春補習學校は嚮に藤川校長が辭任したので上坂室町小學校長が兼務してゐたが、新年度から專任校長を置くことゝなつた

凌辱説は嘘

長春西公園に於て最近二回に亙り邦人婦人が支那人のため凌辱されたとの噂が流布され、時節柄飛んだセンセーションを捲き起したが警察當局で調査した所全く事實無根であることが判明したので、田畑警務司法主任は二十八日調査の結果を發表し、市民が風說に惑はされざるやう注意する所あつた

屋外掃除嚴行

愈々解氷期に入つたので長春警察署は二十九日各派出所に命じ、受持區内の居住者はこの際屋外掃除を嚴行させることゝなつた

開原

三人組强盜
馬を强奪

二十六日午後十時頃開原城北方約一里（當地を距る約三邦里）黃龍崗農姚金（四〇）方に三名の拳銃を所持せる强盜闖入し、姚金の左頭部に盲貫銃創を負はせたる上馬一頭騾一頭を强奪逃走せりと、被害者は二十七日創傷治療の爲め當開原滿鐵醫院へ入院したりと

徵兵檢査期日

當地に於ける本年度徵兵適齡者は八名なるが、來る五月八日午前七時より奉天春日小學校に於て徵兵檢査を施行の事に決せりと

二學級增加
職員增加せん

開原小學校にては兒童の增加により從來八個學級なりしを十個學級に二個學級增加の事に認可決定せりと、從つて職員の增員乃至異動ある模樣なりと

俳優厭世自殺

昌圖附屬地大同街料理店双合書館陳德純方原籍山東省棗城縣俳優陳双喜（二〇）は二十六日午後十時半頃自分の部屋にて就寢せるが、二十七日午前四時頃苦悶し居るを夜警張國峯が氣付き主人陳德純に告げて彼れの部屋に入りたるに失神狀態に陷り何事も答へず只苦悶せるのみなりしが、指頭に阿片の附着せる處より阿片を嚥下死を計りたるものと判明昌圖公醫の手當を受けたるが、遂に同日午後四時死亡せりと、同人は主人始め同僚とも至極圓滿にて自殺の原因と認むべき事なきも、同人と極めて親き俳優馬寶芬（二〇）が昌圖城東居住馬玉書に落籍され二十六日午後四時頃出發歸鄉せしが、其後戀からず別れを惜み居たる由なれば或は之が爲め自己の境遇を悲觀したる結果厭世自殺を企てたるにあらずやと

昌圖神社祈年祭

昌圖神社にては二十八日午前十時祈年祭執行されたが川崎所長は供進使として參向の爲め同日昌圖往復

撫順

運動會は本年から年二回擧行
五月十一日は家族本位　記錄本位のは六月八日擧行

全撫順春季運動會プログラム等は既報の如くであるが、次の如き聲明書を「撫順市民運動會章程」が發表された

◇聲明書◇

過般來撫順體育協會は撫順市民運動會章程をその起草委員會にて起草中の處同案は漸く成り左記の如くであるが從來は春季運動會として家族本位の一般競技と競技本位の責任競技と同日に行はれて來たが、近年競技界の異常の進境につれ運動會本來の目的たる大家族會的氣分が阻害される傾向になり來たつたので本年よりは兩競技會を分立して一は運動會本來の目的に從ひ大家族會的のものとし、來る五月十一日を期して華々しく開會、一は專ら記錄本位とし嚴正なるルールのもとに來る六月八日撫順陸上競技選手大會の名のもとに開會、今後每年前記の如く擧行するものとす

參加組
＝決定す＝

春季運動會の參加は十四組左の如く決定
△庶務課（學校、病院を含む）△經理課（調査役室、消費組合を含む）△運輸事務所（工務事務所、發電所、研究所を含む）△機械工場△古城子採炭所△大山採炭所△東鄉採炭所（楊柏堡採炭所を含む）△老虎臺採炭所（東崗採炭所を含む）△龍鳳採炭所（煙臺を含む）△鐵道部（製油工場を含む）△官廳（警察、郵便局守備隊、憲兵隊）△市中

極東選手權大會の全滿豫選出場者
六氏決定發表さる

神宮競技場に於て五月二十二日開催される極東選手權大會に出場する全滿豫選大會は五月四日大連運動場にて擧行撫順よりの出場選手は左の如し
△監督　撫順陸上部主將△二百四百米增田斐穢△百、二百米　田中盛一△槍投　岡田勝義△棒高跳淺阪正一△走巾跳　三段跳　柴田義歐
の各氏にて内柴田氏は頗る嘱目されてゐる

庭球部陣容整ふ
スケヂユールも決す

撫順庭球部本シーズンのメンバー及びスケヂユール左の如く決定、前部[illegible]田所、後衞に野口宮、田中、三宅の四選手加へ州外に於ては實力第一位の陣容を整へたが

▲幹事　平石、柳田、監督　西尾　主將　波田
▲選手　波田、梶、赤松、木下、石井、成井、瀬崎、瀧澤、高橋、田中、南、野口宮、浦田、三宅、田所、百武

試合豫定日は左の如くである
▲六月一日　全撫順春季庭球大會
▲同八日　長春征戰
▲二十二日　大連滿鐵對戰
▲七月六日　州外個人選手權大會
▲十三日　大連遠征
▲二十七日　州外團體選手權大會
▲八月十日　州內對抗大會（奉天）
▲十五日　內地チーム來征
▲九月七日　全滿個人選手權大會
▲廿一日　全滿大會（奉天）

教育界異動は
四月一日から中旬迄に發表
後藤氏は中學校長に

撫順教育界の大地震は既報の如く後藤中學校長は教專教授として榮轉、寺田教專教授は撫中校長に、富田補習學校長は鳳凰城煙草組合理事に、その後任として別報の如く千金首席鈴木直江氏等は既定の如く、某校長の奉天邊の某校へ榮轉も亦動きのない處で小學校のみの異動十數名、中等學校を合すと二十餘名の大異動で何れも四月一日から中旬迄に正式發表の筈

電燈瓦斯の値下
五月から實施に延期の模樣

この四月からとの電燈料値下も既報の如く一向發表がないが探聞するに警察の孫暫不備あり五月に延びる事となつた、赤ガス値下案は目下炭礦最高幹部で審議中、何れも一ケ月遲れ五月分計算から實施されるらしい

總てが詩だ！
遠望した夜景の壯觀と露天掘のショベル
を禮讃して碎花氏北行

文壇一方の雄富田碎花氏は夫人同伴二十七日來撫、各方面を視察翌日北行したが語る
白秋氏と奉天で別れて北滿を一巡、濱海線で奉天へ逆戻りした同線の驛站附近から撫順の夜景を觀たが聞きしに優る壯觀で一大イルミネーションの炭都を見て滿洲の奧に斯くも偉大な日本經營の炭礦のある事を力强く想つた、古城子露天掘の壯大なる光景、電氣ショベルの活々として働く光景、總てが詩である、妻が突然來たので今一度哈爾賓を觀て來る考です

撫炭の新販路
成績頗る良好

撫炭界の一般的不振に因る撫炭の打開策として、近年南支、南洋、フキリツピン等に仕向け、印度炭支那炭と競爭を試みつゝあるが最近頗る好成績でフキリツピンのみで本年に入りて約二十萬噸の撫炭が消化され近年にない好成績を納めてゐる

徵兵檢査
五月六日奉天で

五年度在撫徵兵適齡者在留地身體檢査は五月六日、場所は奉天春日小學校と決定した

有賀憲兵隊長轉任

有賀憲兵隊長は東京府下澁谷憲兵隊附となり四月一日離撫後任の澁谷憲兵隊附の田村分遣隊長は三十一日赴任の筈

人事

▲中野忠夫氏（庶務課長）社務の爲二十七日夜急行にて赴連▲山西恒郎氏（炭礦長）出連中の處二十七日朝歸連▲後藤基次氏（撫中校長）廿六日夜行にて關東廳へ▲城島德壽氏（月刊撫順社長）廿七日夜行にて大連へ▲芦田均氏（白耳義大使館附參事官）二十七日視察の爲來去▲杉町警部　安東縣出張中の處廿七日朝歸撫

鐵嶺

居留民會の規則を改正
臨時議員會で協議

激烈な戰ひを交へて當選した今期の民會議員は、多年の懸案たりし民會規則の改正財政善後策選擧規則改正等々多事多端責任を果すべく重大な任務を負ふてゐるが、愈々として其實績を擧ぐべく先づ民會規則及選擧規則其他を附議する爲め二十七日午後六時民會事務所に於て臨時議員會を開催、旅行不在中の松岡議員を除き他は全部出席領事館からは特に木村書記生臨席して頗る緊張して檢討の結果左の如く決定した

普選實施　從來二十五歲以上賦課金五十錢以上を有權者としてゐたが改正案は二十歲以上賦課金の階級全般男女共に選擧權を與へられる事となつた但し婦女は被選擧權なし

議員定員　現在の十名を七名乃至八名とすること提案ありしも、民意を多數より徵するといふ理想から依然十名を定員とする事になつた

議員任期　今回の改正案中普選と共に注目されるのは從來議員の任期一ケ年とありしを地方委員工商議員同樣二ケ年とした

常任委員制　會計監査委員選任の件が出たがそれより嚴し會計監査或は會長諮問機關とするを適當とし常任委員制復活を決定

右の外[illegible]兩氏より辭任の申出であり後任は近く議員の互選で決定する筈、以下鐵嶺吉林の慘禍に鑑み公會堂の非常口に階段をつけ活動映寫室周圍を鐵板張りとする事、神社維持費居留地負擔は從來年額四百圓を支出してゐたが人口の激減を參酌して五十圓を減じ三百五十圓支出のこと、其他會計期を一年一期とする事等を決議したが改正事項は

全部纏めて　領事館に申請審査の上更に外務省の認可を得て館令發布となり、始めて實施されるものであるから愈々實施となるまでには幾分の曲折があらう

商議定時總會

鐵嶺商工會議所第十三回定時總會は二十七日午後三時より同所樓上に開催せられ、會員百八名中出席者十二名委任狀三十一名、提出議案は昭和五年度上半期の收支豫算で何れも異議なくスラ〳〵と原案承認閉會した

修養團の活動

鐵嶺修養團支部は來る三日の創立記念日を好機とし頹廢に傾きつゝある現狀を打破し團員總動員の下に昔の意氣を挽回せんと、廿七日夜幹部會を開催し記念日當日午後一時より神社境内に勢揃ひ祈念祭を擧げ、同二時から滿鐵クラブに大講演會引續いて活動寫眞を公開すべく決議し、それ〴〵準備に着手した

戰病歿者の遺骨供養
盛大に行ふ

當地西本願寺に保管中の日露戰役當時戰歿者の遺骨供養は今年二十五周年に相當する事とて盛大に執行する事とし、在鄉軍人分會青年團本願寺が協議し來る四月三十日招魂祭當日本願寺に於て大供養を行ふに決定詳細は追つて協議す

神職會の表彰者

滿洲神職會では創立十周年記念に方り、全滿各地神社氏子總代中十年以上の勤續者を表彰する由で、鐵嶺からは權太親吉氏が推薦される筈と

鞍山

陸上競技大會
四月十七日に擧行
今年度の諸計畫決定

既報滿鐵運動會鞍山支部陸上競技部では二十七日午後零時三十分より製鐵所應接室に於て委員會を開催、左記役員を決定、四月二十七日鞍山陸上競技大會に關し左の如く決定した
四月二十七日午前八時三十分より陸上競技場に於て事務課、製造課、工務課、地方聯合、町側等參加し、競技種目は百米、四百米、千五百米、百米障碍、圓盤投、砲丸投、槍投、走巾跳、走高跳、棒高跳、千六百米リレーの十一種目、選手は各種二名出場、一名三種以内に制限した（但しリレーを除く）
▲選手監督係　石堀毅▲選手世話係　士倉增平、竹内喜助、前山米吉▲設備係　松尾俊次、田中禾▲應援係　三宮野勝、阿比留乾三、高橋勳一、黑川秀幸、長谷川健二、古田傳一、山拔正雄、植田繁造、藤沼植一郎、壽部太郎

鞍山競技場之部

▲四月廿七日　鞍山陸上競技大會
▲六月十五日　對若葉競技會
▲七月上旬　鐵、開、四、公優勝チーム招待對抗競技會
▲九月下旬　滿鐵鞍山支部運動會
▲十月十七日　クロスカントリーレース

外部遠征之部

▲五月四日　極東大會豫選（大連）
▲五月二十五日　全滿洲陸上ハンデキヤツプレース（大連）
▲八月上旬　外來チーム對抗競技會（大連）
▲九月上旬　州外都市對抗陸上競技大會（奉天）
▲十月五日　全滿洲選手權大會

春季祈年大祭
＝と遙拜式

鞍山神社では四月一日午前十一時より春季祈年大祭を、三日は午前十時より神武天皇祭遙拜式を執行一般多數參詣されたしと

公學堂卒業式

鞍山私立公學堂では二十九日午前九時三十分より第七回卒業證書授與式を擧行したが來賓父兄多數參列した

大石橋

藤村驛長招宴

藤村驛長は大石橋管内の荷主及守備隊將校其他新聞通信員等二十餘名を二十七日午後五時より湯崗子に招待し午後九時一同歸橋した

兩訓導榮轉

大石橋小學校訓導水尾正二氏は營口小學校に同訓導倉澤千代子女史は開原に榮轉する旨二十六日發表された

高潔な　今村蟠龍師

昭和三年六月大石橋蟠龍寺住職として奉天より赴任した今村善隆師三十五氏は鋭意教化に努め常に粗衣粗食に甘んじ乏しき財布の中より日曜學校を開いてゐるが太子講の人々が過日來勸行托鉢で得た金品を送つたが固辭して受けぬ高潔なる師の人格に信徒は悅服し信徒總代小林才治、石川憲二、伊藤讓次郞の諸氏は同寺維持方法に就き寄々協議中である

安東

金融組合は新設される模樣
井上地方事務所長談

安東地方事務所長井上信翁氏は滿鐵消費組合理事會議列席の爲め去る二十一日赴連二十六日夜歸安したが、安東の問題とする安東都市金融組合、昭和製鋼所敷地等に關し大要左の如く語つた
金融組合問題は關東廳當局に於て啻に安東既設金融會社を脅かすといふ心配の外に色々神經質的な考慮を拂はれてゐた樣であるが、結局社會事業として本質に基き近々中に之れを實施の手續に出る模樣が仄見えた之れに對しては實は自分が關東廳に出頭して文書課長其他と大いに論爭したものである、それから昭和製鋼所問題であるが此度の仙石總裁が敷地及び多獅島築地の築港狀況を視察せられると言ふが、恰も新義州に決定するが如き判斷を下すものがありとすればそれは妄斷であつて、未だ鞍山になるか新義州となるかそれとも中止のやむなきを得ざるに至るか全く五里霧中である

南支天津方面に新販路を開拓
木商組合の理事會

既報安東木商組合の根本的振興に關する協議をなすべき理事會は廿六日午後二時より商議に於て開催、武藤常務理事より廿四日新義州公會堂に於て開催された諸富關參事と當業者懇談經過を報告し、新貨物主任の歡送迎に關する打合せを爲したる後根本的振興策につき意見の交換を行つた結果、既報の通り南支、天津方面に新販路を開拓するを急務とするに意見の一致を見、原木並に輸送關係について採木公司及滿鐵方面に折衝交渉を開始する前提として南支、天津方面の實際市況を視察する事とし組合員中の數名を同地方に派遣する事を申合せ、旅程其他に就ては商議をして其計畫を立てしむる事となつた

行金拐帶の共犯者を逮捕

忠南天安湖西銀行の行金拐帶犯人逮捕の爲め天安署より警部補來新の事は、既報の如く其の後安義兩署の應援を求めて搜査中の處、廿五日鴨綠江下流三道浪頭に於て一味五名の内共犯者二名を安東署員と共に逮捕し目下安東署に於て取調べを受けてゐるが、主犯者である宋錫榮は窃取せし行金六萬圓を拐帶して京元線により清津に出て更に吉林より南下して北平に一味と落合ひ拐帶金を分配せんとせし模樣であるので、目下各所に手配嚴重搜査中である

無燈火にて自轉車稽古

安東署保安係は交通事故防止のため左側通行の標識を裝置する一方步道、車道の區劃を整理し萬全を期してゐるが、近來氣候の暖かくなつた爲め附添ひ人なき幼兒が道路上に遊び危險甚だしく亦夜間無燈火のまゝ市場通、四番通等の大通りにて自轉車の稽古をなす店員等あり、通行者の迷惑甚大なるに鑑み安東署では發見次第嚴罰に處する事となつた

奉天

池田中佐奇禍

朝鮮軍高級副官池田中佐は上流巡視中の所二十五日中江鎭附近に於て落馬負傷したので、目下中江鎭に滯留療養中であると

最後の遺書

去る廿四日世を呪ふ遺書に艶々しい頭髮まで添へ家出先から送つて來た市内千代田通精養軒コツク和田木幸次（三〇）は、廿七日精養軒にあて最後の手紙を送つて來たそれには
態數日の間にあの世に旅立ちます、これが最後です、あの世へ旅立つ前只思ひ殘すことは病める妹と文ちやんに一度逢つて置きたかつた事です
との意味が認めてあり差出局の消印が不明なるため判明しないが、廿五日差出日附となつて居り或は朝鮮方面に入りこんだのではないかと云はれてゐる

香典返し寄附

市内宮島町九番地鴨綠江製材無限公司奉天支店秋永彌助氏は故惣太郎氏の香典返しとして金五十圓、又葵町廿一番地古閑癸巳生氏は次女きみ子の香典返しをして金五十圓を何れも廿八日奉天署に貧困者救濟資金として屆け出た

町の便り

◇奉天商店協會では廿八日午後三時から役員會を開き卅一日開催の全滿大會出席可否につき協議をなす處あつた
◇廿七日來奉せる東京文理科大學ラグビーチーム對滿洲醫大チームの試合は來る四月一日午後三時から醫大グラウンドに於て擧行されることになり、廿八日は降雪を見た寒さにもめげず兩チームとも必勝を期して猛練習を續けてゐた
◇總領事館、滿鐵、奉天署その他各官衙では四月一日から午前八時始め午後四時終了に勤務時間が變更される
◇四月一日は滿鐵施政記念日に相當するので滿鐵關係は一日を休業し祝意を表すと
◇廿七日の公園委員會に於て春日公園內賣店地希望者十八軒につき協議を行つたが希望者の內設備不可能と思はれるもの公費滯納者無經驗者、奉天以外のもの等を除き飲食店四軒、遊戲場四件に貸下げることになり場所は二十九日の抽籤によつて決定する筈
◇市內宇治町三ツ和自動車運轉手安相裕（二七）が二十七日午後七時頃赤十字病院からの歸途小西門小路に差掛つた際前方より支那側自動車が進行して來たので自分の車を留めて危險をさけてゐた處、該自動車も停車しどうして通行の妨害をなすかと却つて安に喰つて掛つたので口論となり果ては附近の巡警が驅けつけ支那側運轉手と共に安を毆打した屆出により領事館警察から第一公安分局に嚴重抗議をなす處あつた

人事

▲平田國際事務　二十七日安東より過奉赴連▲横田滿電專務　同上▲藤井滿鐵秘書　二十八日大連より過奉安東へ▲多田十六師團參謀長　廿七日鐵嶺より來奉▲立川奉天署警視　二十七日文官屯往復▲仲村奉天署警部　二十七日安東へ三十日歸奉の筈▲東北帝國大學々生二十五名　卅一日夜安奉線にて來奉一日撫順往復二日長春へ▲日露協會學校新入生廿九名　四月八日大連より過奉哈爾賓へ

國民經濟の爲に個人を制肘する
故首相ス博士が發布した獨カルテル取締法

【下】

眼目は第四條

カルテル取締令の眼目は恐らく第四條であらう、國民經濟上の理由なくしてカルテルが濫りに生産制限を行ひ或は價格の吊上げをはかり、公益を害し、業界全體に不利益を齎すが如き決議をした場合には經濟大臣の請求に依りカルテル裁判所はその決議の實行を禁じ或はカルテル自體を解散せしめる事が出來る、これが第四條の規定である、

今一つ第十條にも前記の第四條と同じ樣なことが規定してある、第四條はカルテルを取締るものであるが、この第十條はカルテル以外の獨占的企業をも拘束せんとするもので、トラスト、利益協同契約、其の他單一の會社でもそれが獨占的地位を占めてゐるものだとカルテル同樣の制裁を受ける、即ち第十條は總ての「強大な經濟的勢力」が其の產業全體の利益又は社會公共の利益に反するが如き協定を爲した場合には、經濟大臣の請求に依りカルテル裁判所は其の協定の無效を宣言する事が出來ると規定してある、從つてそういふ場合に其の協定に調印した者はそれに服從する義務を免れる譯である

適用の實例

ところで、實際に、ドイツのカルテルやトラストは屢々そういふ取締りを受けたかといふに、カルテル裁判所に提出された數千の事件の內、そういふ例は極めて少い模樣らしい、大部分は第八條に規定してある加盟者のカルテル脫退に關する事件である、

右の如く第八條では加盟者がカルテルから脫退して差支へない場合をきめてある、そして第九條は寧ろカルテルを保護擁護してゐるものと見られる、即ちカルテルのメンバー、未加入者、其他の第三者にカルテルの力——經濟的壓力——を加へることを公認してゐるのである、勿論それはカルテル裁判所の許可を得た上でなければ實行してならない、例へばカルテルに加入しない會社を加入させるために、カルテルがその未加入者に對して「經濟的壓力」を加へるといふやうな場合に、先づ以て其の方法をカルテル裁判所に示し、その許可を受けるのである、その方法の如きも、未加入者を一帶に叩きつぶしてしまふやうな亂暴なものでない限り、裁判所はこれを合法的と認めて居るらしい、これは我が國の政府當局者や、工業家や法律家が大に研究すべき大切なポイントであらう、國民經濟全體の利益のために或産業の統制を行はんとする場合、その統制に從はない者は之れを抑へつけてもよいものか?

個人の自由や權利は飽くまで尊重すべきだが、國民經濟の利益のためには或程度まで犧牲にしてもよい——これが第九條の精神である。

カルテル裁判所

ところで「カルテル裁判所」といふのは何か。ドイツ語でカルテルゲリヒトといふ、カルテル取締令の第十一條以下に其の構成並に訴訟手續が規定してある、カルテル裁判所は一名の裁判長と四名の陪審員とを以て構成され、二名の陪席判事がついてゐる、これ等は大統領の任命するもので、普通裁判所の判事の資格を必要とする、四名の陪審員の內、一名は「產業裁判所」の判事、二名は相反する經濟的利益を代表する者、他一名は社會の公益を代表する第三者といふ組合せである、

カルテル裁判所の構成はざつとこれの如くであるが、カルテルに關する訴訟は何人が提起するかといふに、恰も刑事訴訟法の如く國家のみ公訴權を有つ、カルテル裁判所の場合に國家を代表するものは經濟大臣である、尤もこれには例外がある、即ち、加盟者がカルテルから脫退しようといふ場合に、其の脫退權をカルテル裁判所に認めて貰ふときには、自らカルテル裁判所に訴へ出る事が出來るのである、

要するに國家がカルテルの取締を爲すには大體カルテル裁判所を通じて行ふのである、經濟大臣が直接自らカルテルに對し干涉する場合は少い。

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 寄稿行數五十行以內のこと

興行場の改築と欺瞞的興行

活動狂

不完全な大連市內各劇場及び活動常設館に對し、關東廳より改築命令を近日中に發せられんと云ふことを紙上で見たが、聊かくすぐつたい感じがした、鐵路事件や吉林の大慘事で狼狽てふためいて居る態度が見えすいて居る、あゝした多數の觀衆を集める場所は、こゝ二三年前に既に萬般の設備が完成されてゐて然るべきものぢやなかつたか、通風採光の不完全はいふまでもなく、某館の如きは便所の臭氣が觀客席に漏れて不快この上もなき始末、折角スクリーン上の至藝妙趣もあたら感興を殺がれる事實に夥しい、一日も早く斷乎たる處置を望む、同時に、近來いかさま的な名前で見物人を釣らうとする興行物のあるのを往々見受ける、某興行の如きはビラ中に誰でも知りつくした一流の映畫俳優の罪首を麗々しく並べ、實物はと見ると似ても似つかぬデモのワンサ連を陳列して觀客を馬鹿扱にして居るものを見受けるが、一體當局は之を何と見て居るのか、商人が見本と違ふ品物を賣れば詐欺になる、改築命令と同時に此種欺瞞的興行物の嚴重取締を講ぜられては如何

自動車組合問題

榮町 十里生

關東廳は自動車組合設立を認可の肚らしく新聞紙は報じてゐるが、自分は大タクの葛和氏談に贊成する者である、營業の存立は需要者を第一條件とする以上、需要者の意に順應すべきは當然である、當業者は競爭の激甚を訴へるが天下無競爭の何者があらうか?運轉手の勤務時間、車輛低下問題の如きは監督官廳の徹底的取締に俟つべきであり、事故に對しては技術の向上、一般通行者の注意等、必ずしも防遏は難事でないと思ふ、所謂自動車事故が如何に無免許運轉手に多いかに留意されたい、組合認可の可否決裁に際し、一般の市民の幸福の爲めに特に深甚の考慮を煩したい

滿洲開發の鍵鑰
昭和製鋼所に關する私見

（七） 難波生

日露戰役後の滿洲開發史を回顧しますと、數字的には非常な進步を示して居ますが、その進步の核子たる日本人側の諸事業は、輪奐たるに反して何となく底力がないやうに思はれます、一人一人に就いて稽査すれば、成功と見るべき者決して少なくない、大小還濟に拘らず、內地に籠居して居ては、果して之だけの結果を得たかどうか疑はれる位ですが、斯うした分子は年々其數を增して居ります、併し全般から觀察しますと必ずしも樂觀すべきでない、貨物の集散高や、貿易金融各界の數量や金額に反比例して

商民 の根柢は猶甚だ薄弱なやうに感ぜられます、勿論何れの土地に於ても、其處に居住する民衆の總てを、悉く成功者たらしめやうとするのは間違つて居ます、綿花的保護政策の餘弊は、寧ろそうした政治意識の下に、個人の習慣と組織を論ぜずして廣施された、所謂仁政の結果だつたと言へぬ事もありません、殊に官憲や滿鐵が誇りとする文化設備のごとき、土地傳來の風俗習慣を深く研究せずし、帶のやうに細長い區域に、資力に任せて積み重ねたバベルの塔に似たのが多くあります、戰時中驕りに驕られた優越民族感と、外國人旅行者に見せる爲の

街耀 と、建築業者喜ばせの浪費とか、到る處に而も保護指導てふ處者に依つて濫行されて居ります、勿論このアブノーマルな狀態は、歐洲戰爭てふ偶發的大動亂に激成されたので、この時代までの數箇年間に醞出した商民中には眞に粉々辛苦の基礎を築いた者が多かつたが、それが大戰時の人氣に煽揺されて、アブノーマルな世相をノーマルな標準に引直し、外觀や結構だけを組立てさせたのでありますが、斯うした方針が大勢の落着くにつれて迎歸を來すのは

當然 でありますが、其餘波を最も早く感受したのは、沿線の一般商民でありました、何とかしてそれを盛返さうとする遲擂きが却つて益々彼等の境遇を沈淪させました、處が其頃の滿鐵の社運は未だ上向き一方であつて、銀行や一般事業が落潮又落潮を續ける間に、卓然不可侵的勢力を振ひ得たのであります、隨つて歷代の當事者はこの新興勢力をノーマルの者と信じ、內容のない事業計畫や、不必要な設備に惜氣もなく資力を投じ、社員の待遇や、裝飾的機關にも、外間から見て贅を盡した

方針 を取るやうになつたのであります、久しく問題となつて居る消費組合の如き、當初の趣旨は社員の利益擁護にあつたが、今では却つて節儉努力の精神を鈍らせて居るといへぬ事もない、それは恰度衞生設備が完成すればするほど、病人の數が激增したのと其揆を一にして居ります、之は世界を通じて物質文明の必至的大勢ではありますが、滿鐵沿線に於て殊に加速度に昂進したやうに思はれます、

△マー新刊批評—△

「現代憲政評論」
美濃部達吉著

（上）

憲法學の最高權威たる美濃部達吉博士の近著「現代憲政評論」は最近諸雜誌に寄せた憲政時事論評の集成であつて、收載三十篇、說くところ盡く博士一流の明徹な檢討を加へて極めて理路整然、進取的結論を與へてゐるその一斑を紹介するため三、四主要論文の結論のみを簡單に誌してみやう

▲選擧革正論… 現行選擧制度の根本的缺陷は大選擧區、單記投票法なるため選擧競爭主體が個人にあるので巨額の費用を要するのみか、投票は或は死票となり或は買收されて政黨に對する國民の意向が正確に反映せず、國民の政黨對監督もまた殆ど不可能な點にある、かくの如き缺陷を匡正するには所謂名簿式比例代表法を採用する外ない、即ち政黨を法律上公認して選擧は名實共に政黨の爭とし、豫め政黨をして順位を定め候補者名簿を提出しめ、選擧區を全廢して政黨に投票し每年改選する、かくすれば輕少の經費にて國民の總意が反映され、而も監督が迅速有効に行はるゝのみか、違法行爲を行ふ餘地が少いので罰則や警察取締は可及的に廢止し得るに至るであらう、次に選擧公營の可否に論及すれば、知名の士でない新閱候補者の中には不正行爲を爲すものが現はれ結局相率ゐて違反を爲すのみならず、種々の合法的間接運動が起る、候補者の濫立を防ぐ方法 [illegible] 困難で、而も私人や政黨の選擧に多額の國費を費すのは純理上からいつても不合理である

▲樞密院論… 我國の樞密院制度は世界の立憲國に類例のない特有のものにして全然無責任の地位にありながら內閣の意見に反對することが出來るので、內閣の方針を變更させ或は瓦解させることさへあり得る、かくの如きは立憲政治の本義にもとり、存在理由がないのであるから早晩廢止さるべきである、廢止した場合從來の樞密院重要任務中皇室と國家の大事を審議する權は內閣所管とし、憲法擁護の任務は拘束力のある新組織の公開的違法裁判所をして行はしめ、その他の諮問事項は議會又は委員會に於て決定することに [illegible]

體驗から輝く言葉
——キング四月號——
特輯欄を讀む——

希望社々長、後藤靜香 [illegible] 月並のものと異ひの他、實に金玉の光を放つ生きた言葉の多いのに驚いた。それは一仕事やつた人々の體驗から出る言葉のせいであらう。

朝倉文夫氏が、從順な心、禮をつくせ、努力せよの三點を擧げてゐるのは、そぞろ教へられたのに感心。この人の此言なるが故に特に感心。富士製紙の大川社長が、月給五圓時代の生活振り——あれを就職難に苦しむ凡ての青年諸君へ知らせたかつた。あれだけのことを納得すれば必らず成功する。淺野總一郞氏が棄てられてゐる竹の皮に着眼し、次に共同便所に着眼した點、棄てられたもの忘れられたものを拾つたところにあの人の土臺が築かれたといふこと。活教訓なるかなと思つた。——まだ幾らでもある、寶玉を賴のある人に拾つて貰ひたいと思つた。

家庭とコドモ

優生運動による 人類生活の理想的改善

池田林儀氏談

優生運動は 人間をありのまゝに見て過去の經驗或は現在の理論が社會に最も價値ありと認めたるすべての典型的人物を増加せしめやうとするものである、單に數に於てのみならずその能率に於て人類に貢献する努力を増加せしめんとするものである、であるから優生運動は社會の目的が最大多數の最大幸福或は更に決定的に人類幸福の總和の増加を期するものであるといふ事が出來る、優生運動はつまる處、身的及び

心的缺陷者 の生産率を減少して心的乃至身的優生者の生産率を増加する事によつて人類の水平線を高めようとする不斷の努力に外ならない、かゝる理想と原則に從ふ種族は永續し、且つ自然を征服し、環境を改善する事が出來、その成員は幸福にして生産力に富むであらう、そしてかやうな目標の設定は決して單なる空想ではなくして今日の進化論や他の科學の肯定し得るところであり、またこれに向つて實際運動として進む事が可能なのである、優生學が期待するところは

（一）人口中の不良分子の種族的貢獻を減ずる事
（二）人口中の優良分子の種族的貢獻を増加する事

であるが既に擧げた優生運動の積極的二方面の實際運動となつて現はれて來たのであるが、今日特にこの優生運動がいはゆる文明國に於て盛んになつて來たのはどういふ譯であらう

一體人類世界なるものはこんな優生運動といつた樣なものがなくても幾百萬年來人類を保持して來たものであつて何等優生學的の保護、改良がなくても今日の状態にまで進歩して來たのではないか、それを今になつて優生運動などとは笑止の至りであるといふ人もある、けれどもかういふ考へ方をするのは人間をして今日の状態に迄引っ張つて來た事に對して最も力のあつたのは自然淘汰であつてその自然淘汰が死亡率の相異に依つて作用した事を注意しない人である、即ち不適者は死亡し、適者は生存したのである、そして社會のまだ

幼稚な時代 にあつては人間は自然淘汰の作用に殆ど何等の妨害も抵抗も試みる事が出來ず自然のまゝに推移して自然のまゝなる自然淘汰を實現せしめて來たのである、所が今日は淘汰作用は殆んど停止した形にあるので此處に於いて優生運動が叫ばれるに至つたのである。

童話 雷のお家（六）

柄木田照茂

雲は、だんだん街の上の方に來ました。その時雷さんは大聲で

「太鼓を叩け！」

三郎は力一杯太鼓を叩きました

「どどどーん」

「もつと、たたけ！」

「どどどーん」

それが雲と雲とに響いて「ごろごろごろ」と鳴りわたります。

「鏡をふれ！」

「ピカピカピカッ」

「如雨露をまけ」

「ざあざあざあ」

下を見ると、それは、それは、大變な騷ぎです「それ夕立だ。電光だ。雷だ」と云つてかけまはります。馬車屋の「にいや」は幌をかけるし車の「にいや」は合羽をとり出すし「ぼろにいや」や靴なをしの「にいや」は忙しさうに道具をかたがた云はせて軒下に走り込みます。そのうちに街の中には「きのこ」の行列が出ました。之は道を歩く人がみんな傘をさしてゐるのだとわかりました。自轉車はとぶ、ろばは走る。それはそれは大騷動です。雷さんも僕もまるで有頂天になつて鏡と太鼓と如雨露を夢中に、ふりましはしました（つゞく）

滿日漫畫

免狀とお菓子

母「坊は幼稚園を卒業して免狀を貰つたでせう、だからそんなにお菓子をねだつてはいけませんよ」

坊「僕、この免狀を先生に返して來るからお菓子頂戴ね」

巖島よさらば 汽車は大阪へ 人……人……人……人の波

◇彌生高女母國見學團通信……（四）

渡邊ヨシエ

純日本式設備の完全な岩惣旅館を出る事は名殘惜かつた。

靜かな庭、天然の美を利用して作つた庭、そこには白鳥も居た、噴水もあつた、靜かな澄んだ清水の流水もあつた、後には立木深い紅葉谷を控へてゐる何千年かたつた木が鬱蒼と茂つてゐる。

靜かだ、總てのものが死んでしまつた樣に靜寂だ。

女中さんだつて隨分丁寧にしてくれた。

「まだ居たい」誰もが口にする言葉だつた。

巖島……とそう云つただけで、青々とした水の中にそびえ立つ大鳥居、珠の廻廊が水に浮ぶ姿を想像するだらう。

私達はそれを見たかつたのだ。水に浮ぶ世の龍宮の稱ある廻廊を見る事を、きたいしてゐた。けれど潮の顚が惡くて見る事は出來なかつた。

十一時五分私達は巖島を出發しなければならなかつた。

人なつかしげに、近よつて來る小鹿に、私達は、さよならをしました。

さらば……さらば……なつかしい神鹿よ！木深き紅葉谷よ！

私達は連絡船の人となつた。

宮島を出發した、汽車は東へ東へとひたはしり續けてゐる。

汽車は、ゆつくり座を取る事が出來た。

「何處からおいでやすか？」

「大連」

「ほう大連」いかにも感心してゐるやうだ、その人達は私達の足をしげしげとながめてゐる、足が大きいから不思議だと、彼等は私達を支那人と違へてゐるらしい。

それればかりではない、耳に穴があいてゐないつて……それで私達は、すつかり參つてしまつた。

大連——あんなに開けてゐるグレート大連を田舍の爺さん達は、まるで知らないんだ。

彼等は馬賊の住んで居る所くらゐに考へてゐるらしい。

大連を出發する時に滿洲といつたら「日本語がわかりますか？」つて内地の人からいはれたわ。といつたお友達の言葉が思ひ出された。

汽車の窓は春だ！緑の春だ！緑の國だ！

殺風景極まる滿洲から來た私達にはすべてが驚異である。

緑は希望を現はすと何日英語の時間に聞いた。

希望に輝いた私達の胸は鳴る、岡山の邊りから少しく都會と云ふ樣な感じがして來た。

驛が大きい事、乘客の様子にどことなく品のある事。

瀬戸——萬富——和氣と過ぎたやがて日がくれる。

夜の旅だ！

明石——舞子——須磨

氣候のいゝ別莊地、保養地のあたりをすぎた。

あかるかつたら……晝だつたら……景色のいゝ明石、舞子の海邊を見る事が出來なかつたことは遺憾だ、でも歸りに汽船で瀬戸内海を通る時に見る事が出來るかもしれない。

神戸も過ぎた。

次は大阪だ——大都會だ。

灯が阪神道路に點々とついてゐる。

下淀川を渡つた。

青い火が見える、赤い火が！あのあたりが道頓堀だ。

上淀川を渡つた。

大阪驛についた、人！人！人！人！

人の波だ、人の群だ。

私達はそのラアシュアワに重田先生にあふ事が出來た。

私達が目的地の京都についたのは九時二十四分だつた。

大チャンノ モウジウガリ（66）

ハルミチ作　ジラウ畫

チノ ヤウニ モエタ マツカナ ユウヒ ハ チムル ハ ジツト メヲ ツブツテ クビヲ ハテシモナイ ノハラ ノ ムカフ ニ ダンダ サシノベテ キマス、オヒサマ ハ ハンブンバン シヅミハジメマシタ、カタナ ヲ モツテ カリ ニシ ノ ハテニ カクレマシタ、ケラ マツテキタ ケライ ハ シヅカニ タチアガリ イハ チムル ノ ソバニヨツテ カタナヲ タカク フリアゲマシタ、

赤ん坊の保溫には このやうな注意を

赤ん坊 の發育上最もよくないのは身體を冷すことです、それで寢かせる場合には寢床の中の溫度を常に三十七度位に保つやう注意しなければなりません、溫度を一定に保つ上に必要なことは布團の厚さに注意することで、布團はむやみに厚くてもいけないし、薄くても又よくない、大體大人用の布團を二つ折りにし、その中に湯タンポを入れ、更に其上に赤ん坊のふとんを敷、その上に赤ん坊をねかして輕い

麻蒲團 をかけてやります蒲團はいくら澤山かけてやつても敷蒲團が薄ければ決して溫まりませんから上に多くかけるよりも下を多くした方が保溫上遙かに有効です、確實なことを言へば體溫器を布團の中に入れて溫度を調節するのが最もよいのですが、それも中々面倒ですから時々手を入れて溫度を見るやうにしたいものです湯タンポの湯は冷めかけた時を見計らつて時々取りかへなければならぬことは勿論ですが、湯タンポを赤ん坊に餘り近づけることは禁物です。

テレビジヨン

▽二十四日に歐米留學から歸朝した日本齒科大學教授國分史郎氏の研究によると動脈硬化症は齒の病から誘發されるさうだ

▽岡山市の菓飲食店で澤を餌識し檢束された香川縣生れの谷口菜（四七）は今日まで留置場に放り込まれること二百餘回、留置場入りのレコードホルダーとある

探偵小說 女妖（50）

江戶川亂步作 横溝正史 伊藤幾久造畫

富豪の秘密（九）

暫く經つてから、それでも春日龍三氏はやつと氣持ちを取直した。然し、たつた一瞬間の出來事のために、彼は十も年を餘計にとつたやうに見える。溫厚そのものゝやうに見えてゐた面には、深い皺が刻み込まれ居ても立つてもゐたたまらないやうな焦燥が、後から後からと彼を追ひ立てゝゐるやうに見える。

「それで、彼女はいつ亡くなつたのだね？」

暫くしてから龍三氏は重々しく口を開いた。彼はその女の名を口に出す事を好まないらしく、唯彼女といふだけである。

「さうです。極最近まで生きてゐました」

白根辨造はその言葉にある特別の意味を罩めて言つた。

「何處で亡くなつたのだね、矢張り滿洲かね」

「いいえ、滿洲ではありません。パリーです。このパリーに於て亡くなつたのです」

「何？パリーで？、ぢやあれはパリーへ歸つてゐたのか」

「さうです。滿洲では食つてゆけなくなつたので、到頭パリーへ歸つて來たのです。多分、貴方にお縋りすれば、どうにかなるだらうと思つてゐたのでせう」

「さうか、一寸も知らなかつた」

龍三氏は深い溜息と共に、頭を抱へて床の上に眼を落した。種々な不安や、悔恨や、碎け散つた希望やらが、映畫のフラッシュバックのやうに彼の眼の前を通り過ぎた。次から次へと、自分の一家に降りかゝつて來る不幸を、彼は今やはつきりと意識した。

成瀨子爵の身の上に落ちてゐるあの忌まはしい嫌疑——、そして今又、この男のもたらした致命的な不幸——あゝ、その中にあつてあの纎弱い花子はどうして生きて行く事が出來るだらう。

龍三氏はふと頭を擡げると、花子の姿を廣間の中に探さうと思つて目を遣つてみた。然し、着飾つた紳士淑女たちの間には、何處にも花子の姿は見えない。總ての人々は、今この廣間の一劃に起りつゝある悲劇も知らぬげに、樂しげに呑み、樂しげに踊つてゐる。花子も多分その中に混ぢつてゐるのだらう。

然し——あゝ、然し、今この男の握つてゐる秘密が一度で暴露したら、最早何人も花子を相手にしてはくれないだらう。彼女は今の幸福な境遇から、突如忌まはしい汚辱の中に投込まれるのだ。

成瀨子爵との婚約——それも纏まらう。子爵はおろか、どんな豚殺しだつて、最早彼女と結婚する事を恥とするだらう。

龍三氏はふと頭をあげた。

「そして、彼女はどんな病氣で死んだのだね、さぞ、惡い病氣か何かで亡くなつたのだらうね」

「いゝえ、病氣で亡くなつたのではありませんでした。成程、死ぬ前にはかなり重い病氣のやうでしたが、死んだのはその病氣のためではありません」

「え？病氣で死んだのぢやない？ぢや、何か災難でゞも……？」

「ええ、まあ災難といへば災難でせう——何しろ人手にかゝつて殺されたのですから」

「何、殺された——？」

龍三氏はあまり以外な相手の言葉に、寧ろ驚く暇もなくさう訊ね返した。

「さうです。殺されたのです」

白根辨造はゆつくりした口調でいつた。

「そして警察ではその女を殺した嫌疑者として、目下成瀨子爵を嚴探中なのです。御存知ではありませんか。春巢街で殺されたあの女今、パリー中で大騷ぎをしてゐるあの大事件の被害者こそ、貴方の昔の奥さまなのですよ！」

「え！」

龍三氏は思はず椅子から跳び上つた。

意外！ あの疑問の死美人が、このパリー一の大金持ち、春日龍三氏の昔の妻であつたらうとは！